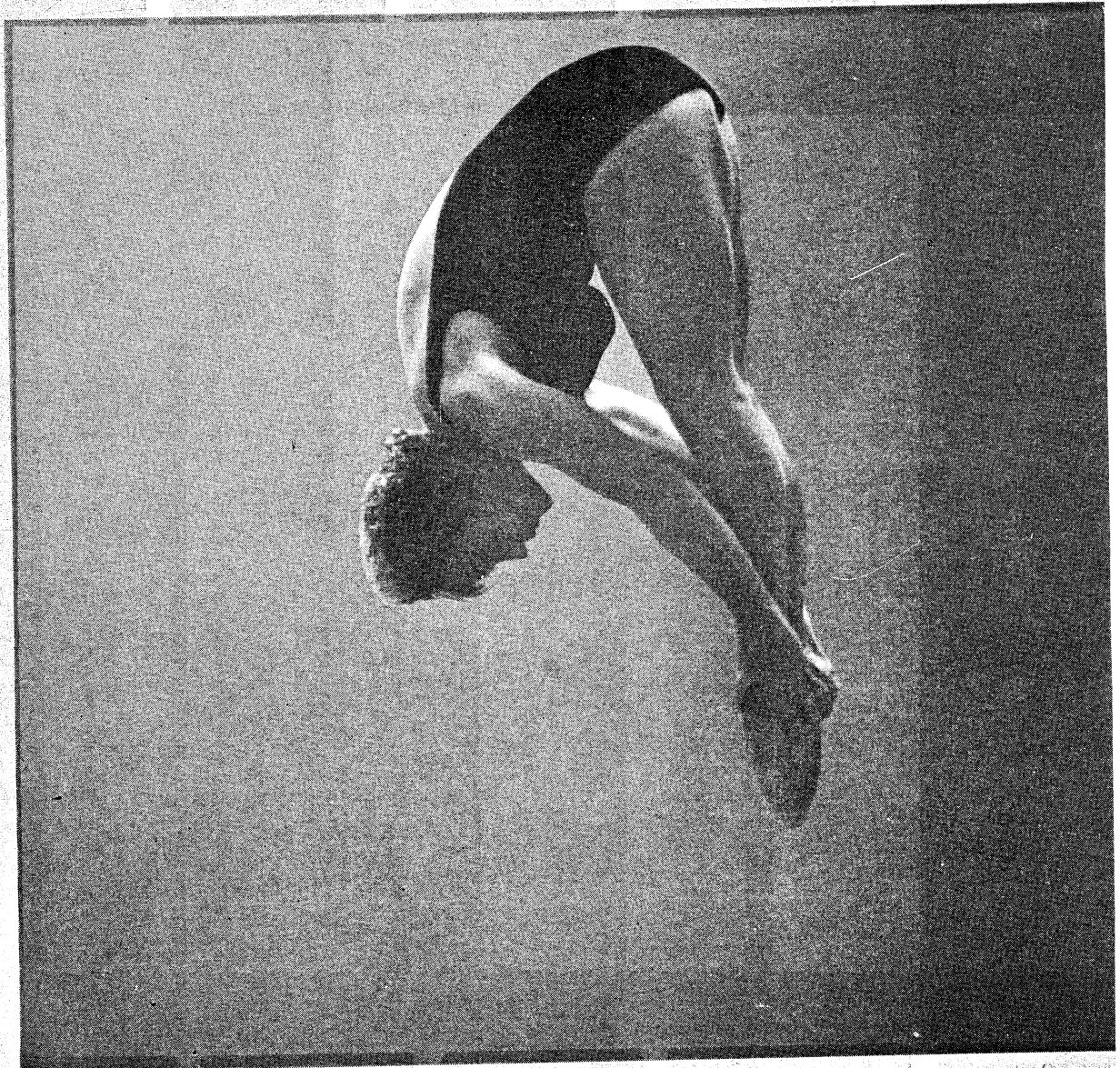
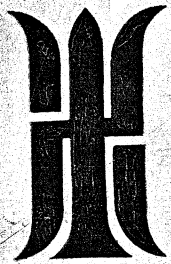


日本水泳連盟
機関誌

水泳

第 160 号
昭和 40 年 7 月



No. 160 "SUIEI" July 1965
NIPPON SUIEI RENMEI
(Japan Amateur Swimming Federation)

目

次

水連今後の方針

会長就任挨拶.....奥野良.....(2)

就任挨拶.....勝村幾之介.....(3)

故松沢一鶴氏を偲んで

松沢君を悼む.....田畑政治.....(4)

松沢さんを悼む.....奥野良.....(5)

鶴さんの記憶.....白山源三郎.....(6)

神伝流の泳ぎ手消ゆ.....上野徳太郎.....(6)

松沢さんの思い出.....根上博.....(7)

松沢会長を偲ぶ.....菊池章.....(8)

西独ブレイメン国際大会報告.....川田友之.....(10)

アメリカのエーチ・グループ水泳調査報告.....川田友之.....(12)

競技規則改正について

競泳規則の改正について.....競泳委員会.....(16)

F.I.N.A. Rule 改訂に伴なう飛込規則の主なる改正点.....飛込委員会.....(16)

水球規則の改正について.....水球委員会.....(17)

シンクロナイズド・スイミング競技規則改正要項.....シンクロ委員会.....(18)

泳指導員資格検定試験実施規則.....普及委員会.....(19)

リップ(トンボ返り)ターンの説明.....競泳委員会.....(21)

全米オリンピック選手選考競技会視察雑記.....佐藤幸男.....(23)

インディアナ大学水泳コーチ J.カンシルマン氏の

“水泳のためのインターバルトレーニング”.....佐藤幸男.....(25)

海外情報.....坂本亮四郎.....(29)

水泳プール公認のあらまし.....日本水連事務局.....(33)

第7回日本室内選手権水泳競技大会.....(35)

末弘牌高校選手権大会.....(43)

第37回早慶対抗水泳競技大会.....(48)

第30回明・立・日三大学対抗.....(49)

第11回早大対九州水泳競技大会.....(49)

第10回中央大学対日本大学.....(50)

昭和40年度主要行事日程

2月27日(土)～	28日(日)	日本水泳法研究会	滋賀・草津室内プール
3月26日(金)～	31日(水)	シンクロナイズド・スウイミング 初心者講習会・指導研究会	東京・国立競技場プール
4月24日(土)～	25日(日)	第7回末弘記念日本室内選手権水泳競技大会	東京・都室内プール
6月5日(土)～	7月11日(日)	関東学生水球リーグ戦	東京・神宮プール
7月18日(日)		ユニバーシアード大会派遣選手選考会	東京・神宮プール
7月31日(土)～	8月1日(日)	各地域学生選手権水泳競技大会	各地
8月1日(日)～	3日(火)	第16回健康保険全国勤労者水泳競技大会	宮城・仙台市民プール
8月6日(金)～	8日(日)	第41回日本学生選手権水泳競技大会	東京・神宮プール
8月7日(土)～	8日(日)	都道府県中学校水泳大会 地域別高等学校選手権水泳競技大会	各地
8月6日(金)～	8日(日)	北海道高校	小樽市・緑陵高校プール
8月9日(月)～	10日(火)	東北高校	青森・青森高校プール
8月5日(木)～	7日(土)	関東高校	山梨・甲府市県営プール
8月9日(月)～	11日(水)	中部高校	富山・富山市営プール
8月4日(水)～	6日(金)	近畿高校	大阪・大阪プール
8月9日(月)～	11日(水)	中国高校	岡山・児島市営プール
8月10日(火)～	11日(水)	四国高校	香川・観音寺高プ
7月31日(土)～	8月2日(月)	九州高校	鹿児島・鹿児島大プ
8月15日(日)		国民皆泳の日	各地
8月20日(金)～	22日(日)	第5回全国中学生選抜水泳競技大会	奈良・天理プール
8月22日(日)～	25日(水)	第33回日本高等学校選手権水泳競技大会	大分・別府市営プール
8月26日(木)～	27日(金)	昭和40年度日本選手権シンクロ競技会	東京・目白プール
8月28日(土)		第10回日本泳法大会	奈良・天理プール
8月29日(日)～	31日(火)	(競泳飛込) 昭和40年度日本選手権水泳競技大会	東京・オリンピックプール
9月9日(木)～	12日(日)	(水球) 昭和40年度日本選手権水球競技大会	東京・神宮プール
9月19日(日)～	22日(水)	第20回国民体育大会水泳競技大会	岐阜・県営プール

水 連 今 後 の 方 針

会 長 奥 野 良



会 長 就 任 挨拶

このたび、全く夢想もしなかった日本水泳連盟会長をおおせつかって戸迷ったのが本当の姿でした。

皆さんがバックアップして下さるといふし、誠意を以って事に当れば道は開けると決心はしたものの今更ながら力の不足を痛感している次第です。

私は昭和5年にO. B. になってから末弘会長のもと田畑、松沢両先輩が名誉主事の時に昭和7年に競泳委員長、昭和8年に名誉会計を命ぜられてから約30余年、戦時中を除いて、学生水連を中心にして水泳に携って参りましたが、好きなればこそであり、今後とも熱情を傾けて力の不足を補い、衆知を集めることに努力する覚悟ですから何卒皆様の御協力をお願いしたいと存じます。

競泳に於ける戦前の輝かしい水泳日本の再現を心の奥に秘めて、何日の日にか栄光を日本にと思ひながら、旨に米国が日本式泳法として研究した如く全く逆の立場に立ってエーヂグループのやり方を日本流に取り入れることにつき研究して行きたいと思ひます。吾々は競技団体である以上勝つための方策を第一目標と致します。そしてオリンピック大会に勝つことが最高の望みとすることに変わりありません。然し今しばらく黙々として底辺づくりに力をつくし次の四つの目標に向って成果を期したいと考えます。

1. 底辺の拡充の運動
2. 指導者の育成
3. 施設の拡充と既存施設の活用
4. メキシコ大会対策

水泳普及の実践活動として国民皆泳の盛り上げるムードを作らねばならない、水泳教室に於ても中央と地方とが協力して実際活動は各地方に即したことを実施して行きたい。各地方水連の努力により盛り上りつつあるエーヂ・グループ或は水泳教室を更に発展させ全国的实施のための方策を普及委員会、学童対策委員会と相連絡して指導に、テキストに実施面の協力をおしまない積りであり、水泳熱を盛り上げプールのある所必ず水泳教室あり、エーヂグループを盛んにやっている、そして近隣の水泳教室同志の対抗試合が盛んに行はれ、水泳連盟は表彰に追はれている姿を予想しております。そして中央の水泳教室とか選手権大会に通じる方法とかを考えて競技力向上につながらせて行きたいと希望しております。

水球の底辺づくり等は現行のルールにこだわらず1チーム30名位を紅、白の帽子をかぶせて、ゴム球にし背の立つプールでボールを遠くへ投げる面白さから初めて審判5名、内一名をゴール、他の4名は水難防止、という団体ゲームの良さを実施して見るのも一方策と思ひます。

更にスポーツ少年団の団体数6千、団員18万人を如何にして水泳熱をうえ込むかを野津団長と相談して行く積りです。

以上の底辺拡充に伴って各地に必要なのは指導者であります。指導者の育成については各競技委員会と普及、学童対策委員会とが共同して立案し指導者の検定試験制度や指導要項と共に公認審判員制度を採用して競技力向上に通じる指導者の養成につとめ、特に小学校、中学校の指導者の講習会を各地で開催して正しい水泳の発展に努力したいと思ひます。本年から中学校の競技会の100米自由形に限りクイックターンの強制を4月24日の全国理事会で決定を見ましたので指導者も充分指導出来るように修得して頂きたいと思ひます。

更に水泳は何処でも出来るのが特長としていた海の国

日本の現状は埋め立てによる工場の進出や農薬による河川、湖の汚染により子供の泳ぐ場所が段々と狭められこの儘に放置すれば国民全部が金槌になってしまう懼れがあります。従って立派なプールを市や町に造って頂くことは勿論であります。簡易なプールを沢山造ってほしい。極端な例として10m、15mの深さ80cm程度の水溜りでもよい。或は冬の砂場を手入れして夏の水場に変更してもよい位のことを考えて水泳に対するムードを作り家族ぐるみ水泳に興味を持たせることが必要かと考えます。

又既存の小学校、中学校でさえ全国の学校数の約10%程度の保有率であります。その学校のみでは利用度は僅少であります。この利用していない早朝とか、時間外のプールを利用して頂いて水泳教室に指導者の講習会に利用出来ないものだろうか。プール開放に対する責任を持つこと。夜間照明の設備をすること。水の取替え代を支払うこと。監督者の費用を支弁すること等を考慮すれば交渉は不可能だろうか。文部省や各教育委員会と折衝する考えであります。

以上のようなことを出来ることから実施に移し黙々として底辺の拡充と指導者の育成に努力することを基本方

針とし、メキシコ大会に対する方策はその一つのステップと考えたい。四年間の集積は堂々と展示する必要があります。そして立派なものであるに越したことはありません。

メキシコ市は標高2,250 mで5月の気温は大体18°で一番暑く2月が一番寒くて12°の由です。オリンピックの開かれる10月は14°程度と思はれますが高度による空気の稀薄が問題であります。科学研究委員会で研究すると同時に調査員、コーチを派遣して研究すると共にメキシコ選手権に数名の選手を参加させたい計画であります。

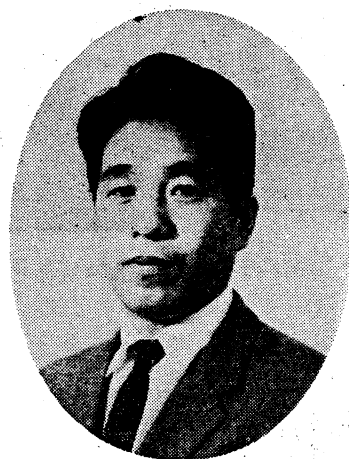
理想も方針も建たないままの就任でありましたので、今後とも常務理事会を中心に合議し出来るものから早急に実施の方針であります。選手諸君も東京オリンピック大会という特別待遇を出来る丈早く切り換えて困苦欠乏に絶え得る精神と体力を持って頂きたいと切望します。又水泳に携って頂く役員の方々も色々と困難な世情ではありますが、かつて名選手を産み出した加盟団体は昔日を思い出して頂いて水泳に熱情をこめて御指導頂きたい。重ねて関係各位の熱心な御協力をお願い致します。

就 任 挨 拶

理 事 長 勝 村 幾 之 介

今年2月突然理事長の大役をお引受けすることになり、抱負も自信もないままにただ皆さんの御支援を期待して就任したのですがその後約3ヶ月ただモタモタとして運営をして参りました。私が水連の執行部に居たのは戦後約4年位で当時はただ夢中で田畑会長のもとで走り使いをしたのみで実際の面については全く無知といってもよいでしょう。私としては先入観なしでこの大役をお受けしたのですから、今から全くの一年生としてスタートしたいと思えます。

私は長年プールサイドで審判のみをやって来ていました。その当時から日本の選手が何か線が細いような印象を受けていたのですが、もっとたくましい選手を育てたいと私なりの考えをもっています。しかしそれよりもっと重要なことは国民皆泳であり、そしてその先頭にたつべき水泳競技者は青少年の範たるべき人になってもらいたいです。日本の水泳界は今大きな転換期に立たされていると思えますが、あくまで目標を失はず地味な努力をしていきたい。幸い地方の方々はずでに底辺開発について充分理解され、どんどん幼年層の開発に力を入れて戴いている訳ですが、この点は水連としても最重点とし



てとりあげていくべきだと思います。又選手の強化或は水連の運営については常に衆知を集め、多くの人の意見をきき、調整しながら進みたいと思っており私としては力不足ながら皆さんの潤滑油としてスムーズに事を運ぶべく努力を致す心算です。

水連全体の方向其他については奥野会長のあいさつにもありますので、私は以上雑然としていますが関係諸員の御協力をお願いして就任の御挨拶とします。

故松沢一鶴氏を偲んで

日本水泳連盟顧問、松沢一鶴氏は去る1月10日脳卒中により急逝されました。

葬儀は1月13日、オリンピック組織委員会、日本体育協会、日本水泳連盟の合同葬として青山葬儀所に於て厳しく執り行われました。

当日は日本水泳界最大の功労者の遺徳を偲び各界名士多数の参列を得て極めて盛大でありました。なお政府より特に生前の功労を認められ正五位、勲三等（瑞宝章）に叙せられました。

ここにわが水泳界に尽された功績を深謝し「水泳」誌に記録を掲げ御冥福を御祈りする次第です。

日本水泳連盟



松沢君を偲ぶ

名誉会長 田畑政治

松沢一鶴君の一生は近代日本の水泳史である。限られた紙数では語りつくせない。二、三の思い出を書くこととする。

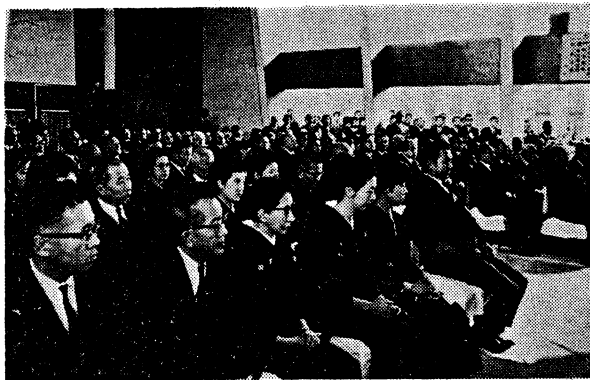
競技会での松沢君の思い出として、一番、印象にきざみつけられているのは、大正10年の東大水泳部主催の戸田の全国大会での高石君との1500m競泳の光景である。

当時は現在の水連の前身、大日本水上競技連盟も結成されて居らず、オリンピックに対する代表権も、現在の体協の前身、所謂、旧体協の大日本体育協会が持っていて、水泳も陸上も、その一部門であった時代である。

当時の日本水泳界は、東には房州館山の松沢君等の一高、斎藤（兼吉）君等の高師、座間君等の安房中水泳部、東京には平野、則末君等の隅田川の水練場、中部に内田（正練）、小野田君等の浜名湾、西に京都武徳会、



霊前に弔辞を捧げる高石会長



松沢氏御遺族並びに参列者

それに、50m淡水プールを建設した茨木中学が入谷、坂倉君等のクロール少年をひっさげて、新興勢力として登場して、將に乱世時代、水泳日本の栄光の輝く夜明け前の頃であった。

全日本選手権大会と称するものも、大日本体協主催のもの、戸田の東大水泳部主催のもの、弁天島の浜名湾水泳協会主催のもの三つあった。

この年の日本選手権大会で一番注目を引いたのは東大主催の戸田の大会であった。茨木中学の少年が果して、長距離をクロールで泳ぎきることが出来るか、どうか、又、泳いだとしても果して、日本伝統の泳法、あおり足の片抜き一重伸に勝つことが出来るか、どうかというのが注目の焦点であった。

あおり足は松沢君、パタ足は高石少年によって、競技の幕は切って落された。1,500mをクロールで泳ぎ切ったことは、まさに驚異であったが、当日は割合に波があったので、クロールのパタ足は水の上に出てカラマフリとなって、全面的に威力を発揮できなかったのに反し、アフリ足は、うまく波をつかみ、たくみにこれに乗ったので、その威力が充分活用され、結果はクロールは終始、アフリ足におさえられ、ガイ歌は松沢君にあがった

これを最後として、アフリ足は日本競泳界から、すがたを消して、クロールの時代に入ったが、伝統ある日本遊びの栄光をきずつけずに幕をひいた松沢君の業績は日本古来の泳ぎにノスタルジヤを感じずる人々にとっては忘れられないものであろう。

外苑プールが、水泳日本のメッカとして、その栄光をもたらす上に、大いに力のあったことは周知のことだが、その建設について、松沢君が非常に大きな役割をしたことは余り知られていない。

1928年のアムステルダム直後、次ぎのロサンゼルス大会の対策の第一歩として、当時の日本水連会長の末弘さんの提唱したのが神宮外苑プールの建設であった。建設資金は当時の金で45万円位で、末弘さんも随分、努力したが、一年間やって見ても6万円位しか集らず、遂にあきらめて一切、手を引いてしまった。あとは責任者として私がやるということになり、松沢君も協力することにはなったが、帝大教授という当時としては権威ある肩書を持つ末弘さんに出来なかったことが、駆け出しの新聞記者の私に出きるわけがない。それでもスポーツファンの鳩山(一郎)さんなどに願って末弘さんの集めた分を加えて14.5万まではいったが、そのあとが仲々伸びない。

私一人で弱り切っていると、当時の体協会長の岸(清一)先生が、「田畑の困っているのが可哀そうで見ているられない」といって、原田積善会から16万円貰って

れた。それで、ようやく30万円は越して、建設のメドはつき、今一息という時に、当時、どういう因縁か知らないが松沢君を信頼していた明治神宮奉賛会長で財界の大御所の阪谷(芳郎)男爵が、松沢君を呼んで、「若い君達だけでよくそれだけ集めたものだ。感心だ、あとの不足分は奉賛会から出してやる」といって数万円を出してくれて、神宮プールは出来たのである。

選手強化対策に又、競技運営に、又基礎体力作りに又、泳法に科学的裏づけを採用したこと、水泳選手を対象を中学生においてロサンゼルス大会に空前の成功を収めたこと、関東軍や右翼暴力団の反対干渉をはねのけて最後のマニラの極東大会に参加して、スポーツの純粹性を守ったこと、又東京大会に於ける数々の業績等、語りたことは数々あるが、既に紙数がつきたので他日にゆずることとする。

松沢さんを悼む

会長 奥野 良

“鶴さん”が1月10日急逝された。

黙々とビールを楽しそうに呑んでいる姿のみ目の前に浮んで来て、永遠にプールで姿が見られなくなったとは信じられない程、鶴さんの姿は何時も明るいものであった

松沢さんの一生は日本の競泳史である。神伝流の基礎の上に立って近代水泳に進まれた松沢さんは何処までも科学的に究明し、理論付けて指導する態度は自信にあふれていた。

古き伝統を有する我水泳界をして一層の基礎を鞏固にし新日本泳法を樹立して世界制覇を完遂せしめたのも松沢さんに負う所大であった。

標準泳法の制定、施設の研究、指導者の検定制度或は技術指導に“水泳日本”の躍進史と常に併行して我国水泳界に貢献された偉大なる業績は今更ら贅言を要しないであろう。

大正12年(1923年)第6回極東選手権大阪大会で大勝して、後神田万世橋駅上の“みかど”に会合して全国学生水上競技連盟の創立に参加し、その実行委員として日本に水泳の組織作りに尽力された。その年は関東大震災でインターカレッジは開催不可能であったが、翌年第3回大会から学生連盟自体の主催で大会が運営出来るように力をつくされた功勞者でもある。

私が大正13年に紀州田辺から上京してY.M.C.Aの室内プールで練習に指導を受けた時代の松沢さんは今で

は想像も出来ないスマートな美青年で、芝公園プールで開かれた第3回全国学生水上競技大会には小野田一雄、和久山修二、小高加茂、小林栄三、堀安治、宮畑虎彦、樋口一成、西本竜三氏等の諸氏と共に活躍され400m、800mの自由形に入賞されたのが競技生活の最後であったと思う。

特に私は昭和7年に水連の競泳委員長として、更に昭和8年に名誉会計として当時名誉主事が田畑政治氏が松沢さんに交代されて公私共に指導を頂いてから今日迄実に永い間御交誼を頂いた丈に心から淋しい思いで一杯です。如何なる時でも冷静に、動ずる事なく慎重に、自信を以って実行に移す、心から頼れる兄、何んでも相談に応じて呉れた兄、を失ったことは私にとってピンチに立った水連の責任者となった今、大事な時に亡くなられたと残念さが一杯で淋しさと悲しみの極みです。

鶴さんが安らかに眠って頂くためにも努力を傾倒しなくてはならない。御冥福を祈ります。 以上

鶴さんの追憶

会賓 白山 源三郎

松沢鶴(かく)さんの追憶を書くといってもまだ何となくしっくりしない気がする。鶴さんが死んだという現実感がないのである。思えば惜しい人を失ったものだ。

鶴さんのことを考えると第一に頭に浮ぶのは何といってもロスアンゼルスの水泳世界制覇である。水泳日本が世界的地位を確立した瞬間であり、更らに日本スポーツが世界的地位を定め纏てはそれが今回の東京オリンピックの開催とその素晴らしい成功に連つてるとすれば、その時水泳世界制覇の日本水泳チーム監督として主役を演じた鶴さんの功績は極めて大きい。

鶴さんのあの時の方針はハードトレーニングの徹底であった。今日も之は参考になると思う。かと思うと唯々押の一手でもなく、たしか試合一週間前かと思つたが、丸る一日練習を止めてカタリナアイランドに選手を連れて徹底的な息抜きのピクニックを行つてゐる。これは大事なことであつたと思う。そして練習計画通りの強練習を押し進め、自信满满試合当時はスタンドで見物していた。練習計画の効が現はれて、よい結果を次々と見せられた時、鶴さんの得意や思うべしである。

鶴さんは水泳とオリンピックについては端から端まで細かく調査し研究したものである。殊に理科出身であるから物理的な説明や工夫などには感心することが多かつ

た。梅沢、飯田、石本の三先輩と共に日本水泳発展の恩人の一人である。

日本泳法についても同様で、国体で地方に行くと史実の調査に数日を費し、容易に得られぬ資料を得て来たりする。例の鶴さんの手帳は恐らく日本水泳の貴重な資料であろう。

オリンピックについても同じような態度でこと細かに資料を集め、研究していたのであつて東京オリンピック組織についてはなくてならぬ人であつた。オリンピック組織の頭脳といつてよい人である。まだ60才を少し出た位、現今では老人の中に入らぬ年齢で去つたのは誠に惜しいが、水泳とオリンピックをライフワークとし、これに一切を捧げたといつてよい。

鶴さんとしては、東京オリンピックの素晴らしい成功裏に終了したという時点に、心の弛みが出て、兼ねて健康に多少ひびのあつた身体が持ち応えられなかつたということもあり得べきことである。と同時にいつては悪いかもかもしれないが、鶴さんとしては意義深かつた人生を此時点で華々しい終りを招いたことも何か少しは慰めとする所もないではない。然し惜しい人を失つたものである。早過ぎた。

神伝流の泳ぎ手消ゆ

宴会のビリ組は寂しい

常務理事 上野 徳太郎

戦後はじめての日米対抗水上競技が行なわれたときから昭和25年の夏の暑い日、カクさんに会つたら、額と頬のあたりにちょっとした傷をしてゐた。

『これは、いったい、どうしたの——』と、たずねたら、

『キッパス——註、米国チームの監督——の歓迎会を多摩川でやったのだが、例によって例のとおりで、河原に倒れて、この始末サ——』

と、いつものとおり、両頬をぐっとふくらませて笑いながら、答えてくれた。私には、すぐにその光景が想像されたが、宴会のビリ組の大將格であるカクさんの面目(めんもく)躍如たるものがあつた。私は、思わず笑つたが、同時に、宴会のビリ組ではカクさんの実力には及ばないとするも、私もいつの間にか選手級にはいつてしまつたので、ビリ組大將の負傷を少し心配したことである。

『——もう御老体なのだから、気をつけてネ——』

と、戯談(じょうだん)にまぎらわせて、カクさんに言ったら、カクさんのエビス顔は、いっそう崩れかかっていった。

くどいことながら、ここで『ビリ組』の釈をするならば、なにか宴会があって、そこにビールかお酒がある場合は、宴の終るのが惜しくて惜しくてしょうがなく、最後のときまで頑張りつづけ、しまいには世話人や幹事から、解散を命じられる仲間のことである。世の俗物(ぞくぶつ)どもは、我等ビリ組を指して、意地がきたないなどと失礼なことをいうが、ビリ組の者こそ、宴会の開催主旨を体(たい)して、誠心誠意、杯を重ねるものなのである。

この誠心誠意の権化(ごんげ)であるカクさん、いまや亡し。わがビリ組は、まったく寂しくなってしまった。

ビリ組にカクさんがいなくなったことは、かえすがえすも残念なことであるが、さらにもっと残念なことがある。それは日本泳法の達人であるカクさんを失ったことである。日本泳法の真の泳ぎが数すくない現在なのに、カクさんに去られてしまったのは、いよいよその寂しが増す。この大損失は、なんとしても取り戻すべき術(すべ)がない。カクさんは、神伝流の大家であったのである。

東京府立一中、第一高等学校、東京帝大という学歴のカクさんが、水泳が神伝流の系統である学校生活において歳若いときからそれを習ったのは当然であるが、それにしても早くから、その妙技を体得していたことは、競泳だけの関係筋には、あまり多く知られていない。カクさんの泳ぐ神伝流の「真およぎかた」などは、まったく絶妙のもので、私はいつも惚れぼれとみていたことである。もちろん、こういえばとて、泳ぎの流儀の違(ちが)う私は、神伝流を語る資格はないのであるが、ただカクさんが水面を滑るように、スイスイとおだやかに、しかも力づよく、よく水を征服しているような泳ぎっぷりには、頭が下がるばかりであった。

いっとき、カクさんは体の調子を壊して、長く水にはいらなかった。しかし最近では回復して、ともに泳ぐ日のことなども話し合っていたが、昨秋、中山正善、兵藤秀子両氏の叙勲祝賀会するときなど、『来年の夏の日本泳法大会には久しぶりで出席する』と、固く約束をした。その来年の夏が、いま来たのに、カクさんはいないのだから、ましてや「真およぎかた」は永久にみせてもらえなくなった。腹がたつやら、くやしいやら、なんと言ってもいいか判らない。

カクさん——、世の生涯でもビリ組になってほしかった。
(5月23日記)

松沢さんの思い出

常務理事 根上 博

水泳連盟が新陣容を固めて、東京大会に向けてスタートをした4年前のこと。松沢さんは某新聞に「水連新役員に望む」という一文をものしている。概要はロスアンゼルス、ベルリンのように勝つことは難かしいが何んとか勝ってもらいたい。そのためには新役員も選手もかなりの覚悟が必要である。新主脳部は新しいトレーニング法を論じているが、ロスやベルリン時代からやっていることとそれは大差のないことだ。要は心掛け次第である。とくに役員は技術的な面の指導だけをすれば我事足れりとするのは誤りであり、四六時中選手に奉仕することこそ大切である。少くとも脚光を浴びるような動は慎(しん)むべきである。又マーチャンやゴルフについて厳しく戒(か)しめて、水泳が第一、マーチャン、ゴルフはそのつぎ、そして縁(えん)の下の力持ちとして地味な存在になってもらいたいと結んである。

東京大会は松沢さん心配通りの大敗に終って慚愧(ざんき)にたえぬ次第である。松沢さんは日頃のお説のとおり生き方と指導をされた方である。

昨今、スポーツのトレーニング法で科学が云々され、生理学だ心理学だととりかたされるが、3分の1世紀前すでに今日あることを予期してか、水泳のトレーニング法に体操をとり入れて体力作りをしたりした。古い選手から苦情や悲鳴があっても自己の信念に徹して、悠揚(ゆうやう)せまらず、しかも争(ま)そはず、遂(つい)ひにロスアンジェルズ大会に未曾有の大勝を博し、次いでベルリン大会の勝利と、日本水泳界に輝かしい歴史の一頁を飾った。功労者松沢さんはまさに時代の先覚者的存在であった。

水泳理論について口うるさい選手の多かったその頃、論争は大いにしたけれども頭から強引に押しつけることはしないが、絶対と云っていい程自説はまげたことのない頑固(がんこ)さがあった。特にクロール泳法についての理論は遂(つい)に終生(しゅうせい)変えることがなかった。松沢さんが泳いでいた頃の古老に承(つ)たまわると、自説の泳ぎ方と自身の泳ぎ方がまったくよく似ているものと推察(すいさ)される。毎日、分厚い大形の手帳に克明(くつめい)にメモをされていたが、何事も几帳面(きちょうめん)な、細心(さいしん)の人柄(にんがら)であった。松沢さんの指導法を解明すれば、選手作りは泳ぎを強くするばかりでなく、人造りである、とする思想が流れていることに気付く。

日米対抗やベルリン大会の合宿で経験させられたこと

は、泳ぎから日常生活のはじめで凡ゆる知識を高める処方
方がなされる。特に外国遠征に日本人としていかに振舞
うべきか、といったことも細心の指導が為された。松沢
さんは自身食事を大変楽しんでおられたが、礼儀や作法
についても仲々やかましく選手に躰けをされた。ビールの
呑み方やつぎ方も、独乙国内旅行で実地指導を受けた。
また北海を越えてスカンデナヴィヤ半島に向う途次、
大時化に遭ったが、その翌朝も僅か数人の選手が顔を揃
えた食卓でスカンデナヴィヤ料理の前菜がいかに美味し
く、種類も豊富であるかひとくさりあってから、時化な
ど問題にせず楽しそうにやっていたのも30年のこととな
った。

多くの資料と克明のメモをこれから整理して、水泳の
復興に役立てることを期待していると承っていたとき、
急逝されたことは水泳界はもとより、日本スポーツ全体
にとっても貴重な存在を失うことになり、まことに惜し
い限りというべきである。以上

松沢会長を偲ぶ

東京都水泳協会 菊池 章

私共東京都水泳協会の会長であった松沢先生が亡くな
られて早くも5ヵ月、先生の生前の事々を考えると色々
な思い出が数多く浮んで来る。先生の生涯がそのまま日
本水泳界の歩みであり歴史であった事は諸先輩がお書き
になると思うので私は都水協の会長としての先生の思い
出を少し書く事とする。

東京都水泳協会々長松沢一鶴という名前は私達東京都
の水泳関係者にとって最も誇らしい名前であり、どこえ
行っても「うちの会長は」と胸を張って云い得た事は私
の様な若輩にとって如何に心強いものであった事が、先
生を失ってつくづく思うのである。水泳の鬼水泳の虫で
あった先生に教えられた競技会の運営法は今も私の頭
の中に滲み込んで消えない。ストップウォッチの操作一つ
でも実に懇切丁寧に指導され又審判長と通告員との運営
上の呼吸の合せ方等々挙げればきりが無い。

組織委員会に行かれる迄は中学生の大会から社会人の
大会迄自ら審判長として笛を吹き、或る年の中学生の大
会のごときは豪雨の中でハダシでビニールのレインコート
をかぶり最後迄審判長をやって下さった程である。先生
の持病であった際に水が溜る病気の原因もこんな無理
が影響したのではないかと申し訳なく思っている。何時
もにこにこ笑顔を絶やすことなく競技会を楽しんでおら

れた会長であった。

長い間会長にお仕えた訳だがたった一回叱られた思
い出がある。6年前の8月の非常に暑い神宮プールでの
競技会の日のこと、連日の大会に役員が大分疲労してい
て400m自由形の300mの鐘を鳴らす係が役員席からス
タート台に出て行くタイミングが遅れた時、我々に向っ
て「少し位暑いからといってダラダラするな！」と大
声でどなられた事がそれだ。シーズンに入るとともすれ
ば競技会、競技会と競技会ずれてしまう我々に競技会
運営の大切さを教えて下さった先生の一喝こそ今でも肝
に銘じている。

競技会の際競泳が一段落し競泳役員が休憩室に入っ
ても、次の水球や飛込を必ず見ておられたのも先生で、特
に飛込の採点を克明にプログラムに記入しておられたの
も先生であった。

東京都の教育委員や委員長として活躍され教育委員の
選挙では何時も他の当選者を一桁違いの得票で圧倒的に
当選された事も我々の自慢の一つであった。多忙な教育
委員長の職やオリンピックを控えた組織委員会におられ
ても国民体育大会の代表選手が決定すると一般男女の選
手を派遣して貰う為に選手所属の各会社を廻り会社の責
任者の方々に挨拶する仕事も毎年のことでもいつもお供を
していた私にとって頭の下ることであった。東京都内の
地理に明るいのも先生の特技の一つで、選挙の経験から
か或は化学を学生時代専攻した緻密さからか、細い道路
を良く知っておられ運転手さんが気の毒に思った事もあ
った程である。

毎年々末に行う忘年会にはどんな用事があっても必ず
顔を出しにこにこ笑いながらビールのグラスを傾けた会
長、朝鮮人学校問題で身辺が危険となり自宅に迄警察官
が配置された時でも悠々と態度を変えなかった会長であ
った。その会長も今はない、御冥福を祈る。(常務理事)

日本水泳連盟の恩人、飯田光太郎先生が昭和13年、石
本巳四雄先生が昭和15年、末弘厳太郎先生が昭和26年そ
れに今度、松沢さんと指導者を次々と喪った。みんな本
当に偉大な方々だったとしみじみ思う。

飯田さんが亡くなられた時、お子さんがみんな小さか
ったので松沢さんが色々とお世話を焼いて御世話なされ
た。飯田さんの親せきの方が感激し「表現はよくないけ
ど本当にただ動いてくれるものは地震と松沢さんの外に
ない」としみじみ洩らされた由、人間味溢れる松沢さん
の尊い一面である。

松 沢 一 鶴 氏 経 歴

(奥野 良 調査)

本 籍	東京都千代田区銀座東5丁目1番地	泳チーム監督となり優勝
現 住 所	東京都目黒区本郷町54番地	12年 日本水上競技連盟顧問となる
出 生	明治33年9月7日生	日本体育協会評議員となり理事に選任さ る
明治42年10月	父死後東京切抜通信社(新聞切抜)経営	
大正2年3月	東京市立泰明小学校卒業	16年6月 日本体育協会事務局長となる
11年3月	東京府立第一中学校卒業	17年4月 大日本体育会結成され体育特別功労者として感謝状を受く
13年3月	第一高等学校理科甲類卒業	18年2月 体協事務局長辞任, 日本体育用品配給株式会社取締役社長
昭和2年3月	東京帝国大学理学部化学科卒業	22年7月 大阪ゴム株式会社取締役
競 技 歴		
大正10年5月	第5回極東選手権上海大会に於て440碼自由形競泳に優勝	23年10月 東京都教育委員 当選 東京都水泳協会長
大正10年	万朝報社主催三笠園に於ける第1回全国大学対抗競泳大会に出場 200m自由形1位, 400m自由形2位にて一高3位を獲得	26年3月 第1回アジア競技大会日本選手団副団長(ニューデリー) アジア競技連盟評議員
11年	第2回大会(調布)に400m自由形3位 800m自由形2位にて一高5位	26年7月 日本水泳連盟普及部長, 指導者検定試験委員長
12年5月	第6回極東選手権大阪大会にて日本水泳チーム主将	27年 東京都教育委員再選さる
6月	全国学生水上競技連盟創立に参画(6月13日)	29年5月 第2回アジア競技大会副団長
13年	全国学連, 主催第3回大会(芝公園プール) 400m自由形, 800m自由形に3位入賞(10月31日大日本水上競技連盟創立)	30年5月 文部省中央教育審議会委員任命
昭和4年2月	明治神宮外苑水泳場建設に参画	31年 教育委員辞任
5月	全国学生連盟は水連に加盟し, 日本水上競技連盟は統一団体となり, 水連, 常務理事となる	32年6月 中共体育織会の招請により中共体育視察団長
8月	全米女子水泳選手権大会(ハワイ)に, 日本女子チーム監督として出場	33年4月 東京都社会教育委員任命
6年8月	第1回日米対抗水上競技大会, 日本チーム監督となる(日本優勝)	5月 第3回アジア大会組織委員並に式典部長
7年8月	第10回オリンピック, ロサンゼルス大会日本水泳チーム監督となり優勝	8月 文部省水泳指導者講習会講師
9月	第10回オリンピック大会成績優秀に対し文部大臣より感謝状	9月 東京都体育協会10ヶ年勤続役員として表彰
7月	水泳指導者講習, 指導者資格検定に尽力	8月 日本体育協会監事
11月	水連丸ビル事務所開設, 名誉主事となる	35年12月 オリピック東京大会組織委員会事務局次長
10年8月	第2回日米対抗水上競技大会日本チーム監督(優勝)	36年7月 文部省ワシントンハイッ屋内総合競技場建設協議会委員
11年8月	第11回オリンピックベルリン大会日本水	38年4月 日本体育協会参与, 組織委員会事務局参与
		38年7月 オリピック東京大会組織委員会参事
		39年11月 日本水泳連盟創立40周年記念功労者表彰を受く
		40年1月 10日逝去
		以上

西独ブレーメン国際大会報告

チーム監督 川 田 友 之

一昨年、竹林寺監督と藤本、福島両君が参加したブレーメン国際水泳大会に、今年は福井、鶴峯両君と共に招待をうけ、2月14日羽田発北極経由ルートで渡欧、2月20日、21日の両日競技会参加後、両選手はコペンハーゲンから東京に直行し、私は別れてアメリカ・エーダグループ水泳調査に赴き、米国経由でおくれて帰国した。

出発前1週間東京での練習中に鶴峯君が鼻カゼをひき東京とは問題にならない寒さのコペンハーゲン、ハンブルグの不便な乗換で福井君がタチの悪いカゼをひいて、ブレーメンに着いた晩は2人共夕食をとらずに寝込んでしまい、翌朝になっても不調、街に出て薬局を探し体温計、バクエルのアスピリンとビタミン剤を求めさわぎ。福井君39.5度の高熱に驚き医者よ注射よの大あわて。独乙では当然入院のところ。ブレーメン水泳クラブのフリッケ会長と相談し、もう少しホテルで様子を見ることにして貰う。夕方38.1度。鶴峯君と2人で大会会場の中央室内プールに練習に行くが心配で身がはいらない鶴峯君も微熱がとれず37度を割らない。

2月17日朝、福井君37.1度、鶴峯君36.6度、この日はじめて3人揃って食堂へ出て昼食をとる。吾々の宿舎ホテル・ツム・ポストは、ブレーメン一流で料理も有名なホテルなので何も不自由ないが、ヨーロッパ共通の飲料水が全然無いのには困った。食事時もビール、ワイン、ジュース、ミルクでお茶をにどしたが3日以上は無理、熱のひかない2人が気の毒なので街で瓶詰の飲料水を買った。小瓶半打で約500円もするのに驚き2人の熱が下がった程。代用として毎日ギリシャ産のオレンジを練習の帰りに買い、腹一杯水が飲みたいと思い乍らオレンジをかじった。水よりは安い輸入果物の価も相当で、3人のデイリーアローワンスの大半をオレンジを通じてギリシャに献納してしまった。

大会主催者は折角の招待選手乍ら、若しも人命に拘ってはとの考慮から無理な出場はせぬようにといい、医者は先ず全快することが先決という、福井君当人は責任上どんなに無理でも是非泳ぐとおちくぼんだ眼を光らせる。呑気坊主の私も東京へ電報で照会したものかと思案し、頼むは薬のみと克明に薬を飲ませ1時間毎に体温を計り、他面鶴峯君にうつらぬようにと3人で専心した。

福井君の努力と鶴峯君の協力で、熱も36.5度程度に定

まり食欲も恢復したので聊かホットした18日の午後、福井君は大丈夫だから泳いで見たいという。色々と思い廻らしたが3人の意見が「タメシ決行」にまとまったのでフリッケ会長と医者には内緒で、ほんのちょっとだけと念をおしてオソルオソル泳がせた。帰ってから何度も熱を計ったが37度が一度出た丈で後は36度台、16日の朝も警戒しながら同じことを繰り返したが心配な状態はおこらなかつた。

どうやら遠路招待され乍ら棄権せずに帰れる喜びに3人は久し振りにはずんだ気持ちになれ、夕食はいろんな肉が山盛のアラビヤ料理ジャシーブ大番を平げ、チョット失礼といって私の分迄攫う福井君の恢復に、彼得意の最終日の200mだけはヒョットすると入賞の欲が出た程。

大会会場はブレーメン、ツェントラル、パッドという市営の屋内プールで25mプールがロッカー室を挟んで二つある。仲々設備が整って、主プールは広い800人収容のスタンドのある、大変に立派なもの。

参加選手の多数は今年のオリンピックで顔見識が多く、役員達も東京は楽しかったあの水泳宮殿は素晴しかったと握手を求めに来た。奇妙なことは水連発売の五輪タオルが大変巾をきかせ、プールのアチコチで黄色のタオルが目立ちオリンピック帰りを誇っていた。そしてもっと土産に買って帰りたかったの声が多かった。

2月20日(土)第一日は鶴峯君の100平と福井君の400自。鶴峯君はあがり気味でスタート後肩に力はいり過ぎて堅く、25を折返してから水に乗りレンケイに追いつき、両者一進一退の儘50を32.8で過ぎ、70でスパートしたレンケイに約半米遅れ75のターンで又差が出来たが、ラストの20で良く滑りタッチの差で優勝1:08.8。この勝ちに元気づいた福井君も明日の200自へのウォームアップで具合が悪かったら途中で上れといっておいた400自で、どこ迄もつか? もう此処で浮くかと気を揉むうちに、29.2、60.2、1:32.7、2:06.8、2:41.4、3:16.0 3:52.0のラップでスイスイと滑り、4:26.6で3着。上って来るヤマークしたウォールがあんなに不調とは知らなかった、だまされて3~4秒損をしたという。心配してスタンドに来てた医者が飛んで来て、「あの病人を泳がすなんて、独乙人も野蛮だが日本人はそれ以上だね」と笑って握手、私もこのベテラン選手の根性を今更見直し

た。

幸先良い滑り出しで、これで日本に帰れるなあ、と3人は久し振りに歌や笑いが出る気軽さ。

第2日目の2月21日(日)は福井君は100自が先で後が得意の200自、鶴峯君は200平だけ。100自はヴァグナー、オースティン、シメンスがスタートから飛び出し福井君は良くついてるが遅れ気味で50は26.0、一時は2m余り開いたが75のターンからスパートがきいて3人同着、判定は幸運にも3人同タイムながら2着、200平の鶴峯君は物凄いレンケイの気力に終始押され気味、懸命な力泳で追い付くがターン毎に1m近く離され、33.9、1:11.7、1:52.3で追った175でのターン後の追込がきかず2:32.2で2着。福井君得意の200自は、昨日と先程のレースで精根が付き、いかに気力がはやっても病後の衰弱した体力では無理、28.4、58.6、1:33.7、2:06.4で5着、然し良く頑張って招待選手としての責任を全うした努力に対し、大会関係者は皆敬服していた。

国際競技とはいえ大会は日本では考えられない程小さく又なごやかであり、第1日の夜役員会議という集りがあり、夜半過迄ビールやワインを静かに飲み乍ら競泳の発展や規約の改正に就いて語り、第2日即ち大会終了後ダンスパーティーが開かれて、参加役員選手達が老人組はタンゴ、ワルツに、若い人達はツイストにサーブインに、各国入り乱れて楽しく踊った。此处でもデパロナやアン、ハグベリは人気の中心で頑として席を立たなかったのはジョージ・ヘインズと日本の3人だけだった。

第9回国際招待競技記録 1965年2月20, 21日

於 プレーメン市営屋内プール (25m)

自 100米	1. ヴェグナー (ポーランド)	54.6
	2. 福井 (日本)	55.6
	3. オースティン (アメリカ)	55.6
	4. シメンス (ベルギー)	55.6

自 200m	1. キルシュケ (ウェッラー)	2:01.4
	2. レーニッキー (ポーランド)	2:04.3
	3. クレーマー (エッセン)	2:05.0
	6. 福井 (日本)	2:06.2
" 400m	1. キルシュケ (ウェッラー)	4:21.1
	2. レーニッキー (ポーランド)	4:25.2
	3. 福井 (日本)	4:26.8
平 100m	1. 鶴峯 (日本)	1:08.8
	2. レンケイ (ハンガリー)	1:09.0
	3. ロース (ヴパータル)	1:10.8
" 200m	1. レンケイ (ハンガリー)	2:31.4
	2. 鶴峯 (日本)	2:32.2
	3. ドナーズ (ヴハータル)	2:33.7
背 100m	1. グラーフ (アメリカ)	1:01.5
	2. キュパース (ノルドホーン)	1:02.0
	3. ツィカニー (ハンガリー)	1:02.1
" 200m	1. グラーフ (アメリカ)	2:14.3
	2. キュパース (ノルドホーン)	2:15.6
	3. ツィカニー (ハンガリー)	2:19.0
バタ100m	1. ライカー (アメリカ)	58.0
	2. エリクセン (スエーデン)	1:00.2
	3. フライタッグ (A T S B)	1:00.3
" 200m	1. ライカー (アメリカ)	2:13.5
	2. フライタッグ (A T S B)	2:14.2
	3. ベスターゲン (スエーデン)	2:20.0
個人メドレー 400m		
	1. ロース (アメリカ)	4:57.1
	2. ケッテランチャー (ハンガリー)	5:01.4
	3. イスクート (オランダ)	5:13.2
リレー400m	1. ヴパータルクラブ	4:14.0
	2. ポリセンストックホルム	4:22.7
	3. プレーメン水俱	4:25.0

(女子記録省略)

(28頁より)

う時(30秒の休憩時間を持って)彼は各50ヤードを28秒で泳ぐようにする。始めの何回かはこのスピードで泳ぐことは易い。次の何回かはかなりつらくなり、最後はこのスピードをくずさぬためには全力を出して泳がねばならない。

アランソマーズは各泳ぎの間に5分の休憩をして、440ヤードを4回反復するのに、その各440ヤードを4分40秒を割って泳ぐようにつとめている。この場合休憩時間を1分に短縮すると彼は4分50秒はかかってしまう。又15秒にまで短縮すると5分をわずかに割る程度になってしまう。

習慣とか癖とかいうものは知らぬまに進んでしまい油断がならないものだ。それはあらゆる面の努力の上達をはばむ最も大きな妨げになることがある。自分がまちがっているかも知れないという理由で何か新しい方法を試すのを恐れて不安をもつ人は標準に取り残されると考える事が出来る。

若しあなた方が依然として古いありきたりの(慣習的な)トレーニング方法を用いているならば、そしてチームメンバーの者が、ほんのいくつかの世界記録も持っていないなら、私はインターバルトレーニングを行うようにおすすめする。

米国エーチグループ水泳調査報告

川 田 友 之

この報告は1965年3月AAUの後援をうけ、AAU地区役員、著名大学及高校監督、有名無名クラブコーチ諸氏130名に面接して得た資料と、遠隔地や旅程の都合で訪問出来なかった各地区エーチグループ水泳権威者に、記入返送を依頼したアンケート50通から得た資料に因って作られたものである。

この調査の為2月27日から3月25日の間、ニューヨーク、マサチューセッツ、コネティカット、ペンシルバニア、オハイオ、インディアナ、イリノイス、ノースダコタ、カリフォルニア、ハワイの11州、37都市を遍歴したが、カリフォルニアとハワイを除いては皆積雪期で、隣接都市の早朝又は夜間練習を見て廻り又多忙な人を訪ねることは、降雪の為ハイウェイや航空便の支障が多く、不眠不休の特急旅行を続けても、なおあちこちに聞き洩らしや見ずじまいが残って甚だ残念であった。

このほかに、ごく最近エーチグループ水泳が活発になった地方、早くから採用しながら一向に成績のあがらない地方、非常に盛んな地帯の中の盲点的存在等に就いても、日程の都合で調査出来ず心残りであった。

然し乍らこの度蒐集した膨大な資料は、多岐に亘り且未知のものが多く、それぞれが日本の水泳にとっても甚だ有効な参考と確信するので、この調査を採択した賢明な水連と、好意あるAAUの後援と懇切な各地の友人達の協力に対し、茲に深甚の敬意を表したい。

米国の競泳人口を総轄的に把握している機関は存在しないが、AAUではワイズミュラーの活躍した1920年台は全米で1,000人足らずだったが、現在では大略50万を若干越えるものと算定している。何故に確然たる数字が出ないかと云えば、組織的に又所屬的に多種の機関が存在して夫々が協調的でないからで、最も古い歴史を誇るRed Cross、全国的に統一された施設を誇るYMCA、近代的競泳を身上としこの10年急激に発展したAAUに大別されるが、この他に今年3月1日以降AAUから分離したNCAA、夏冬所屬を変える高校の一部、上流家庭が構成する各地のアスレティック・クラブやカントリー・クラブがその主なものである。米国では全世界の競泳人口を100万と推計し、その半分を自国が占めていると考えている。尚日本は5万に近いとしている様だ。

運動競技が盛んなアメリカに於ても、競泳は全くマイ

ナススポーツで、フット・ボール、バスケット・ボール、野球は申すに及ばず、その他幾つかのスポーツに先んじられているが、競泳は古くから行われ既に30年以前から東部と中西部の大学では対抗競技が盛んで、屋内競技として数多くの競技会が冬季間行はれていた。この他、夏季に屋外選手権大会を古くから行っていたが、この国の標準から云えば一部同好者の競技会で、その規模は吾々の考えを遙かに下廻るものであった。然し茲2、3年前から競泳は急激に全国的関心を惹き、最近では主要競技会の殆んどがTVで全国的に放送される域に達し、殊に昨年のオリンピック東京大会以来絶大なフアンを吸収してその地位を夥しく上昇させた。

競泳が今日空前の隆盛を握んだ真相は、茲10年間に驚異的普及発展をとげたエーチグループ水泳に基因するもので、これは万人が等しく認めるところである。

この偉大な成果を挙げたエーチグループ水泳も、その初期に於ては矢張りかなりの年月を苦難と共に過している。1932年のオリンピックロスアンゼルス大会で、殆んど金のメダルを日本の少年選手に持去られた事に刺激されて、その必要が熱心に提案され、次いで聊か討議される域に達したのは第二次世界大戦前であったが、全国的組織がなく且地域が広大で各地の事情が甚だ異なる為、有志や同志が会して協議する機会がなく、あまつさえ第二次大戦を迎えて足踏状態となり、戦後競技要綱をめぐって指導理念及実施方式に就いて激しい甲論乙駁の期間を経て、1950年当時指導的地位にあったフィラデルフィア、サンフランシスコ、シカゴ、ロスアンゼルス、フロリダ各周辺のリーダー間に大略の意見調整がまとまり、翌1951年初めてエーチグループ水泳競技会がサンフランシスコのクリスタル・パレス・プールで250エントリーを以って発足した。

然し乍らエーチグループ水泳はそのまま順調な動きを続けた訳でなく、内部斗争の他にYMCA、Red Cross、ジュニアオリンピック等に時には励まされ、時には激しい反対をうけて、仲々期待する軌道に乗ることが出来なかったが、1956年のオリンピックメルボルン大会を契機として、全国的一致協力が約されると共に急に上昇の気運を握み、それ以来創設者及当事者すら予想し得ない程の飛躍をとげて、1964年のオリンピック東京大会に於て

はエーチグループ水泳の精華を披瀝し全世界を瞠目させるに到り、現在米国全土に亘って大きなブームに乗っており、その勢いは益々上昇をたどり当分の間衰える時を知らないのではないかと見られている。

多年に亘る懸命な努力が稔って、洋々たる前途と共に吾が世を誇っている米国のエーチグループ水泳は、組織的にもアメリカでは例を見ない程整っており、男女水泳が相異なる二つの組織に分れているにも拘らず、エーチグループは渾然一体であり、ヘラー委員長と5人の副委員長、各地区選出の委員69人に依り運営され、その中に国際、ルール、ダイビング、ジュニヤオリンピック、表彰の五つの専門部会がある。創設期以来の功勞者で長く委員長であり、一昨年老齢で引退したカウフマン夫人を名誉委員長に推し、今でも杖をついて水泳見物に来る夫人を、役員選手達が公私共大變親切にいたわっている。

現在エーチグループ水泳に登録されている数字は、全米競泳人口の85%と謂はれ通称45万(AAU)とされているが、現実に各地のプールで6時半の早朝練習に参加し、或いは9時に終る夜間練習に集っている幼少年少女の数は、何処の水泳クラブでも登録されて競技会に参加している数は、通常クラブ員の半にも達しない点から推して、その三倍を超えていると考えられるので、エーチグループ水泳に精進している米国全土の少年少女の数は、当然150万に達するものと考えられる。登録数が多く競技的にも盛んな地区は、サンフランシスコ周辺、ロスアンゼルス周辺、インディアナポリス周辺、シカゴ周辺、フィラデルフィア周辺、ニュージャージー、フロリダ州北部の順であり、これに次いでオハイオ、ミシガン、ニューヨーク、コネティカット、オレゴン等で、残余の地方も目下急激な追いつけ追い越せの気運が漲っており、人種問題で困っている南部諸州ですら遅れ馳せ乍ら活潑化しつつある現状である。

是等のエーチグループ泳士達は、その殆んどが学校とは関係なく、最寄り又は己の好む水泳クラブに属し、水泳コーチの指導に依って練習に励み、技が長ずるにつれて泳者登録を行い、そのクラブを代表して近隣に举行される水泳大会に参加し、技を競い自分の実力が記録的に成長するのを両親と共に喜びあっている。

水泳クラブを大別すると、最も容易且低廉に入会出来るYMCA、入会金150弗前後の中流家庭対象のプライベート・スイム・クラブ、入会金1,000弗以上のアスレチック・クラブ及カントリー・クラブ員の子供に限られる上流クラブ等であるが、年間を通じて屋外で泳げるカリフォルニア及フロリダを除いては、各地共主として屋内プールを利用している為か、概してクラブ員は中流家庭以上の子女が多く、負担力の低い低収入階級や黒人

の子弟をプールに発見することはまことに難しい。

各クラブは夫々格式に応じたプール施設とコーチを備えており、YMCAの多くは簡素な設備と関係者出身の熱心な無給コーチが多く、スイム・クラブはその富有度に応じて多種の施設があり、コーチも経験者が多く仲には好評コーチを引抜いて高給を出している所もある。アスレチック・クラブやカントリー・クラブは豪華な施設の完備を誇り、大学水泳出身の若いコーチに子女のお相手をさせている感の所が多い。その殆んどは30人から60人位の競泳チームを編成していて、プール使用時間も競泳練習に好都合な時間を優先的に与えている。

例外としては有名なサンタクララ水泳クラブで、ジョージヘインズが中心と云うよりは一本柱で、彼が体操教師として奉職するサンタクララ高校の25ヤード1、20ヤード2、都合3つのプールを、殆んど無料で借用して練習をしている。その為朝は6時30分から8時30分迄、午後学校の使用が終った後と云うふうの使用時間が制限されている。クラブ員250名、月会費10弗、出費としてはアシスタントコーチ2名と共に500弗程度だけ、クラブ独自のプールを作れない訳でもないが、鼻もちならない親達の顔色を伺う必要もなく、誰に相談する事もなく思う存分優秀な素材をスカウト出来る気安さで、ヘインズ方式は賢明な策との評がある。然しヘインズとて最初から名コーチとして好遇された訳ではなく、フットボールのコーチだった彼がチョットした都合で泳ぎも担当させられ、童心をつかむに巧である彼の人となり、彼の旺盛な研究意欲とまじめな生活態度で好評を拍するうちに幸運にもクリス・フォン・サルツア、ステイブ・クラーク、デパロナ等が輩出するに及んで、世間は彼を名コーチとし斯く優遇する様になったのである。

然し乍らプールのないクラブは、その殆んどがなんとかして会員家族を増加し、その出資に依り独自のプールを持つことに狂奔している。一週間に5日間あちこちとプールを求めて練習を続け、両親と協力して毎日50軒乃至80軒離れた異ったプールへ子供を運ぶことは、自動車と道路の発達した米国と雖も容易な事ではないし、夏冬共同様にこんな練習を続けるのでその真剣さにはうたれるものが多い。子弟教育に寄せる両親と水泳コーチの真摯な愛情と努力には頭が下がるが、これは別に珍しい事ではない様だ。そして之等のクラブに対しては、公立プール及大学、高校等はかなり協力的にプール使用に便宜を与えてをり、之等のクラブはプール使用料として1時間毎に5弗位をその持主に払っている様である。地域に依って差異はあるが通常25ヤードの屋内プール建設費に5—20万弗位で、最近はやり出した50米の屋内プールは50万弗位かかると云われている。

各クラブの練習風景はどこも同じ様に、5、6才の幼い子供から16、17才の大人も負ける程大きい少年少女がコーチの笛や指先一つで本当にまじめに、シャニムニ頑張っており、どんなに厳しく鍛えられても弱音もはかず怠けもせず、歯を喰いしばって皆に負けまい遅れまいと懸命の努力を続けている。これを親達为满足そうに終始熱心に見つめている。子供の競争心理を巧みに利用した自動的レペティション・トレーニング方式が行はれている。コーチははじめから終り迄、わき目もふらず忙しくプールサイドを歩き廻り、親の質問にも練習が終ってからにして呉れと断る事が多い。

クラブ員の負担は毎月、YMCA 2—5 弗位、プライベートクラブ10—15弗位、アスレチック及カントリークラブ15—20弗が多く見うけられ、コーチは特殊事情の無給者を除いては、最低200弗～600弗位の月収が多く、中には1,000弗を越す例外者も見うけられる。シカゴ地区に多く見うける学校の教師が、課外に水泳を教える場合はコーチ手当として1時間3～5弗位の支給をうけている様だ。

練習は通常週に5日、毎日2時間、所に依って大同小異はあるが、フリー、バック、バタフライ、プレストの4種目を平等に泳がせて、得手不得手を問題にせず可成りきつい練習量が常識となっている様であり、これに対して少年少女達も親達も只コーチの指示に絶対服従している。普通1日の練習量は2,000～4,000位を限度としているが、1ヶ月位前に漸く浮く様になった5、6才の幼児達のグループも、大きな子供達に混って25ヤードづつではあるが2時間かかって1000近く泳いでいるには驚いた。プールサイドにはアシスタントがいてコーチと共に皆のタイムをとっているが、最近の傾向として大きな秒時計をプールの両サイドに設け、泳者自身が自分で時計を相手にして自主的にはげむことが流行しはじめている。

是等の練習が特別な鍛練期になると1日2回行はれる事も良く見うけられ、その場合は早朝6時半からと午後4時から行われる様である。これは夏冬を問わず行われるので親達は毎朝5時半に起きて子供達の世話をし軽い食事をさせ、練習後の朝食と昼の弁当を用意してプールに連れて行くので、暖いカリフォルニアですら日課としては大変な努力と協力を必要とするのに、12月から3月迄積雪期である東部及中西部地方のエーヂグループの親子の努力は到底吾々が計り知れない程であり、米国水泳人口の過半を占める地域である点から推して、50万に近い家族がこの厳しい日課に耐えている事実は只々敬服するのみである。

エーヂグループ水泳のシーズンは、その地方の気候的

条件に依って若干の差異はあるが、1年を6～9月の夏シーズンと云うより屋外シーズンと、12～3月の冬シーズン即ち屋内シーズンに分け、4、5月と10、11月の4ヶ月をシーズンオフとして休養するほかは、夏は米制、冬はヤード制の競技会が近隣で盛んに行なわれるので、年間夏冬を合せて30～50の競技会に参加出来る様にプログラムが作られており、少女少年達は自分の力量や調子に合わせて好ましい競技会を選んで参加する風習になっている。毎週5日練習をし、週末は必ずどこかの競技会に参加する習慣は、夏冬のシーズンを通じて大変多忙な生活を送ることになるが、練習して欠点を修正しては試合で自分の力をためず生活はとても楽しいものらしく、学校と練習と睡眠だけに専心しては試合出場と云う循環は、教育の一環として生活の中に水泳を通じて学校と家庭では教えられないものを教育しており、タイムが上り入賞すれば親子共に喜び、期待外れの成績の時は共にその原因を探究し親子協力して修正に努める。

子供が競泳を始めた為、父親は酒量を摂し夜遊びをやめて水泳を勉強し、流行を追った母親はオシャレをやめ栄養料理を勉強して、一家は子供を中心に団らんし父母子供と健全な生活をして経済的にも教育的にも恵まれた家庭が多くなったと云はれている。この日常生活は社会悪が家庭に忍びこむ隙が出来ず親子間の情愛が一層緊密になる為、子女の健全な身心の発育と併せて大好評をうけている。学校教育の権威者達の言に依れば、エーヂグループ水泳はオリンピックに大勝したことよりも、遙かに大きな貢献を米国の家庭と社会に与えていると語っていた。エーヂグループ水泳の競技会は米国全土を通じて、10才以下、11・12才、13・14才、15～17才の男女別に行なわれ、屋内シーズンは25ヤード(YMCAは20ヤード)プールで屋外シーズンは50米で行なわれる事が多く、種目は自、背、平、バ、個人メドレー、メドレーリレー、リレーが各クラス男女別に行なわれ、距離は通常屋内時は短くて50ヤード、100ヤードが多く、自由形だけ200ヤードを見うけることがあり、屋外は屋内より総じて距離は長く米制の為、競技会の形態は可成り日本に似た本格的なものが多い。

競技会の規模は誠に種々で、最小限10種目(自、各クラス、背10以下、11・12、13・14、バタ13、14、15～17平15～17程度から、各クラス男女全種目及リレー等のもの迄、その地区、時期、近接地の競技会等を考慮してスケジュールが組まれ、A、B、Cクラスと選手は実力に応じて出場を選択出来る仕組に作られているので、実力相応の競技会を求めて参加すれば優勝入賞のチャンスがどこにもある訳で、親子とコーチが一緒になって君はこの競技会、あなたはあの試合に出ると、近接地や各地

の競技会スケジュールを勉強している。ちょうど日本の進学児童が先生、両親、当人が協議して能力に応じた受験校を選ぶのと同じ様である。週末ともなれば家族は子供選手と食糧を積んで試合地へ行き、終日を世話と声援に費し入賞リボンを手にして楽しそうに帰宅する。遠隔地の宿泊を要する時は更に多量の食糧と予備のキャンパスベッドを積み込み、ころ合いのホテルに一泊、子供選手と母親はベッドに親爺と連れて来た弟妹達は例の持込ベッドに寝て費用を節約、と云う訳で家計費のうち娯楽費の大半が、夏冬を通じてこの遠征費に楽しく費される家が多いと聞いた。

競技会は通常1種目50仙、リレー2弗のエントリーフィーを取り最低100エントリー(10種目10人)を下る事が無い様で、フィラデルフィア、フロリダ、カリフォルニア辺りの盛んな大会は1000~3000エントリーとなる事が珍らしくない。大会の所要経費は、入賞者に金、銀銅のメダル、又は金文字の立派なリボンを出し、これは1, 2, 3等の賞品を合せて殆んど2.65弗のものに全国的に統一されているので2.65弗×種目数と、競技要項を印刷して郵送する費用だけがその殆んどである。使用プールは自用は別として、米国の多くの公共プールは1ヵ月に1度は競技会に無料提供する慣習又は規約がある為これを利用する機会が多く、競技役員は極く一部の特技役員を除いては、エーチグループ選手の親達がきそって無料奉仕をし、良い時計を求めて正確な計時をして認められ様とするまじめな態度は、各地で甚だ好評で之等の親達を、競技役員として訓練し育成した事は、米国水泳界の一大成功との声が多い。現在AAU役員8割はこの熱心な親達の中から選出されたもので立派に責任を果して居る。

競技会の大小に応じて支出に若干の相異はあるが、総じて冗費が少い事は羨しい。どこでも大体エントリーフィーの半分位がそのクラブの収入としてあげられている。この為各クラブは良い時期に主催競技会を催す事に熱心で、近隣や友好のクラブと夫々の立場を尊重してスケジュール決定の話合いをし、各々の競技会の盛会を期している様だ。只意外な事はどこの州に行ってもエーチグループ水泳競技の州選手権大会は愚か郡の選手権と銘うった競技会さえ行っておらず、AAUでも全米エーチグループ水泳選手権と云う全国的な競技会は開催していない。唯一の全国的な事業は、AAU各地区協会は傘下の登録選手の記録から、各年令クラス別各種目のベスト5を選びAAUに提出し、AAUのジュニヤ・オリンピック委員会はこの資料から全米ランキングを作り、年に一度だけ夫々のベスト5を表彰する。全国的にはこれがひとつだけである。YMCA関係の競技会も大体同じ様

な内容と形式で、最近ではAAUグループとかなり融合して来てる様子でRed Crossは競技的には甚だ微弱であり、アスレチック・クラブやカントリー・クラブもクラブ対抗は別として優秀な泳者はAAUに合流して競技会に参加する気運が強い。

健全な家庭の子女は国をあげてエーチグループ水泳に馳せ参じている現在の米国では、幼児を対象とした水泳クラブは全くブームに乗り、既開発地及未開発地共に幾つあっても足りない現況であり、それにつれてその指導に当るコーチも全くひっぱり尻で、各クラブ共良いコーチを求める事に専心している。その為か大学で体育学を収め水泳をやった者はコーチとして迎える向きが多い。米国の水泳コーチは水泳選手経験者が尠く、その殆んどは非経験者出の者が多かった往時に較べて好ましい傾向である。然し不勉強な者に対しては情容赦なく解任し、努力する者に対しては仲々引く手あまたである。それ丈に若いコーチ連中は私生活に於てもまじめで且勉強家が多く、水泳及競泳に関しては10冊以上、体育、医学、心理学特に児童心理等の有名書籍10冊以上、計20冊以上の著名図書に必要箇所を空んじていて、プールでコーチする場合も直ちにこの本のどこにはこう書いてあるし、あの本にはこうだが、自分はこの場合こう判断すると科学的に説明し、親や子供達を納得させて指導している向きが多く、それ丈に疑問を感じずと長距離電話で信頼する権威者に教えをうけ、足りなければ休暇を利用して泊り込みで解明にやって来るそうだ。有名なカンシルマン博士は落着いて食事をする暇もない程電話がかかってくるし、ヘインズコーチは余りに数多い質問に耐えかねて、自宅の電話を隠し番号にしそれを又時々変えざるを得ない始末だ。これが為科学的な水泳技術の研究と指導は益々その要求が多く、現在各大学水泳チームの監督は、更に進んだ科学的研究と指導実績を重ねて、世間の信頼に応えるべく努力する者が多く、中でも前ミシガン州立大学監督ビルヒューズナー博士、オハイオ州立大学監督パーテル博士、インディアナ大学監督カンシルマン博士の説くところは、到れり尽せりの実験設備と信頼し得る調査研究実績に依って、広く全国的に称賛をうけてをり、各末端の少年少女の競泳指導に盛んに活用されている。

斯くの如く米国のエーチグループ水泳は、科学的にも施設的にも、家庭の協力に於ても、社会的にも羨しい環境下におかれ、既開発地区の著しい普及と未開発地区の懸念な啓蒙と併せて水泳人口は更に増加の途をたどりつつあり、膨大な底辺の増大は遠からず競泳人口200万を数えると考えられ、従ってそのピークも当然更に上昇を続ける勢いにあると見ざるを得ない。(完)

(1965・4・20)

競技規則改正について

競泳規則の改正について

競 泳 委 員 会

FINAの競泳規則が改正されましたが、正式の規則がまだ出来ていませんので、その改正された点について説明します。この改正は、1965. 4. 1 より発効されています。

① 出 発 合 図 員

- イ) 出発合図員は、審判長の競技開始の合図をうけてから、選手を出発させるまでは完全に選手を統轄する責任を負う。
- ロ) 出発合図員は、競技が始まる時は、プールのスタート台から約5m以内で、プールの横に位置する。また、計時員が出発合図を見ることができ、選手が出発合図を聞え出発合図員が、選手を見渡せることが出来る位置につくこと。
- ハ) 出発合図員は、行われる競技の泳形と距離を選手に説明する必要はない。

② 審 判

自動式審判計時装置は、日本水泳連盟の公認したものにより、日本水連より任命された役員により操作されねばならない。

イ) 審 判 主 任

自動式審判計時装置のある場合には、着順についての票決権をもたない。しかし、これがない場合には、票決権をもつものとする。

ロ) 着 順 審 判 員

自動式審判計時装置のない場合には、着順の判定をする。

ハ) 泳 法 折 返 し 審 判 員

泳法折返し審判員の任務は、審判主任により割当てられる。折返し審判員は（折返し審判の他に）各

泳者の折返し回数をかぞえ、必要ある場合には、泳者の残りの回数を教えるものとする。折返し審判員の他に、少なくとも2名の泳法審判員が、審判主任によって任命されるべきであり、プールの両側に位置して、泳法を監察するものとする。

③ 計 時

イ) 計 時 主 任

計時主任は、各コースの公式記録を記録用紙に記入する。

ロ) 計 時 員

自動式審判計時装置のある場合は、その時間を優先する。ない場合は、計時員によって時計で測定された時間を使用する。

計時員は、ピストルの閃光、もしくは、出発合図によって、時計を発進させ、選手が規則に従って、競技を終了した時に時計の進行を止めるものとする。

④ 着 順 及 び 時 間

自動式審判計時装置を使用し、それによって、判定された時間、着順は優先される。

⑤ 泳 法

自由形のターンは選手の体のどの部分でも、プールの壁に触ればよい。

“Free style turning the swimmer can touch the wall with any part of his body”

（従来は、壁に手を先に触れてから、ターンを行なったが、今後は、足でもどこでも、体の部分が触ればよいこととする）

F. I. N. A. Rule 改訂に伴う飛込規則の主なる改正点

飛 込 委 員 会

(F.I.N.A. Official Bulletin No. 30 に依る)

○ 日本水泳飛込規則 10

競技者の種目提出は各々の飛込競技の3日(72時間)

前(その競技当日を含めないで)までとする。

○ 日本水泳飛込規則 35の②

立飛込の開始の姿勢は競技者が台、又は板の先端に

立ち身体を真直ぐにし頭を起しかかとを揃え腕を体側に真直ぐに伸ばしておいた時とする。そして腕の振りは両腕が体側を離れた時(瞬間)より始まる。

- 日本水泳飛込規則 35の⑤
競技者が抱型の飛込を行なう時、両膝が開いていた場合審判員は1点乃至2点減点すべきである。
- 日本水泳飛込規則 32
同一番号の飛込において通告された型と明らかに異なった型で飛込が行なわれたならば、それに対して各審判員は夫々2点の評点を与えるべきである。そしてこのことは審判長によって通告されるべきである。その他の状況に於ては審判員は各自の判断で2½より4½までの評点を与えるべきである。
- 日本水泳飛込規則 44, 49
各競技における決勝進出者は12名とする。
(注) 従来は女子高飛込以外は8名である。尚、F I N Aにおいて飛板飛込の競技方法が未決定であるため飛板飛込に関しては保留とする。

飛込種目追加及び難易率の修正

飛込種目表

(追加)	番号	名 称	高さ 1m+3m
A. 飛板飛込	5124	前宙返り1回, 2回捻り (自由型)	2.2
	5136	前宙返り1回半 3回捻り (")	2.9
	5152	前宙返り1回半 1回捻り (")	2.7
	5335	前逆宙返り1回 半, 2回半捻り (")	2.8
	5422	後踏切前宙返り 1回, 1回捻り (")	2.2

B. 高飛込	5136	前宙返り1回半 3回捻り (自由型)	10m 2.9(走)
	5152	前宙返り2回半 1回捻り (")	2.7(")
	5154	前宙返り2回半 2回捻り (")	2.9(")
	5335	前逆宙返り1回 半, 2回半捻り (")	2.8(")
	5434	前踏切前宙返り 1回半, 2回捻り (")	2.8(立)

(追加及び難易率の修正) 3 m

A. 飛板飛込	101	前 飛 (伸)1.6 (蝦)1.3 (抱)1.3
	107	前宙返り 3回半 — (蝦)2.9 (抱)2.7
	401	後踏切前飛(伸)1.6(蝦)1.3(抱)1.2

男, 女, 飛板飛込の競技種目及び競技方法 (F I P A 10 (案) 1965年3月現在)

11種目: 規定飛5種目, 選択飛6種目

(内5種目は各群より, 残り1種目は何れの群からの選択でもよい)

予 選 (競技者会員)	5種目
規定飛	3種 (前飛, 後飛, 前逆飛)
選択飛	2種 第4群と第5群の選択飛
準決勝 (予選上位16名)	3種目
規定飛	1種 (後踏切前飛)
選択飛	2種 2種目

決 勝 (準決勝上位12名) 3種目

規定飛	1種 (前飛半回捻り)
選択飛	2種 2種目

尚, 規定飛の各飛込は伸, 蝦, 抱のいずれの型でも可

(注) 上記の飛板飛込に関する競技規則はF. I. N. A. Bureanにおいて決定次第 日本選手権競技要項に採用する予定である。

水球規則の改正について

水球委員会

F I N Aの水球規則が一部改正されましたが水球委員会としましては下記の1項目を取り入れ1965. 6. 1. 以後の試合より発効する事に致しました。尚この他数点ありますが今年度の国内試合には採用致しません。

第10条47項

(新) ゴールキーパーは4m線の外に出ることが出来る但しこの場合はGKの特権を失う。しかし, 中央線外のボールに触れること, 自身が中央線を越えることは出来ない。

手引(註) 10条47項に関して

- ① GK自身が4m線内にあるときは, 線外のボールと同時に両手で触れることは出来ない。
- ② GK自身が4m線外にあるときは線内のボールと同時に両手で触れることは出来ない。
- ③ 4m線内外の判定はGKの頭を基準とする。

(旧) ゴールキーパーは4m線から外に出, 或は4m線外のボールに触れることは許されない。

シンクロナイズド・スイミング競技規則改正要項

シンクロ委員会

旧 規 則

改 正 規 則

第四章 9

競技者は、競技開始以前にその使用するレコードに出場種目

ルーティンの題名、氏名、スピード、回転方向を記載した紙を貼布し提出しなければならない。

「ルーティンの題名」を削除。

第十四章 43

……尚 5つの選択規定スタントの難易率の合計が8.5を超える場合は8.5として得点計算の際に扱われる

……尚, 5つの選択規定スタントの難易率合計を5で割ったものを平均難易率とする。

第十四章 44

ルーティン記載用紙にはルーティンの概略と5つの規定スタントを順序に従って記入しなければならない、規定スタントに印をつけ……。

ルーティン記載用紙には演技の順序の概略を記載し、規定スタントには印をつけ……。

第十四章 47 演技時間

ルーティンの全体所要時間は陸上動作20秒以内を含む5分以内とする……。

……陸上動作を含み2分以上4分以内とする。

第十四章 50 演技の開始と終了

演技は音楽と共に始め同時に終らなければならない。

演技の開始は音楽開始後5秒以内に始め、終了は音楽と同時になければならない。

第十五章 54

「完遂度」の採点はスタント、泳法或はその部分の動作すべてについて技術的観点から完全かどうかを見て行う。

……或はそれらの部分のすべてについて、正確さ、安定性及び節度ある動作の観点から行う。

第十五章 55

「美しさ」の採点は泳者相互の同調性、音楽との同調性、演技構成、伴奏音楽の解釈、テーマの表現力、独創性及び演技全体を通じての流動感、演技態度について行う。

「テーマの表現力」、 「演技態度」の削除

第十五章 56 「美しさ」の採点の割合

	ソロ	デュエット・チーム
① 同調性	2	4
② 演技構成	4	3
③ 演技態度	4	3
流動感 独創性		

「演技」の語を削除

③項を「曲想との調和」に訂正。

第二十章 66 ルーティン競技に於ける減点

次の場合には1点を減ずる

③ 競技者が(その中の1名でも)伴奏音楽と共に開始し、また同時に終了しなかった場合

……伴奏音楽開始後5秒以内に開始せず、また……

第二十章 67

次の場合には2点を減ずる。

- ①
- ②
- ③ 全演技が5分を超えた場合
- ④

減点は総て1点とし、67項を66項に合併する、従って、67項①～④項はそれぞれ66項⑤～⑧となる。

⑥全演技が2分未満及び4分を超えた場合

第二十二章 68 ルーティンに於ける失格

第二十一章 67 ……

第二十二章 69

第二十二章 68

水泳指導員資格検定試験実施規則

普 及 委 員 会

第1条 日本水泳連盟（以下連盟という）は、この規則により水泳指導員（以下指導員という）の資格検定試験（以下検定試験という）ならびに認定を行なう

第2条 指導員は、次の2種に分ける

第1種指導員—水泳の指導・管理および第2種指導員の指導・養成ができる。

第2種指導員—水泳の初心者指導ができる。

第3条 第1種指導員検定試験は連盟が実施し、第2種指導員検定試験は連盟の加盟団体もしくは連盟が実施する。

第4条 検定試験は、第1種、第2種ともに3～8名の試験委員と若干名の補助員とを以て行なう。

第5条 試験委員の認定ならびに任命は、主催団体の会長が行なう。補助員の委嘱は、検定委員が行なう。

第6条 試験科目および合格基準は別紙要項の通りである。

第7条 指導員の資格は、満20才以上の者に与える。20才未満の者で試験に合格した者に対しては、上の年齢に達した時に与える。

第8条 検定試験を実施した加盟団体は、検定試験成績一覧表・合格者の履歴書・登録料（合格者1名につき500円）を連盟本部に送付しなければならない。

第9条 検定試験に合格した者は、写真（2枚）・登録料（別紙記載）・その他試験委員の定めたものを検定試験実施団体に直ちに提出しなければならない。

第10条 既に連盟の指導員資格を得ている者は、第1種指導員として認定する。

第11条 この規則を施行するために必要な細則は、連盟が定める。

第12条 この規則は、昭和40年6月1日より施行する。

第1種水泳指導員資格検定試験要項

1. 検定試験は下記の科目について行う。

(一) 学 科

- (1) 水泳概説（水泳一般、水泳団体組織等）
- (2) 標準泳法
- (3) 競泳競技法
- (4) 飛込競技法
- (5) 水球競技法
- (6) 水泳管理（指導者心得一般、水泳場の管理）
- (7) 初心者指導法

(8) 水泳医事

(9) 水泳史

(二) 実 科 (男子) (女子)

- (1) クロール（100m） 1分30秒以内 2分00秒以内
- (2) 背 泳（50m） 50秒以内 1分20秒以内
- (3) 平 泳（100m） 1分50秒以内 2分30秒以内
- (4) バタフライ（泳形）
- (5) 潜 行 25m 20m
- (6) 立 泳 踏足にて10m物を運び、30秒間両手で保持して停止する。
- (7) 横 泳
- (8) 飛 込 逆飛（5mより） 逆飛（3mより）
- (9) 浮 身
- (10) 救助法（救助法・人工呼吸法）

(三) 面 接

- 註 1. (1)(2)(3)の時間の限度は、男子35才以上、女子30才以上については20%増まで合格させることができる。
2. 立泳は片手を使い片手で物（水球ボール程度のもの）を保持して5m泳ぎ、次に両手で保持したまま30秒間停止し、再び片手で保持して泳いで帰る。
 3. 横泳は25mを12掻き以内で泳げることを標準とする。
 4. 5m飛込台の設備のない場合は3m台を用いる
 5. 補助体操については試験期間中受験者に指導する。

2. 検定試験は全科目合格を原則とするが、不合格の科目のみにつき受験することができる。
3. 検定試験を受けようとする者は、履歴書並に水泳歴に検定料500円を添え、主催団体宛申込みものとする。
4. 検定試験合格者には連盟より合格証並に水泳指導員資格証を授与する。
5. 検定試験に合格した者は登録料1,000円を納入しなければならない。
6. 年令満20才以下の者は資格証を受けることができない。

第2種水泳指導員資格検定試験要項

1. 検定試験は下記の科目について行う。

(一) 学 科

- (1) 水泳一般(水泳史, 水泳概説, 団体組織等を含む)
- (2) 標準泳法
- (3) 水泳競技一般
- (4) 初心者指導法
- (5) 水泳管理
- (6) 水泳医事

□ 実 科

- (1) クロール (50m泳ぐ)
- (2) 背 泳 (")
- (3) 平 泳 (")
- (4) 潜 行 (15m)
- (5) 立 泳 踏足にて手を用いず30秒泳ぐ。
- (6) 横 泳 (25m泳ぐ)
- (7) 飛 込 逆飛 (1mより)
- (8) 救助法 (救助法・人工呼吸法)

□ 面 接

註 補助体操については試験期間中に受験者に指導する。

2. 検定試験は全科目合格を原則とするが、不合格の科目のみにつき受験することができる。
3. 検定試験を受けようとする者は履歴書ならびに水泳歴に検定料500円を添え、主催団体宛申込みものとする
4. 検定試験合格者には主催団体組織を通じ連盟より合格証並に水泳指導員資格証を授与する。
5. 検定試験に合格した者は登録料 500 円を直ちに納入しなければならない。
6. 年令満20才以下の者は資格証を受けることができない。

註 試験中試験委員が、受験態度等に於て指導員として不適当な人物と判断した受験者に対しては検定試験の成績如何にかかわらず不合格とすることがある

第1種水泳指導員検定試験実施細則

第1条 この細則は、日本水泳連盟が実施する第1種水泳指導員検定試験実施規則に従って検定試験を実施する際に必要な事項について規定する。

試 験 委 員

第2条 検定試験委員は、中央委員と地方委員とに分ける。中央委員は、日本水泳連盟会長が直接委嘱し、地方委員は、加盟団体が推せんし、会長が委嘱する

第3条 委員の任期は2年とする。但し再任を妨げない

試 験 の 実 施

第4条 検定試験は、毎年1回以上東京もしくはその他の地方に於て行なう。

第5条 検定試験の回数・場所・期日等については、日本水泳連盟の普及委員会が決定する。加盟団体は、その所管地域に於て検定試験実施の希望がある時は普及委員会宛申出ることができる。

第6条 検定試験の実施に際しては、中央委員が2名以上参加し、そのうち1名が試験委員長となる。

委員長は検定試験の実施全般を統轄する。

第7条 検定試験委員は、当該試験の学科ならびに実技の試験問題の作成、試験の計画、実施、監督、採点合格者の決定、結果の報告等に従事する。学科ならびに実技の配点は、各種とも10点万点とし、6点以上を合格とする。但し計時による種目に於ては合否のみを決定する。

第8条 試験委員の割当、試験補助員の委嘱は、試験の都度関係委員が合議の上決定する。

第9条 実技試験のうち計時による種目の泳形・スタート・ターン等は、日本水泳連盟の競技規則に準じて行なうものとする。また、泳型を主とする種目に於ては、下記の泳法に関する規定に従うものとする。

1. バタフライでは、ドルフィンキックを用いる。
2. 横泳に於ては、あおり足（逆あおりは不可）を用いる。
3. 立泳では、足の裏で水をふむ。
4. 潜行では、身体の一部でも水面から出てはいけない。

その他飛込・浮身・救助法の試験については、試験委員がその都度示すものとする。

面 接

第10条 面接に於ては、試験委員が必要と認めた事項について質問する。

合格者の決定と種目の合格認定

第11条 試験の結果に基き試験委員は、合格者を決定し不合格者に対しては、それぞれの認定書に合格種目を記入し、捺印する。

第12条 試験終了後受験者より要求のあつた場合には、試験委員は、本人の試験の成績を知らせることができる。

第13条 上記のほか検定試験の細部については、試験委員が合議の上決定する。

第2種水泳指導員検定試験実施細則

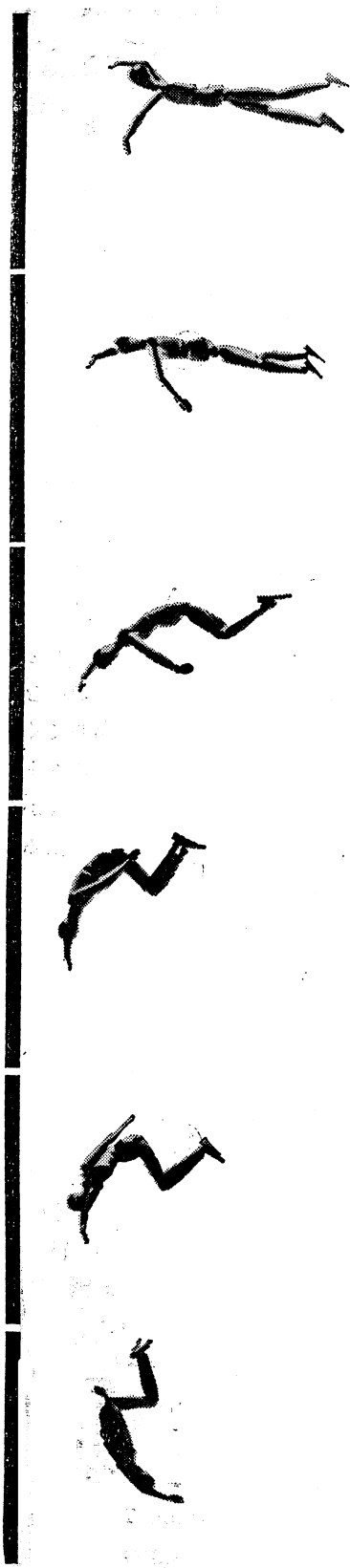
第1条 第2種水泳指導員検定試験を加盟団体が実施する場合の実施細則は、下記の事項のほかは、第1種水泳指導員検定試験実施細則に準ずるものとする。

1. 検定試験委員は、日本水泳連盟の加盟団体の会長が任命する。
2. 検定試験を実施した加盟団体は、試験の日時・場所・受験者数・合格者数を記載した報告書に当日の試験委員の署名・捺印をした上、所定の書類に登録料をそえて2週間以内に日本水泳連盟本部宛に送付しなければならない。

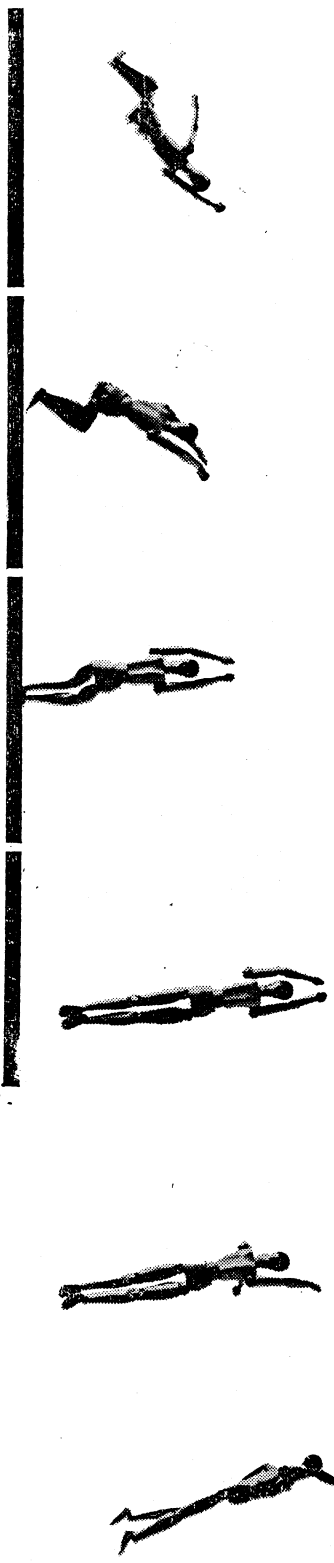
第2条 第2種水泳指導員検定試験を日本水泳連盟が直接実施する場合の実施細則は、第1種水泳指導員検定試験実施細則に準ずるものとし、必要なる事項については、普及委員会が決定するものとする。

フリップ (トンボ返り) ターンの説明

自由形ノータッチトンボ返りターン
(右手から行うターンニング)



- ① ①②
右手が伸びた所で頭を水中に下げながら右手、指先を左下方向に持って行き、右手指先、頭、腰の順に重心を下げながら回転を始める。
- ② ③④⑤
重心が下がり回転始めたら右手を右耳に着け目の方向を左に向けながら回転する。
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥ ⑥⑦
回転しながら手の位置を正しく直す。回転が終わった時二つの目の位置は「右サノ



- ⑦
「サイドのカベ」の面と平行でなくてはならない。
- ⑧ ⑧⑨⑩
足が「カベ」に着いた時すぐに「カベ」をける。この時、今まで行われていたように体の位置を変えずそのまま「カベ」をけらなければいけない。
- ⑨
- ⑩
- ⑪ ⑪⑫
呼吸する反対側の手から「ストローク」を始め体を半転しながら水面に出る。
- ⑫

注意すべきことは、このターンはノータッチトンボ返りターンであるので、ターンニングを始める時は「カベ」から泳者の指の先までの間が、その泳者の身長のおよそ半分の

所で回転し始めるのが好ましい。

自由形ノータッチトンボ返りターンの初歩的な練習に関する注意すべきことは、ターンニングの練習する時はできるだけスピードを落とし②～⑧と⑨～⑫までの二つに分けて行うこと。

回転ターンはスピードが上ればそれだけ行かないやすいが、最初はスピードを落とし練習することが正しい型を早く習得するコツである。これは背泳回転ターンの練習にもいえることである。

背泳のトンボ返りターン (左手より行なうターン)

① ①②
ストロークが始まろうとしている左手の指の先を「カベ」にタッチし、頭を下げながら体の重心を回転に持って行く。

②

③ ③④⑤
上半身の重心を下げながら「ひざ」を左手の方向に向け右手方向に「ななめ」に回転する。

④

⑤

⑥ ⑥⑦⑧⑨
足が「カベ」に着いてきたと同時に両手を正しい型に直し「カベ」をける。

⑦

⑧

⑨ ⑨⑩⑪⑫
「カベ」をけりその進む力が落ちてくる直前にストロークしながら水面に出る。

⑩

⑪

⑫

(((全米オリンピック選手選考競技会視察雑記)))

常務理事，強化コーチ 佐藤 幸男

場所	ニューヨーク市	アストリア・プール	
日程	8月26日(水)	羽田発	10:00
	"	サンフランシスコ着	7:45
	8月27日(木)	サンフランシスコ発	9:00
	"	ニューヨーク着	16:45
	8月29日(土)	全米オリンピック選手選考競技会	
	9月3日(木)		
	9月4日(金)	ニューヨーク発	11:30
	"	サンフランシスコ着	14:05
	9月5日(土)	サンフランシスコ発	14:00
	9月9日(日)	羽田着	

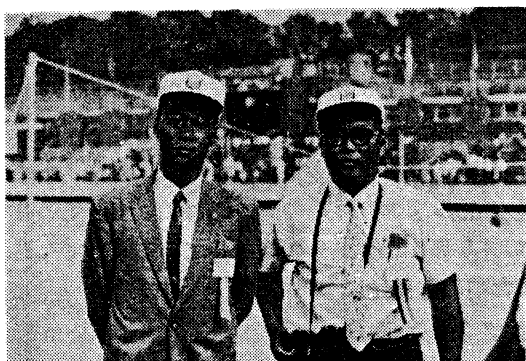


写真1 アストリア・プールにて
左 志村文一郎氏，右 佐藤

8月29日より9月3日までニューヨーク市アストリアプールで行われた全米オリンピック選手選考競技会を視察いたしました。試合前及び当日の練習，試合前の調整法やレース運び等，各コーチに質問したり実際に見学いたしました。

大会の印象

1. 第1日の予選の時は全選手が固くなっており，大会の雰囲気も殺気だったような感じも受けましたが，2日目からは，大分柔らぎ，どの選手も代表になろうという意欲の表れが，前半からとばし，積極的なレースを行っていた。
2. 世界新や，全米新が続出し，又多くの選手がベストを出していたが，ネルソン始め殆んどどの選手が多少オーバーペースではないかと思われる程のレース運びでしたが，これが好記録を生んだ原因ではないかと思えます。
3. ジャストレムスキーが目ざましいカムバックをとげ200mで2分30秒の壁を破った時は全役員，選手が大沸きにわいてプロコペンコに勝ったと大喜びでした。

インディアナ大のコーチ，カンシルマン氏は試合前にジャストレムスキーは大体復調したが，まだスプリント不足なので東京大会までにスピードをつけさせると語っていました。

4. 第一人者のショランダーは100m，400mとも2位に甘んじたが，腕の筋肉が痛いので調子が悪いが，東京大会では4分10秒で泳ぐ心算だと自信のほどを示しゆう然と語っていました。

サンタクララのヘインズコーチはショランダーの東京での優勝は固いと見ており，タイムも4分9秒は出るだろうと，コーチも自信に満ちていました。

5. サアリが1500mで初の16分台に突入し，16分58秒7の快記録をうちたてた。500mまではネルソン，ファーレイ等と一団となって通過したが，500mからのラップが8秒台となり，800mを9:02.6の好タイムをマークして通過した。1000mからもし8秒台でいけば16分台になるかも知れないと思ったが，サアリの泳ぎは益々好調で1,400mまで8秒台で泳ぎ，ペースがくずれず，最後の100mを5秒4でフッとばし遂に世界新を樹立したわけである。
6. 400mで3位，1500mで2位となり代表選手となったネルソンの泳ぎが非常に目についた。まだ15才で体も余り大きくないが，ピッチの切れ味がよく，体全部がバネのような感じの泳ぎをしていました。特に400mでは全部クイックターンで廻りサアリ，ショランダーに迫り，自己のベストタイムをマークしたのは立派であった。
7. 女子ではラメノフスキーが400mで世界新を出し，又デ・パロナも400m個人メドレーで世界新を出す等の活躍があったが，デ・パロナは100m自由形，400m個人メドレー，100m背泳と毎日一種目づつ泳ぎ，



写真2 アストリア・プールにて
前列左 シュルホフ 右 テリー・ステイクルス

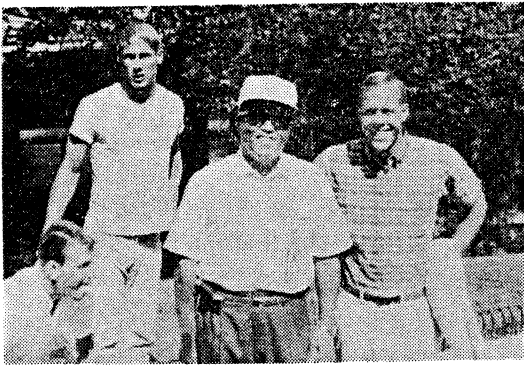


写真3 アストリア・プール入口にて
右 L・シュルホフ（100m バタフライ2位
58.3, インディアナ大）
中 佐藤。



写真4 アストリア・プールにて
左 キップス氏, 右 佐藤。

東京大会では田中聰子, フランスのキャロンと有力な金メダル候補になっていた。100m 背泳では4位になってしまい, 代表権を失う番狂はせがあった。これについては背泳が一番最後に行われたのですが, 他の種目を予選, 決勝と毎日泳いだので背泳の時は疲れが出て, 不本意な結果となってしまったのではないかと思います。

8. その他 100m 背泳でマンが60秒0の世界新を出し, いよいよ背泳も60秒突破は時間の問題となった。女子200m 平泳では3世のサンドラ・新田が3位に入賞しゴールに入ったら嬉し泣きに涙をボロボロ流していましたが, ああやっぱり日本人の血が流れているんだなと感じた次第です。

以上印象的なものを書きましたが, アメリカがここまで力強く伸びた若い力の秘密はどこにあるのかと関係者に質問したら「それはエイジ・グループシステム」だといっている。それをこの大会で十二分に見せつけられた次第です。この大会が行われたアストリヤ公園の中で大勢の子供達が遊びそしてプールで泳いでいましたが, 7, 8才の小さな子供が見よう, みまねにとんぼ返りターンをやったり自由形, 平泳, 背泳と色々な種目を泳ぎ楽しんでいました。

それにしても自分の専門種目しか泳がない日本の選手とは違い, 何種目でも意欲的に泳ぐ選手, 又泳がせるコーチと唯単にエイジ・グループの人数が多いから強いというだけではなく, アメリカの強さは「複数の強さ」であるという感じを強烈にうけた。

多くの水泳選手が, クラブ, 家庭, 学校の生活の中にとけこんでおり, しかもそれが一本になっていることが何よりの強味ではないでしょうか。

○ 試合前日及び当日の練習

サンタクララ S.C.

ア ッ プ 400m
キ ッ ク 200m
プ ル 200m
ダ ッ シ ュ 50m×4回 25m×4回

インディアナ A.C.

ア ッ プ 400m
キ ッ ク 200m~400m
ダ ッ シ ュ 50m×8回 25m×2~3回
レースコース 100m×1~2回

大体以上の練習量であるが特にダッシュは1回1回ていねいに行っており, そのタイムによって, その選手の調子の良し悪しをコーチは判断しているようでした。

○ 試合前の調整法について

サンタクララ S.C.

サンタクララでは普段は一日8,000m位の練習量であったのを, 大会一週間前には一日2,000m~3,000m位に練習量を少なくし, スタートを入れてスプリントをつけインターバル練習の泳ぐ間に休養を多くとって, そして選手達にいかになべり強く, いかになまく泳ぐかを助言しており, 選手達がコーチを信じてくれることを望むように心懸けているとヘインズコーチは語っております。

又選手は機械ではないから, 大きな大会の前の週の休養は練習中の最も重要な要素であるといっている。

○ 強化練習法について



写真5 アストリア・プールにて
左 佐藤, 中 志村文一郎在外理事, 右 ロス
アンゼルス 400m 自由形優勝者 C・クラブ氏

インディアナ大学のカンシルマンコーチは強化練習について選手の水泳写真を前、後、左、右と色々な角度から撮って分解写真を作り、それにより選手の欠点をみつけ出して～すべてのことをコーチと選手が互いに理解し合っている。又選手が自主的な気持を作ることに努力しており、どうしたら選手に意欲を持たせることが出来るかを考えている。その方法としては毎日変った練習をやらせる。即ち制限タイムをつけてやり、全部出来れば何か懸賞をやったり、又練習中にジョークを云って雰囲気をもたせてやる。その他にはリレー等をやるが常に制限タイムをつけるのと、そうでないのと二通り作って練習をやらせている。制限タイムをつける場合は毎週タイムを個人により上げていくようにしている。又カンシルマン氏は今後選手を強くするためには次のことをやらなければならないといっている。

(1) 心臓(筋力)を強くする。

(2) 技術(泳法)を良くする。

(3) 心理的なものが大切である。

以上三点を強調していたが、特に選手の心理については非常に大切であり、今後研究したいと述べていました。

大体以上で視察の報告と致しますが、全米で30万人とも、50万人ともいわれるエイジ・グループの選手の層の厚さは中々真似出来ない点ではあるが、唯「選手が多いから強い選手が出てくる」だけでは済まされないだろう。水泳にますます米国人の考え方、又施設の点等数え挙げれば、多くの問題が出てくると思う。しかし日本の水泳界でも良い選手を作り出すために努力されているコーチが数多くいるを確信し、又水泳日本の名が世界の檜舞台に出ることを信じて筆をおきます。この度の視察に際し水連の在外理事の志村文一郎氏、青山幸郎氏始め、米国水連の役員諸氏に色々とお世話になりましたことを深く感謝しております。

インディアナ大学水泳コーチ J. カンシルマン氏の

“水泳のためのインターバル トレーニング”

常務理事 佐藤 幸男

過去数年間における記録のめざましい更新の主なる理由の一つは多くの泳者が用いているトレーニングの過程における更新であった。以前は総合的練習といえ単なる水泳、キック、プル等を時には最後に少しばかりプリントで泳ぐこともあるが、ゆっくりと或は適度のペースで何度もくり返したものであった。この種の練習の例として次の様な型があげられる。

- (1) 1マイルを連続的に泳ぐ。
- (2) 半マイルを連続的にプルで泳ぐ。
- (3) 半マイルを連続的にキックで泳ぐ。
- (4) 50ヤードをスプリントで4回くり返す。

これは正しい練習法といえるであろうか？

ジョウスマスは、50ヤード自由形を23秒で、100ヤード自由形を50秒で泳ぎたいと練習している。もし彼が1マイルをゆっくりと、或は適度のスピード(ペース)で泳いでいたら各50ヤードを40秒からそれ以上100ヤードを1分20秒もかかって泳ぐことになる。

彼がレースで出したいと思っているスピードの半分より少し遅いスピードで泳いでいるわけである。このような練習方法は正しいであろうか？ この練習方法の論理を吟味検討するために、他のスポーツその他の分野に於て行われているそれと比較してみよう。

バイオリン奏者がホルレイスのスタッカートを練習す

るのにその半分の速度で演奏するだろうか？ 7フィートの跳躍を目ざしている走高跳の選手が、3フィート半か、4フィートのバーで練習をするだろうか？ スピードボールのピッチング練習をする際、ピッチャーは、その半分の速度で投げるものだろうか？ 短距離の選手が200mダッシュの練習をする際、大股で歩いて練習をするだろうか？ こう考えてくると次のことが明らかになってくる。つまりスポーツ選手や、音楽家は試合(演奏会)で出そうと望んでいるのとはほぼ同程度のスピードで普段練習する技術を身につけるようにせねばならないという事である。

走高跳の選手がいつでも練習の時に7フィートをとぶことは無理である。しかし、4フィートの跳躍訓練をするより目ざす高さ(7フィート)に出来る丈近い6フィートか、6フィート半は跳ぶ訓練をせねばならないのである。

トレーニングの原則

以上の事から水泳のトレーニングに関する非常に重要な原則を引き出すことが出来る。

○最高限度の記録(力)を出すためにはレースの際に泳がんとする自己のペースで、又はそれに最も近いペースで練習の時も泳がねばならない。

或は距離（割合長い距離）をゆっくりと泳ぐことにより、かなり長距離を泳ぐことが出来るかも知れない。そしてその泳者は非常に酷しいトレーニングをしたように感じるのである。彼が“今日は練習で2マイル泳いだ”という時可なり成績をあげ、一つの業績を行ったかのように感じる。多くの人々は速く泳ぐためには単に毎日より多く（より長く）距離を泳ぐことだけが必要であると信じているのである。

○問題は練習の量ではなく質（方法）なのである。

ここで練習の質—方法—の重要性を強調したい。単なる多い少ないといった練習の量は決して意義のあることではない。

ロジャーバニスターは1日わずか45分の練習量でマイル4分の壁を破った陸上界最初の人物である。この偉業を成しとげた当時彼は病院に勤務するインターン生であったので、練習時間を沢山とることは不可能であった。肺はやけつくようになり、体中が痛む程のはげしい練習ぶりであった。彼の練習量は大したものではなかったが、その質（方法）が問題であったのである。つまり彼の偉業は練習の量によってではなくその質によって成しとげられたのである。

彼は殆んど陸上選手がやるように、アンダーディスタンスのランニングを非常に速いペースで何回かくり返すこと、又この一連のランニングの合間に休息をみじかくとる事でその練習をしてきた。こういったアンダーディスタンスのランニングのスピードをコントロールすること、又その合間のみじかい休息をコントロールすることで陸上選手は、その総括的練習の中に進歩を見出すことが出来るのである。

インターバルトレーニングの定義

各ランニングの間にはさまれた休息の間かく（時間）はその場合に応じて調節される。そこでこのインターバルトレーニングなる言葉は中々混乱しやすい言葉になってしまっている。

トレーニングたけなわ（絶頂期）にあっては殆んど陸上選手はオーバーディスタンスのタイムトライアルやオーバーディスタンスのランニングを練習し実際的に行わないという事は、中々興味あることである。

おそいペースの水泳は有害な結果をまねくことがあり得るか？

多くの人達がゆっくり泳いでいる場合にのみ、自己の泳法（ストローク）について考える事が出来るのだと信じている。もしこれが事実ならばその人は怠け者だということになる。素晴らしい立派な泳者（選手）になるためにはどのしゅん間にも力を出せねばならぬし、又自

己のストロークについて考える事が出来ねばならぬ。

・精神は身体をコントロールすることが出来ねばならない、ゆるい速度で泳いでいる時ばかりでなく、速い速度で泳いでいる時も。

・緩まんな泳ぎは有害な効果をまねく事がある。

泳者がストロークを「減速する時」におこるさまざまな要因がある。泳者は実際にこれらの要因のヴァリエーションに起因するあやまったテクニックを学んでしまう事もあり得るのである。

・緩まんな泳ぎと速い泳ぎに於てテクニックは種々変化

1. 泳者が腕をもとへ戻す際の重力と、遠心力の効果はしばしば緩まんな泳ぎをしている間にその戻し方を変えてしまうというくせの原因となる。
2. 泳者がかなりの速度で泳いでいる場合には、体は水中でぐっと浮き上がってくる。丁度水上スキーでスピードが出はじめると体が浮き上がってくると同様に。
3. 呼吸の仕方も速いスピードで泳ぐ場合には変わってくる。何故なら体の位置はゆるい速度で泳ぐ場合よりかなり高く浮き上がっているし、弓状のくぼみ（波と波の間のくぼみ）は深くなるので呼吸するために頭をそれ程振り上げる必要はないのである。



小弓状とくぼみ ゆるい速度で泳いでいる場合の頭の位置



大弓状波とくぼみ 速い速度で泳いでいる場合の頭の位置

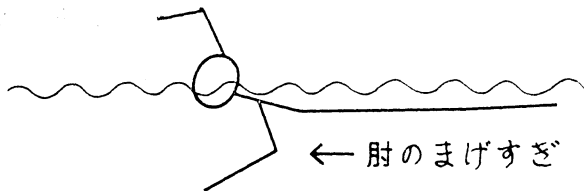
我々は長時間のゆっくりした速度での安易な練習はしない。

そのような練習は泳者にあやまった泳法（ストローク）のくせを増長させる。ストロークに入る前にひじを深く落とすとかがその例である。



又しばしば呼吸がおくれがちになり易いということにもなる。彼等はストロークの終りの部分で極端に肘を曲げる傾向になりがちである。（次図）

バタフライ泳法においては腕を前方に上げる動作がおくれがちになったり、ストロークがすべり気味になった



りする。バタフライ競泳は、440ヤードを越えるものはまずあり得ないし、440ヤードレースというのも稀である。バタフライ泳法における飛場のトレーニングは殆んど50~100ヤード、或は200ヤード程度の距離である。泳者は常に連続的ストロークで泳ぎ、2ストローク毎に呼吸するという事を忘れてはならない。

トレーニングに関するもう一つの原則

泳者は練習の際に（毎日の練習）身につけた事を、実際のレースに於ても行いがちである。泳者はレースに於て用いたと思うテクニックを練習時に身につけようとするべきである。

トレーニングに伴う生理学上の原則

練習をする際泳者は自己の肉体を生理学的に変化させている。肉体は訓練によって体かけられる圧迫緊張に順応する。心臓はより敏感に効能を発揮する。筋肉は強くなりやすくて疲労しない等、沢山の微妙な変化、血液中のヘモグロビンの含有量とか、肉体の刺げきによって（訓練によって）造られる乳酸菌を中和させる血液中の緩和物質とかの微妙な変化が総括的にみて色々おきているのである。肺は一層活発に働くのである。

ストレスという言葉は害があるということの言外の意味を持っている。これは遺憾なことである。というのは我々は身体の適合とか調節のどのレベルに達することの出来る前にも、訓練過程に於て身体にストレスを加えなければならないからである。

最高に効果は適合（最大適合）に至るために用いるべき練習用具（トレーニングプログラム）の決定に伴う真の問題は、(1), (2), (3)の型どれが一番望ましいものであるかという事である。

- (1) 我々が丁度ゆるいペース或は適度のペースで長距離を泳いでいる時かけられるような軽い、やわらかにストレスを適度にだらだらと身体にかける。
- (2) 我々がインターバルトレーニングを行っている時のような短時間の休息を入れたはげしいストレスを沢山しかもきびきびと短時間づつくり返しかける。
- (3) 以上2つの方法を組合せて行う。

インディアナ大学における水泳トレーニングのプログラムを定めるに当たり、我々は第2の方法に大分傾いたのだが、まだ選手達はいくらかオーバーディスタンスの泳

ぎをしているようである。

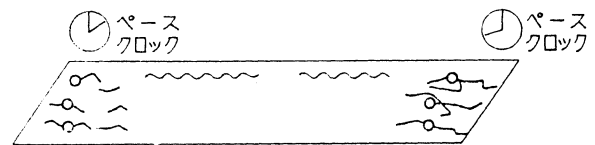
ジョージグリーンとアランソマーズはオリンピックめざしての1,500m競泳のトレーニングで、一夏中わづか2度程1,500mのタイムトライアルをしたにすぎない。練習の際400mかその以下の距離を一区切として繰り返して泳いだのである。1日に8回も400mのタイムをとるという方法を行った。

いかにインターバルトレーニングが水泳の練習に適用され得るかを示すために我々は、練習要領のいくつかをつまんで説明しようと思う。

月曜日

1. アップ 200ヤード
2. キック 440ヤード タイムをとる
3. キック 100ヤードを5回 " (3分毎にスタート)
4. プル 440ヤード " (カカトの部分チューブでくるんで)
5. プル 100ヤードを5回 " (3分毎にスタート)
6. コンビ 50ヤードを30回 (1分毎にスタート)

便宜上泳者を二つのグループに分けて練習を行う。プールの各端に一グループづつ配置し、監督のもとに水泳、キック、プル等各反復を行う。泳者達は自分自身のタイムを大きな二つの掛時計を使用してとる。学年の始めもし50ヤード水泳を行うなら、秒針が0を指す毎にヤードのスタートすることにする。フリースタイルで泳ぐとすると、多分50ヤードを30秒程で泳ぐであろう。そうすると次のスタートをするまでに30秒程休息がとれる。もしブレストで泳ぐとすると、40秒位かかるであろう。すれば次のスタートまでに20秒の休息をとることになる。学年の中頃、そして終りと進むにつれてスタートを55秒毎、50秒毎、最後は45秒毎にかえて行くことにより、休息の間隔を縮めて行くのである。



プールの両端に配置されたグループを交互させることにより、又色々な型でその監督を同時に行うことによりプールの最大使用効果を得るが出来る。一つのグループが泳いでいる間他のグループは休む、又実際にはしばしば両方のグループが泳いでいる場合もある。泳者達の殆ど全てが大体同一の練習方法を行っている。長距離自由形泳者の練習は相当の距離の反復練習から成っている。

例 (二つのグループ)

火曜日

1. アップ 500ヤード……10分
 2. キック 100ヤードを10回… 30分… 3分毎にスタート
 3. プル 100ヤードを10回… 30分… ”
 4. 水泳 100ヤードを10回… 30分… ”
- 計 1時間40分

水曜日

1. アップ 200ヤード 6分
 2. キック 440ヤード 16分
 3. キック 50ヤードを5回 8分 1分半毎にスタート
 4. プル 440ヤード 14分
 5. プル 50ヤードを5回 8分 1分半毎にスタート
 6. 水泳 200ヤード 6分 3分の休息を含
 7. ” 100ヤードを4回 12分 3分毎にスタート
 8. ” 50ヤードを16回 16分 1分毎にスタート
- 計 1時間26分

この練習の型を用いれば組合せ方の数は実にいくらでも出てくる事は明白である。これを用いる泳者達は疲労を感じるかもしれないが、退屈を感じるという事はあまり無いであろう。

この練習の型における重要な要因は、各反復のスタートの間隔が調節されることである。この練習は上に示したような定められた時間を守って完了される。

インターバルトレーニングに関する 未解決の問題

正確にはインターバルトレーニングの練習の最も優れた型は何か？

- 問 1. 各反復水泳の間にはどの位の休息間隔が認められるか？
2. どの位の距離でその反復を行うべきか？
 3. 何回位行ったらよいか？
 4. キッキングプル練習も又インターバルトレーニング方で行うべきか？
 5. この練習の型は一年を通じて用いてよいだろうか？
 6. 泳者達は各反復をどの程度酷しく行うべきか？

これらの問題に対する回答がコーチの間で完全な一致をみることは、先づないであろう。時間と経験がこれ等の問題のあるものに回答を与えてくれるであろう。

インディアナ大学においては少なくとも我々は、これ等の問題につとめて答えられるようにしている。

1. 我々の基礎的訓練において、各反復水泳間の休息は充分であると思う。プールの対端から一方のグループに自分達の反復水泳を行わせるために。これは(練習)普通50ヤードの反復の間の休息時間は15~30秒に、100ヤードでは1分~1分半、200ヤードでは3分、400ヤードでは6分になるように行っている。

シーズンがすすむにつれて我々はこの休息時間を縮めていくようにしている。

2つのグループが一諸に行う時には時間が制限される。そして時間が制限されることにより、休息時間は短縮されることが出来る。時々我々は、一方のグループだけを練習させるのであるが、その時には下に示したように休息の間隔を縮める。

50ヤード反復の間の休息	10~15秒
100ヤード	” 10~30秒
200ヤード	” 30~60秒
400ヤード	” 15~60秒

2. 泳者は反復水泳の大部分をアンダーディスタンスで行うべきである。我々は50ヤード反復と100ヤード反復に重きをおいて集中して行っている。殆んどのカレッジレースは100ヤードか200ヤードで行われているので。

我々は泳者がトレーニングしている距離の $\frac{1}{4}$ か $\frac{1}{2}$ で反復練習を行うことに力を入れている。

3. 我々は少くとも一日の練習の半分は反復水泳で行うようにつとめている。もし全練習距離が2マイルだとするなら我々は1マイルを反復水泳で泳ぐことにしている。つまりこれは次のような方法があるということである。

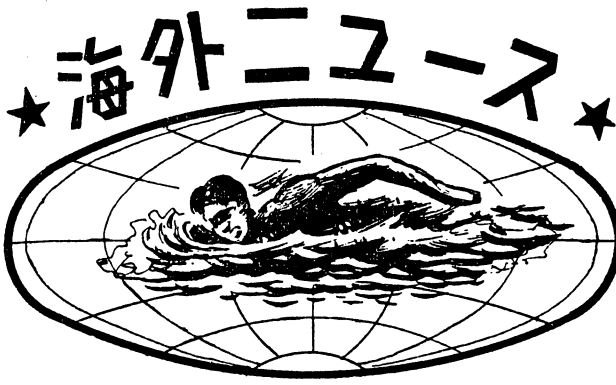
各1マイル

- (1) 50ヤード反復水泳を36回
- (2) 100ヤード ” 18回~20回
- (3) 400ヤードを1回、200ヤードを、2回として50ヤード反復を18回

4. キック及びプルのほぼ半分はインターバルトレーニング方法で行われている。
5. 我々はこの練習の型ばかりを行っていないのではない。時折時計から離れることもよいことである。それで我々はスピードも休息間隔もコントロールせずに400ヤードを一連続の水泳、キック、プル等で行って見たのである。
6. どの位酷しく泳者達は泳ぐべきか？

私は各泳者に平均時間を指示する。それは各泳者のトップスピードである。例えばマイク・トロイは50ヤードバタフライを24秒で泳ぐ、50ヤード反復を30回行

(11頁えつづく)



坂本亮四郎

豪 州

○ニュー・サウス・ウェールズ州選手権

1/9~16 シドニー 50m塩

男子

100m 自	1. P. ベリー (ケビンの弟) ⑮	57.1
200m 自	1. R. フェーガン	2:03.3
	2. J. ピック	2:04.9
400m 自	1. R. フェーガン	4:21.6
	2. J. ベネット	4:22.9
	3. J. ピック	4:25.3
1500m 自	1. R. フェーガン	17:40.3
	2. J. ベネット	17:40.5
	3. J. ピック	17:51.7
100m 平	1. I. オブライエン	1:10.7
100m バ	1. B. ヒル	1:00.8
200m バ	1. "	2:12.9
	2. J. スターク	2:13.6
100m 背	1. P. レイノルズ	1:02.7 1:02.7
200m 背	1. "	2:14.0
200m 混	1. "	2:20.5新
400m "	1. "	5:00.4"

女子

100m 自	1. L. ベル	1:02.4 1:02.7
	2. J. マーフィー	1:03.5
200m 自	1. I. ハーフোর্ド	2:16.6
	2. N. ダンカン	2:16.8
	3. L. ベル	2:17.5
	4. K. ウェインライト	2:17.7 2:19.0
400m 自	1. I. ハーフোর্ド	4:48.3
	2. N. ダンカン	4:49.7
	3. L. ベル	4:54.9
200m 平	1. M. ルイグロック	2:51.6

◎全豪選手権 2/27~3/1 ホバート 55y

男子

110y 自	1. D. ディクソン	55.6
	2. J. ライアン	55.6
	3. N. レイノルズ	56.8
220y 自	1. D. ディクソン	2:04.7
	2. J. ピック	2:05.5
440y 自	1. "	4:42.7
	2. J. ベネット	4:26.1
880y 自	1. J. ピック	9:19.1
	2. J. ベネット	9:19.1
	3. R. ジャックソン ⑮	9:21.1
1650y 自	1. J. ピック	17:40.4
	2. P. レイノルズ	17:49.5
110y 平	1. I. オブライエン	1:11.1
220y 平	1. T. グラハム (ニュージーランド)	2:38.7
	2. I. オブライエン	2:38.9
110y バ	1. D. ジェラード	1:01.5
	(ニュージーランド)	
	2. J. スターク	1:01.8
	3. B. ヒル	1:01.9
220y バ	1. J. スターク	2:13.4
	2. B. ヒル	2:13.8
	3. D. ジェラード	2:15.2
	(ニュージーランド)	
110y 背	1. P. レイノルズ	1:02.6
220y 背	1. "	2:18.1
220y 混	1. "	2:22.3
440y 混	1. "	5:03.7

女子

110y 自	1. J. マーフィー	1:03.1
	2. L. ベル	1:04.0
220y 自	1. K. ハーフোর্ド	2:19.3
	2. L. ベル	2:19.8
	3. K. ウェインライト	2:20.5
440y 自	1. N. ダンカン	4:54.9
	2. K. ハーフোর্ド	4:54.9
	3. J. ソーン	4:59.0
	4. L. ベル	4:59.3
	5. K. ウェインライト	4:59.9 5:03.9
880y 自	1. "	9:58.2
	2. N. ダンカン	9:59.9
	3. K. ハーフোর্ド	10:07.1
110y 平	1. H. サヴィル	1:20.1
	2. C. バーネットソン	1:20.9
	3. M. ルイグロック	1:21.9

220y 平 1. H. サ ヴ ィ ル 2:53.2
 2. M. ルイグロック 2:53.2
 220y 背 1. V. ク ー パ ー 2:37.2
 オリンピック・チャンピオン, R. ウィンドルとK. ベ
 リーの両名がアメリカに留学したため, スターはオブラ
 イエンだけとなったが, そのオブライエンもニュージ
 ランド選手に敗れて精彩がない。数年前のような活況は
 ないが, レイノルズの成長, ベネットその他の新鋭の台
 頭があり, また女子の中長距離は充実した内容で, まづ
 まづの成績である。

ニュージーランド

○ニュージーランド選手権 3/8~13 デュネディン 55y
 男子

110y 自 1. R. ワ ル カ ー 57.6新
 220y 自 1. P. レイノルズ (豪) 2:06.6
 2. R. ワ ル カ ー 2:07.1新
 440y 自 1. " 4:31.0"
 1650y 自 1. P. レイノルズ (豪) 18:10.7
 2. R. ワ ル カ ー 18:18.4新
 110y 平 1. T. グ ラ ハ ム 1:12.0"
 220y 背 1. P. レイノルズ (豪) 2:13.5世新

アメリカ

○全米学生選手権 3/25~27 アイオワ州大学 25y

50y 自 1. S. ク ラ ー ク 21.2 21.2
 2. R. アブラハムズ 21.5 21.4
 3. W. グ ロ フ ト 21.4 21.4
 100y 自 1. S. ク ラ ー ク 46.2 46.1
 2. K. ワ ル シ ュ 46.7
 3. R. ガ ー ド ラ ー 46.8
 220y 自 1. E. サ ア リ 1:42.9
 2. S. ク ラ ー ク 1:43.2 1:43.4
 3. T. ラ セ ー 1:44.6
 550y 自 1. R. サ ア リ 4:43.6
 2. W. フ ェ ー レ ー 4:44.3
 3. T. マクアネニー 4:49.0
 1650y 自 1. R. サ ア リ 16:39.9
 2. C. ロ ビ ー 16:49.7
 3. W. フ ェ ー レ ー 16:58.1
 100y 平 1. W. ク レ イ グ 1:00.8 1:00.3
 2. K. ウ エ ッ プ 1:00.2
 3. P. シ ー ラ ー 1:00.4
 200y 平 1. T. トレセウエー 2:10.4

2. P. ジェファーズ 2:13.1
 3. W. ブランチャード 2:13.7
 100y 背 1. F. シュミット 51.2 51.0
 2. G. イ ル マ ン 51.4
 3. J. ホ ワ イ ト 51.5
 200y 背 1. F. シュミット 1:51.4新
 2. C. ロ ビ ー 1:52.1
 3. K. マ イ ル ズ 1:55.6 1:55.9
 100y 背 1. G. デ ィ レ ー 52.9新
 2. R. ベ ネ ッ ト 53.1
 3. R. マ ク ゲ イ 53.1
 200y 背 1. G. デ ィ レ ー 1:56.2
 2. R. ベ ネ ッ ト 1:56.6
 3. P. ハ マ ー 1:56.8
 200y 混 1. R. ホ ッ パ ー 1:58.1
 2. R. マ ク ゲ イ 1:58.8
 3. E. タウンゼンド 1:59.3
 400y 混 1. C. ロ ビ ー 4:16.8 4:16.6
 2. R. ホ ッ パ ー 4:18.8
 3. E. タウンゼンド 4:19.1
 400y 継 1. エ ー ル 大 3:07.2新
 2. ミシガン州大 3:07.7
 400y 混継 1. インディアナ大 3:30.7新
 2. 南 加 大 3:32.2
 3. ミシガン大 3:32.3

得点: 1. 南加大 285 2. インディアナ大 278.5
 3. ミシガン大 221 4. エ ー ル 大 113.5
 5. オハイオ州大 91.5 6. ミシガン州大 90

○全米室内選手権 4/1~3 ニューヘブソン エール大学
 25y

100y 自 1. S. ク ラ ー ク 46.1 (21.8) 45.6
 (米新) (米新)
 2. R. ガ ー ド ラ ー ⑦ 46.7
 3. J. エドワーズ 47.1
 200y 自 1. D. ショランダー 1:41.7(米新)
 2. S. ク ラ ー ク 1:43.1
 3. G. バッキンガム 1:44.4
 500y 自 1. C. ロ ビ ー 4:44.1(米新)
 2. G. バッキンガム 4:47.1
 3. M. パ ー ト ン 4:48.9
 1650y 自 1. R. サ ア リ 16:40.8(米新)
 2. M. パ ー ト ン 16:42.3
 3. R. ボ イ ド 16:46.8
 100y 平 1. P. シ ー ラ ー 1:00.4
 2. K. マ ー テ ン 1:00.9
 3. A. リチャードスン 1:00.8 1:01.0

	4.	W. クレイグ	1:00.9	1:01.0
200y 平	1.	K. マーテン		2:11.8
	2.	W. アンダースン		2:12.8
	3.	K. ドースバーグ	2:14.3	2:14.7
100y バ	1.	L.A. ニコラオ (亜)	50.6	50.9 (米新)
	2.	W. リチャードスン		51.1
	3.	P. ライカー	51.0	51.2
200y バ	1.	C. ロビー	1:52.7(米新)	
	2.	L.A. ニコラオ (亜)	1:53.1	
	3.	P. ライカー	1:54.8	
100y 背	1.	T. マン	52.5(米新)	
	2.	R. ベネット	54.2	
	3.	E. パーチェ	54.7	
200y 背	1.	T. マン	1:56.8	
	2.	E. パーチェ	1:57.7	
	3.	W. アトレー	1:59.6	1:59.6
200y 混	1.	R. サアリ	1:56.2(米新)	
	2.	W. アトレー	1:59.0	
	3.	T. ジョンソン	1:59.5	
400y 混	1.	G. バッキンガム	4:08.9(米新)	
	2.	R. サアリ	4:09.0	
	3.	K. ウエップ	4:15.0	
400y 継	1.	南加 A	3:07.4(米新)	
		(ベネット, マクグラス, マクゲイ, サアリ)		
	2.	エール大 新入生	3:11.6	
	3.	フットヒル大	3:12.8	
400y 混継	1.	南加 A	3:31.9(米新)	
		(ベネット, クレイグ, マクゲイ, サアリ)		
	2.	北カロライナ A	3:32.2	
	3.	エール大 新入生	3:36.9	
1m 飛板	1.	K. シッツバーガー	519.65	
	2.	R. ギルバート	519.50	
	3.	B. ライトスン	513.95	
3m 飛板	1.	R. ギルバート	562.55	
	2.	K. シッツバーガー	538.70	
	3.	C. ノール	517.85	
○全米女子室内選手権		シティ・オブ・コムマース		
		(カリフォルニア)	25y	
100y 自	1.	J. ハロック	54.5	
	2.	P. エステス	54.6	54.9
	2.	J. パークマン		54.9
	2.	P. ワトスン	54.5	54.9
200y 自	1.	P. エステス ㊤	1:58.2(米新)	
	2.	S. スタウダー	1:59.1	
	3.	P. カレト	2:00.0	

500y 自	1.	P. カレト	5:15.6(米新)
	2.	S. フィネラン	5:18.1
	3.	P. エステス	5:27.9
1650y 自	1.	P. カレト	18:03.6(米新)
	2.	S. フィネラン	18:20.2
	3.	M. キャムベル	18:51.1
100y 平	1.	C. ゴエット	1:09.0(米新)
	2.	C. コルブ	1:09.1
	3.	S. ニッタ	1:10.5
200y 平	1.	C. ゴエット	2:26.4(米新)
	2.	C. コルブ	2:29.5
	3.	S. ニッタ	2:30.8
200y バ	1.	S. スタウダー	58.0(米新)
	2.	S. ビッツ	59.2
	3.	L. デーヴィス	1:00.2
200y バ	1.	S. ビッツ	2:09.6(米新)
	2.	S. スタウダー	2:10.5
	3.	S. アース	2:14.9
100y 背	1.	C. ファーグスン	1:00.9(米新)
	2.	J. ハムバーガー	1:03.1
	3.	T. ギルモア	1:03.2
200y 背	1.	C. ファーグスン	2:13.2
	2.	C. ムーア	2:15.7
	3.	J. ハムバーガー	2:16.4
200y 混	1.	J. ハロック	2:14.2
	2.	C. コルブ	2:14.8
	3.	M. ランドール	2:15.8
400y 混	1.	S. フィネラン	4:47.4
	2.	C. コルブ	4:48.8
	3.	C. ファーグスン	4:50.6
400y 継	1.	シティ・オブ・コムマース	3:40.8(米新)
	2.	サンタ・クララ A	3:41.0
	3.	ヴェスパー BC	3:42.8
400y 混継	1.	シティ・オブ・コムマース	4:06.8 (米新)
	2.	サンタ・クララ A	4:10.1
	3.	ヴェスパー BC	4:11.8

男女とも気鋭の新人が多数輩出し、短水路ではあるが新記録も続出して、戸外シーズンの盛況が思いやられる。

欧 州

○モスコウ国際 5/6~7 50m

男子

100m 自	1.	V. シュワロフ	55.6
--------	----	----------	------

	2. F. ヴィーガント (東 独)	56.0
	3. L. イリシェフ ⑩	56.2
200m自	1. S. ベリッツ・ヘイマン	2:02.6
	2. L. エリクソン (スエーデン)	2:03.5
	3. A. パラモノフ	2:03.6
400m自	1. S. ベリッツ・ヘイマン	4:23.2
	2. E. ノーヴィコフ	4:25.4
	3. A. プレトネフ	4:27.2
100m平	1. G. プロコペンコ	1:08.0
	2. N. パンキン ⑪	1:09.8
	3. A. ツタカエフ	1:10.0
200m平	1. V. クラフチェンコ	2:33.4
	2. M. サフロノフ	2:34.8
	3. G. プロコペンコ	2:35.2
100mバ	1. V. クジミン 1:00.2(ソ新)	
	2. A. デポラ (ユーゴ) ⑫ 1:00.3	
	3. U. デルマスティヤ (") 1:00.3	
200mバ	1. V. クジミン 2:12.6	
	2. A. スカフロンスキー 2:13.4	
	3. A. プーレ 2:16.3	
100m背	1. V. マザノフ 1:01.0(ソ新)	
	2. G. クレイス 1:02.8	
	3. D. フルホフセク (ユーゴ) ⑬ 1:03.0	
200m背	1. V. マザノフ 2:13.2(ソ新)	
	2. G. クレイス 2:17.5	
	3. V. ドフロキン ⑭ 2:19.6	
400m混	1. O. フォティン 5:02.7	
	2. F. ヴィーガント (東 独) 5:02.8	

女 子

100m自	1. A.-C. ハグベリ (スエーデン) 1:02.7
	2. N. シプチェンコ 1:05.0
400m自	1. T. ソスノワ 4:58.3(ソ新)
	2. H. ペヒスタイン (東 独) 5:03.0
100m平	1. G. プロズメンスコワ 1:18.8
	2. B. グリムマー (東 独) 1:21.0
200m平	1. G. プロズメンスコワ 2:49.2
	2. B. グリムマー (東 独) 2:52.3
100m	1. L. アンデルソン (スエーデン) 1:11.5
	2. L. エゴロワ 1:11.9
100m背	1. C. キャロン (フランス) 1:09.5
	2. N. ミハイロワ 1:12.0
400m混	1. V. ホレッツ (東独) 5:39.1

○タシケント (ソ連) 国際 5/10-11 50m

東独, 西独, スエーデン, フランス, ユーゴ, ポーランド, フィンランドおよびソ連の8カ国の選手が参加し世界新記録, 欧州新記録も生れた。

男 子

100m自	1. V. マザノフ 54.8(ソ連新)
	2. F. ヴィーガント (東独) 55.2
	3. V. シュワロフ 55.7
	4. L. イリシェフ 55.9
	5. L. エリクソン (スエーデン) 56.2
200m自	1. F. ヴィーガント (東独) 2:00.8
	2. S. ベリッツ・ヘイマン 2:02.3
	3. L. イリーチェフ 2:03.0
400m自	1. S. ベリッツ・ヘイマン 4:21.3
	2. E. ノーヴィコフ 4:25.9
	3. A. プレトネフ 4:26.8
100m平	1. G. プロコペンコ 1:08.2
	2. E. ヘンニンガー (東独) 1:09.2
200m平	1. G. プロコペンコ 2:32.5
	2. M. サフロノフ 2:33.4
	3. V. クラフチェンコ 2:34.4
	4. E. ヘンニンガー (東独) 2:34.9
200mバ	1. V. クジミン 2:12.3
	2. A. スカフロンスキー 2:14.5
100m背	1. G. クレイス 1:03.1
	2. D. フルホフセク (ユーゴ) 1:03.3
200m背	1. V. マザノフ 2:12.4 (欧新)
	2. G. クレイス 2:18.2
400m混	1. O. フォティン 5:04.5

女 子

100m自	1. A.-C. ハグベリ (スエーデン) 1:02.4
	2. T. ソスノワ 1:02.5 (ソ連新)
	3. S. パパニナ 1:02.9 (ソ連新)
400m自	1. T. ソスノワ 4:59.2 (ソ連新)
100m平	1. S. パパニナ 1:16.5 (世新)
	2. G. プロズメンスコワ 1:19.5
200m平	1. G. プロズメンスコワ 2:48.4
	2. B. グリムマー (東独) 2:51.2
100m背	1. C. キャロン (フランス) 1:09.2
400m混	1. V. ホレッツ (東独) 5:38.8
	2. L. ハゼエワ 5:39.8

水泳プール公認のあらまし

日本水泳連盟事務局

近時水泳プールが全国津々浦々に多数建設されていることは御承知の通りである。

日本水泳連盟の公認プールは5月現在で50mプール239, 25mプール178, 小中学校標準プール66を数えている。

現在も建設計画中のもの、建設中のものも数多くあるもようであり、日本水泳連盟にもプール建設に関すること、公認の申請手続きの方法、必要経費額等、沢山の問合せがあり、時々遠い府県の方々の来訪も受けている。

勿論建設に関する技術的なことは専門家の先生方に伺わなければ判らないので深谷委員長の御多忙さは筆舌に尽し難いものがある。

そこで私はプール公認のあらまし、公認申請の手続きの方法等を述べて大方の便宜に供したいと思う。

① プール公認の種類

水泳プールの公認距離は25mと50mの2種があり、そのうち50mプールに於ける成績だけが世界記録、日本記録公認の対象となる。

② 公認の条件

水路の長さは摂氏25度における換算値で25mと50m丁度でなければならないが25mプールにおいては10mm, 50mプールにおいては20mmの過長は認められる。

深さは最浅1m以上、1コースの幅は2m以上なければならないし、スタート台から水面までの距離は30cm乃至75cmである。

測量は日本水泳連盟公認測量者により、日本水泳連盟検定鋼巻尺によって測量されなければならないことになっている。

③ 公認の期間

公認された日より満5年である。

④ 公認測量者

昭和40年5月現在で下記の方々が公認測量者に委嘱されている。(敬称略)

深谷俊明	日本水泳連盟
西尾章	北海道水泳連盟
菊田義孝	宮城県水泳連盟
金箱要	野尻湖游泳協会
国富忠寛	神奈川県水泳連盟
池谷茂	浜名湾游泳協会

江本一夫	愛知水泳連盟
喜内敏	石川県水泳協会
巽健治	関西支部
望月明	広島県水泳連盟
森吉満助	徳島県水泳連盟
浅川亮吉	福岡県水泳連盟
三輪好年	熊本県水泳協会

⑤ 公認申請の手続きと方法

まずプールの工事が終了したならば前記の公認測量者のうち最寄りの方に日本水泳連盟加盟団体(以下加盟団体と称す)を通じて測量を依頼し、規定に従って測量を受け、測量結果が公認条件に合致した場合は日本水泳連盟会長宛、必要書類を添え、下記様式の公認申請書を加盟団体を通じて提出する。(申請用紙は日本水泳連盟にある)

競泳池公認申請書

- 1 競泳池の名称
- 2 所在地
- 3 所有者
- 4 競泳池の公称距離
- 5 " 公称幅
- 6 水深
- 7 水質
- 8 水路の数
- 9 各水路の幅
- 10 竣工年月日

右公認されたく左記の図表等相添え
この段申請いたします

昭和 年 月 日

申請者 住所
氏名

日本水泳連盟
会長 奥野良殿
記

競泳池平面図

" 縦断面

" 出発台および折返台詳細図

飛込設備図(ある場合)

附近関係図

写真

測量結果一覧表(公認測量者捺印のもの)

公認申請を受けた日本水泳連盟は施設委員会を開き検討し、適格と認めれば理事会に提出し、その決定を得て、公認プールとして登録される。

公認決定の報知を受けた申請者は規定の公認登録料を日本水泳連盟に納金し、加盟団体より公認証を受ける。

⑥ 公認に要する経費

A 測量

公認測量に要する費用は実費支給となっているが最低下記の経費を必要とする

○ 公認測量者

イ、乗車、船料金 1等 特急、急行、寝台ある場合はこれを肴する

(助手を同伴する場合は助手は2等)

ロ、日当 1,000円(助手500円)

ハ、宿泊費 必要な場合は申請者負担

○ 測量器具

測量用巻尺以外は申請者が用意する

(必要な器具は予め測量者と打合せ用意する)

B 測量成果物製作費

測量者に3,000円を支払わなければならない

C 公認登録料

公認決定の場合、日本水泳連盟に公認登録料として下記の金額を納入する。

(イ) 学校用プール 5,000円

(ロ) 一般用プール 20,000円

ただし一般用プールの場合、加盟団体主催の競技会に申請者が協力することを加盟団体より副申ある場合は公認登録料を半額とする。

⑦ 再公認申請

公認期間は5ヵ年であるので継続公認を希望する場合は最初測量の際と全然プールに異状がない場合に限り、最初公認の際、測量した公認測量者によるその旨の証明書を添えて、公認申請を行ってもよい。

同プールに異状が認められる場合は修理した後、公認申請に準じた方法で再公認申請を行う。

再公認登録料は学校プール5,000円、一般プールは最初の公認料の半額でよい。

- #### ⑧ 小中学校 標準プールの公認(雑誌“水泳”121号、小学校プールの普及建設について(深谷俊明)参照)
- 公認プールは国際記録公認その他の関係もあって、深さ・スタート台の高さや精度の点で小、中学生に難があるので、昭和34年より小、中学校プールに限り小中学校標準プールとして公認している。公認手続きは一般の公認プールと大差はないが、公認条件

は次の通りである。

- A 25プール～過長25mm 過少10mmまで認められるコース巾150cm以上、深さ80cm以上、スタート台より水面までの距離20cm位となっている。
- B 測量は測量士の資格ある者に依頼し、加盟団体役員立会の上、プール四辺の距離を測量する。
- C 測量の結果を簡単に図面化して提出する。
- D 公認登録料は3,000円で加盟団体に納入する。
- E 再公認申請は加盟団体において異状がないと認められた場合に限り再公認をすることができる再公認登録料3,000円は加盟団体に納入する。

その他公認申請、公認期間、公認証交附等、公認プールと同じである(申請用紙は日本水泳連盟にある)

⑨ その他

- 1. 学校プールの建設に当っては、文部省より補助金が交付される。府県の教育委員会を通じて文部省に補助金申請書を提出することになっている由である。
- 2. プール建設費はどの位要するかとよく聞かれるが専門家に聞いて見ても、近時物価の変動もはげしいし、建設地の状況、地質、水利の関係等があり、一概に云えないとのことであるが、大体附属施設を含まないで、
50mプール 2,000万円～7,000万円
25mプール 300万円～1,000万円
ぐらいかかると云われている。
- 3. プール建設に当って、公認を希望する場合は工事の最初から公認測量者に相談して指導を受けた方が結果がよいようで、特にそのプールが国体その他の大競技会の開催希望ある場合は絶対に必要である。なお公認プールを条件で工事を依頼し、その上公認測量者(専門技術者)の指導を受ければ工事内容もよいものができ一挙両得との声も聞いている。
- 4. プール工事は何処へ頼んだら確実か、附属設備……はと聞かれることがあるが、これは当方にはよくわからないし、又、答えることはできない。ただ器具については日本水泳連盟は飛板は(株)阿部清商店、水球ゴールは勝村木工(株)、コースロープは東京産商(株)に製作を依頼しているので御参考までに申添えておく、
- 5. 濾過装置については、専門的になるので深谷委員長宛に手紙にて照会されたい。(島田桃一郎)

第7回日本室内選手権水泳競技大会

昭和40年4月24日・25日

東京都体育館屋内プール

男子の部

100m 自由形

予選 A

1	田代 信一	(早大)	57.4
2	木谷 晃彦	(法大)	57.7
3	岡本 颯	(立大)	1:00.5
4	堀川 俊一	(中大)	1:00.5
5	上野 幸一	(諫早商)	1:01.0
6	中村 昌敬	(明大)	1:01.3
7	松崎 修明	(日体大)	1:01.7
8	岡本 明	(国土館大)	1:01.8
9	原科 義則	(攻玉社高)	1:01.9

B

1	岩崎 邦宏	(早大)	56.9
2	吉村 豊	(中大)	1:00.1
3	末永 栄	(法大)	1:00.5
4	岡村 健祐	(立大)	1:00.8
5	松尾 清彦	(三水会)	1:01.6
7	長井 真治	(東田中)	1:02.2

C

1	福井 誠	(八幡製鉄)	56.9
2	笈田 光治	(日本鋼管)	57.8
3	三杉 庄治	(早大)	58.5
4	角田 哲朗	(法大)	1:00.6
5	桑原 勝輝	(日体大)	1:00.8
6	高橋 宏一	(中大)	1:01.1

D

1	大沢 正行	(Bタイヤ)	57.5
2	原 万次郎	(八幡製鉄)	58.9
3	藤本 功光	(中大)	1:00.8
4	植田 耕一郎	(国土館大)	1:01.1
5	平井 春光	(法大)	1:01.8
6	中根 正雄	(川口市役所)	1:02.0

E

1	金本 博幸	(明大)	1:00.8
2	前田 正明	(早大)	1:01.2
3	福重 澄雄	(国土館大)	1:01.9
4	菊地 利定	(吉原市商)	1:02.0

決勝

1	福井 誠	(八幡製鉄)	56.4
2	田代 信一	(早大)	57.1
3	岩崎 邦宏	(")	57.2
4	木谷 晃彦	(法大)	57.4
5	大沢 正行	(Bタイヤ)	57.7
6	笈田 光治	(日本鋼管)	57.9
7	原 万次郎	(八幡製鉄)	58.5
8	三杉 庄治	(早大)	58.5
9	吉村 豊	(中大)	1:00.5

200m 自由形

予選 A

1	福井 誠	(八幡製鉄)	2:05.0
2	山影 武士	(明大)	2:06.0

1:00.0

3	田代 信一	(早大)	2:14.2
4	沢田 末隆	(国土館大)	2:15.7
5	植田 貞雄	(諫早商)	2:16.1
6	藤本 功光	(中大)	2:16.8
7	末永 栄	(法大)	2:16.9

B

1	原 万次郎	(八幡製鉄)	2:11.6
			1:01.4

2	岩村 尚男	(中大)	2:15.8
3	前田 正明	(早大)	2:17.9
4	長井 真治	(東田中)	2:18.4
5	市原 韶司	(桜宮高)	2:18.7

C

1	岩崎 邦宏	(早大)	2:08.4
2	吉無田 春男	(八幡製鉄)	2:09.4
3	荒木 憲一	(中大)	2:12.6
4	井上 佳典	(桜宮高)	2:12.9
5	桑原 勝輝	(日体大)	2:15.1
6	岡本 颯	(立大)	2:17.6
7	原科 義則	(攻玉社高)	2:18.4

D

1	笈田 光治	(日本鋼管)	2:08.4
			1:00.6

2	上野 幸一	(諫早商高)	2:16.5
3	高橋 宏一	(中大)	2:18.1
4	中村 昌敬	(明大)	2:18.9

E

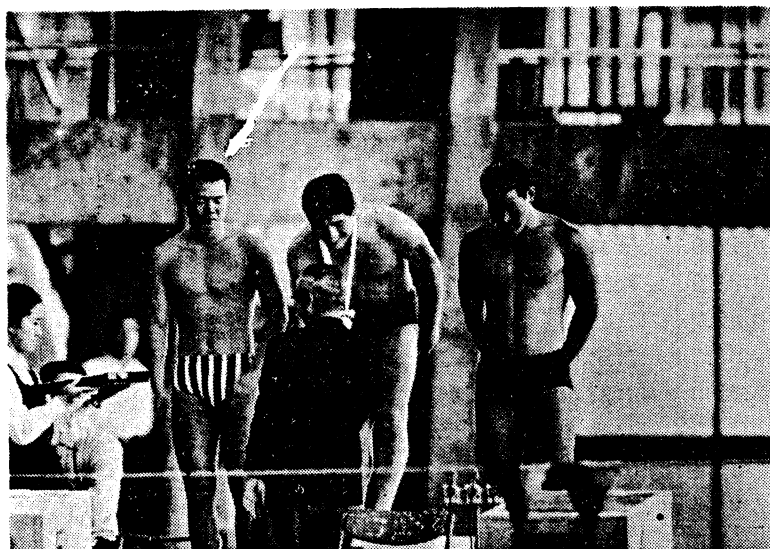
1	中野 悟	(早大)	2:03.4
2	大沢 正行	(Bタイヤ)	2:03.4
3	角田 哲朗	(法大)	2:13.1
4	高橋 豊	(日本鋼管)	2:13.8
5	堀川 俊一	(中大)	2:15.9

F

1	大池 巖	(早大)	2:10.1
2	木谷 晃彦	(法大)	2:11.5
3	菊地 利定	(吉原市商)	2:14.7
4	吉村 豊	(中大)	2:17.7
5	金本 博幸	(明大)	2:18.1
6	林 罔仁	(国土館大)	2:18.5

決勝

1	福井 誠	(八幡製鉄)	2:03.4
---	------	--------	--------





- 59.7
 2 山影 武士 (明 大) 2:04.3
 59.7
 3 大池 巖 (早 大) 2:07.4
 1:00.7
 4 大沢 正行 (Bタイヤ) 2:07.6
 1:01.3
 5 吉無田春男 (八幡製鉄) 2:08.1
 1:01.7
 6 中野 悟 (早 大) 2:09.2
 7 笈田 光治 (日本鋼管) 2:11.1
 8 木谷 晃彦 (法 大) 2:11.5
 9 岩崎 邦宏 (早 大) 2:17.7

400m 自由形

予選 A

- 1 山影 武士 (明 大) 4:37.0
 1:02.5 2:12.7 3:24.6
 2 大池 巖 (早 大) 4:37.4
 1:04.9 2:15.7 3:27.7
 3 山田 忠信 (早 大) 4:41.8
 1:04.5 2:16.5 3:29.6
 4 荒木 憲一 (中 大) 4:47.4
 5 岩村 尚男 (") 4:51.3
 6 井上憲次郎 (鎮西高) 4:52.3
 7 沢田 末隆 (国士館大) 4:52.9

B

- 1 中野 悟 (早 大) 4:38.0
 1:06.3 2:16.8 3:29.3
 2 藤島 祥三 (早 大) 4:43.2
 1:05.7 2:16.5 3:29.4

1500m 自由形 決勝途中時間表

(800mは正式計時)

- 3 高橋 豊 (日本鋼管) 4:46.2
 1:06.3 2:18.3 3:32.6
 4 藤丸 靖久 (中 大) 4:47.0
 5 田原 雅尚 (明 大) 4:49.8
 6 仲矢 昌夫 (中 大) 4:52.9

C

- 1 岩本 和行 (早 大) 4:41.8
 1:06.4 2:18.2 3:29.4
 2 井上 佳典 (桜宮高) 4:49.5
 3 渡辺 恒夫 (明 大) 4:52.2

決勝

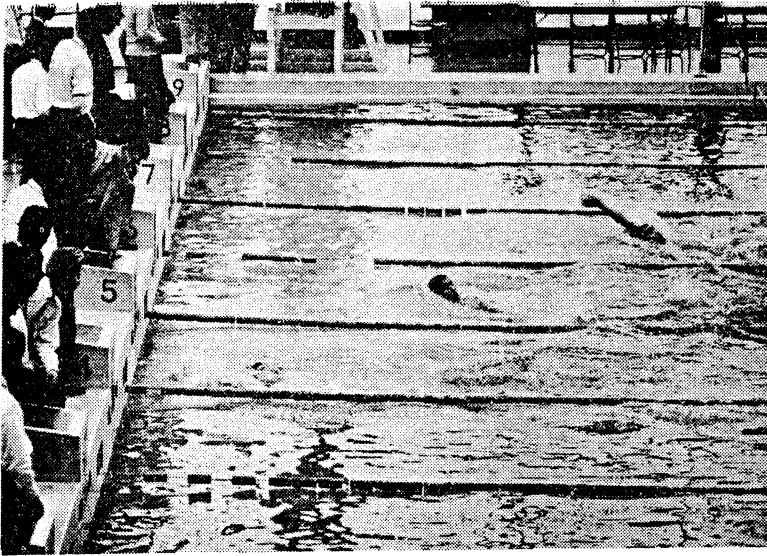
- 1 藤島 祥三 (早 大) 4:28.4
 1:03.8 2:11.6 3:20.9
 2 山影 武士 (明 大) 4:28.6
 1:03.8 2:12.3 3:21.4
 3 中野 悟 (早 大) 4:29.8
 1:05.1 2:14.0 3:22.5
 4 岩本 和行 (早 大) 4:30.4
 1:05.3 2:14.4 3:23.4
 5 山田 忠信 (早 大) 4:34.1
 1:05.6 2:15.5 3:26.2
 6 大池 巖 (早 大) 4:35.0
 1:06.3 2:15.9 3:27.1
 7 藤丸 靖久 (中 大) 4:46.4
 8 荒木 憲一 (中 大) 4:46.5

1500m 自由形

決勝

- 1 山田 忠信 (早 大) 18:04.9
 2 藤島 祥三 (") 18:06.5

選手名	1	2	3	4	5	6	7	8
距離	山田忠信	藤島祥三	岩本和行	榎山 稔	藤丸靖久	渡辺恒夫	田原雅尚	井上憲二郎
100m	1:07.1		1:07.7	1:06.6	1:07.9	1:08.3	1:08.3	1:09.9
200	2:17.9	2:17.0	2:19.1	2:18.2	2:21.5	2:22.7	2:23.9	2:24.8
300	3:29.5	3:29.3	3:31.2	3:31.8	3:36.7	3:38.6	3:41.4	3:41.8
400	4:42.1	4:41.6	4:43.8	4:46.7	4:53.5	4:55.5	4:57.8	4:59.0
500	5:53.8	5:55.8	5:56.8	6:02.6	6:11.3	6:13.2	6:15.8	6:16.8
600	7:06.1	7:09.0	7:10.6	7:18.4	7:29.0	7:30.9	7:34.6	7:35.1
700	8:19.4	8:22.7	8:24.0	8:34.3	8:46.8	8:49.1	8:53.4	8:53.8
800	9:32.5	9:36.0	9:38.0	9:50.2	10:04.8	10:07.6	10:12.2	10:13.1
900	10:45.8	10:49.1	10:52.7	11:05.2	11:23.1	11:26.9	11:32.0	11:32.9
1,000	11:59.7	12:02.0	12:07.8	12:20.0	12:42.2	12:46.1	12:52.2	12:53.1
1,100	13:13.6	13:14.2	13:23.0	13:33.5	14:01.5	14:06.2	14:13.0	14:13.9
1,200	14:26.9	14:26.7	14:38.3	14:47.4	15:20.5	15:26.5	15:31.0	15:34.3
1,300	15:40.0	15:40.0	15:53.6	16:02.3	16:32.3	16:41.1	16:47.6	16:50.9
1,400	16:55.7	16:54.7	17:08.8	17:16.5				
1,500	18:04.9	18:06.5	18:23.3	18:31.0	19:19.2	19:24.5	19:28.6	19:38.8



- 6 安田 遙 (桜宮高) 1:17.6
- 7 横瀬 博範 (三菱銀行) 1:18.1

決勝

- 1 松本健次郎 (早大) 1:10.7
- 2 大渡 幹士 (中大) 1:12.1
- 3 山南 宏一 (早大) 1:12.5
- 4 加根魯純二 (国士館大) 1:14.0
- 5 折戸 博 (法大) 1:14.0
- 6 古川 剛 (中大) 1:14.2
- 7 兵藤 正時 (") 1:14.2
- 8 小寺 隆昭 (明大) 1:14.6
- 9 吉田 正明 (中大) 1:14.9

200m 平 泳

予選 A

- 1 古川 剛 (中大) 2:43.5
1:17.5
- 2 青木 剛 (早大) 2:43.7
- 3 重松 盛人 (八幡製鉄) 2:44.4
- 4 窪田 雅一 (桜宮高) 2:47.5
- 5 藤原 弘三 (明大) 2:50.0
- 6 坂元 英樹 (国士館大) 2:53.2

B

- 1 吉田 正明 (中大) 2:39.5
1:15.8
- 2 加根魯純二 (国士館大) 2:43.8
1:17.6

- 3 前田 鎮禰 (早大) 2:46.8
- 4 天野 政司 (吉原市商) 2:49.2
- 5 横瀬 博範 (三菱銀行) 2:50.1
- 6 久保田多喜男 (中大) 2:52.8

C

- 3 岩本 和行 (早大) 18:23.3
- 4 榎山 稔 (日本鋼管) 18:31.0
- 5 藤丸 靖久 (中大) 19:19.2
- 6 渡辺 恒夫 (明大) 19:24.5
- 7 田原 雅尚 (") 19:28.6
- 8 井上憲次郎 (鎮西高) 10:38.8

(800m 正 式)

- 1 山田 忠信 (早大) 9:32.5
- 2 藤島 祥三 (") 9:36.0
- 3 岩本 和行 (") 9:38.0
- 4 榎山 稔 (日本鋼管) 9:50.2
- 6 藤丸 靖久 (中大) 10:04.8
- 7 渡辺 恒夫 (明大) 10:07.6
- 8 田原 雅尚 (") 10:12.2
- 9 井上憲次郎 (鎮西高) 10:13.1

100m 平 泳

予選 A

- 1 山南 宏一 (早大) 1:12.0
- 2 古川 剛 (中大) 1:13.9
- 3 長藤 正時 (") 1:14.3
- 4 藤原 弘三 (明大) 1:15.8
- 5 坂元 英樹 (国士館大) 1:17.0
- 6 久光 孝一 (名古屋高) 1:17.6

B

- 1 吉田 正明 (中大) 1:14.3
- 2 柳戸 博 (法大) 1:14.3
- 3 鈴木 欽次 (明大) 1:14.7
- 4 青木 剛 (早大) 1:16.0
- 5 金海 繁 (横学) 1:16.7
- 6 高橋 敏之 (岐商高) 1:17.0
- 7 窪田 雅一 (桜宮高) 1:17.7

C

- 1 大渡 幹士 (中大) 1:11.5
- 2 加根魯純二 (国士館大) 1:14.5
- 3 天野 政司 (吉原市商) 1:14.5
- 4 保見 吉裕 (早学) 1:18.6
- 5 広瀬 明 (三水会) 1:19.4

D

- 1 松本健次郎 (早大) 1:11.8
- 2 袴田 敢 (安部川中) 1:16.0
- 3 久保田多喜男 (中大) 1:17.4
- 4 米田 清久 (国士館大) 1:18.1
- 5 本間 勝彦 (中大) 1:18.3

E

- 1 小寺 隆昭 (明大) 1:14.1
- 2 重松 盛人 (八幡製鉄) 1:14.6
- 3 合田 伸嘉 (法大) 1:15.8
- 4 黒木 正人 (日本鋼管) 1:15.9
- 5 前田 鎮禰 (早大) 1:16.4



1 大渡 幹士 (中 大) 2:37.6
1:14.4

2 山南 宏一 (早 大) 2:42.8

3 高橋 敏之 (岐 商 高) 2:43.1

4 鈴木 欽次 (明 大) 2:45.5

5 那知 岩成 (立 大) 2:50.3

6 山本 和男 (国土館大) 2:51.6

7 播野 達夫 (国土館高) 2:51.8

8 福井 雅美 (日本鋼管) 2:52.0

D

1 松本健次郎 (早 大) 2:41.2
1:15.1

2 兵藤 正時 (中 大) 2:43.0

3 合田 伸嘉 (法 大) 2:47.1

4 黒木 正人 (日本鋼管) 2:49.7

5 米田 清久 (国土館大) 2:50.3

6 袴田 致 (安倍川中) 2:50.8

決勝

1 松本健次郎 (早 大) 2:37.0
1:15.0

2 山南 宏一 (") 2:37.8
1:15.5

3 大渡 幹士 (中 大) 2:38.3
1:15.8

4 吉田 正明 (") 2:39.4

5 兵藤 正時 (中 大) 2:42.8

6 青木 剛 (早 大) 2:43.6

7 高橋 敏之 (岐 商 高) 2:43.8

8 古川 剛 (中 大) 2:44.1

9 加根魯純二 (国土館大) 2:45.6

100m バタフライ

予選 A

1 佐藤 好助 (八幡製鉄) 1:00.6

2 大賀 睦明 (明 大) 1:02.0

3 甲斐田幾男 (Bタイヤ) 1:02.2

4 桑原 譲 (海上自) 1:02.6

5 向井 岩喜 (法 大) 1:04.5

6 斎藤 哲 (立 正 高) 1:06.3

7 岡本 勇 (国土館大) 1:06.5

B

1 松田 正彦 (法 大) 1:02.7

2 芦刈 巧 (国土館大) 1:03.1

3 江本 正 (明 大) 1:03.7

4 門永 吉典 (早 大) 1:04.0

5 新田 康雄 (吉原市商) 1:04.2

6 安藤 裕道 (名古屋大) 1:06.6

7 脇坂 徳雄 (桜 宮 高) 1:06.5
C

1 刑部 祐一 (日本鋼管) 1:02.2

2 木村 充宏 (法 大) 1:06.1

3 篠田 淳一 (国土館大) 1:06.6

D

1 中島 功 (Bタイヤ) 1:01.0

2 山野内伸二 (佐伯鶴城) 1:03.2

3 中村 康博 (立 大) 1:04.2

4 堤 信典 (日本鋼管) 1:04.7

5 杉本 紘一 (早 大) 1:04.8

6 皆三 嘉男 (明 大) 1:06.2

決勝

1 佐藤 好助 (八幡製鉄) 1:00.2

2 中島 功 (Bタイヤ) 1:00.4

3 大賀 睦明 (明 大) 1:01.3

4 刑部 祐一 (日本鋼管) 1:01.6

5 甲斐田幾男 (Bタイヤ) 1:02.5

6 桑原 譲 (海上自) 1:02.6

7 山野内伸二 (佐伯鶴城) 1:02.9

8 芦刈 巧 (国土館大) 1:03.5

9 松田 正彦 (法 大) 1:04.1

200m バタフライ

予選 A

1 山野内伸二 (佐伯鶴城) 2:21.5
1:08.1

2 刑部 祐一 (日本鋼管) 2:21.8
1:07.5

3 杉本 紘一 (早 大) 2:26.0

4 大賀 睦明 (明 大) 2:27.2

5 芦刈 巧 (国土館大) 2:28.3

6 安藤 裕道 (名古屋高) 2:30.2

7 斎藤 哲 (立 正 高) 2:33.1

8 脇坂 徳雄 (桜 宮 高) 2:33.8

B

1 佐藤 好助 (八幡製鉄) 2:18.1
1:05.2

2 中島 功 (Bタイヤ) 2:19.6
1:04.9

3 中村 康博 (立 大) 2:24.8

4 弘瀬 高尚 (中 大) 2:32.6

5 松田 正彦 (法 大) 2:33.0

6 篠田 淳一 (国土館大) 2:33.1

C

1 門永 吉典 (早 大) 2:21.6
1:06.7

2 新田 康雄 (吉原市高) 2:22.4
1:06.1

3 甲斐田幾男 (Bタイヤ) 2:28.5

4 木村 充宏 (法 大) 2:31.1

5 金沢 宏久 (中 大) 2:33.6

決勝

1 佐藤 好助 (八幡製鉄) 2:13.6
1:04.2

2 中島 功 (Bタイヤ) 2:17.9
1:04.4

3 山野内伸二 (佐伯鶴城) 2:18.9
1:06.3

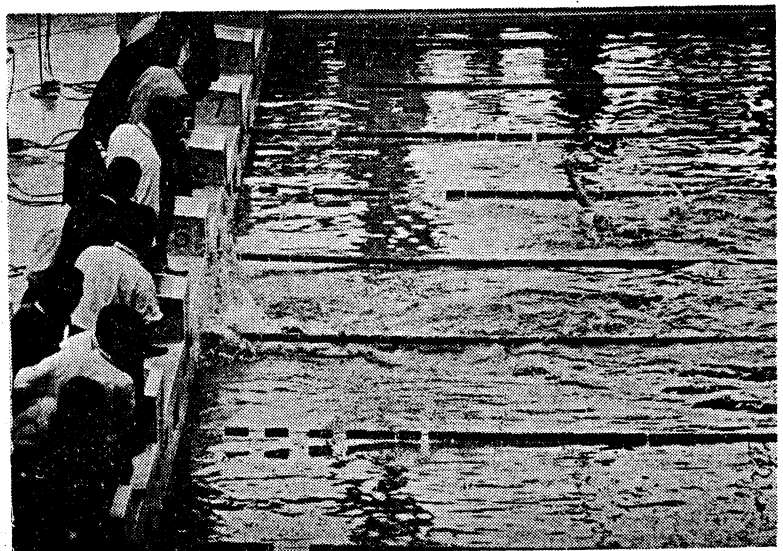
4 刑部 祐一 (日本鋼管) 2:19.1
1:06.3

5 門永 吉典 (早 大) 2:21.0

6 杉本 紘一 (") 2:22.1

7 中村 康博 (立 大) 2:22.7

8 新田 康雄 (吉原府商) 2:22.8



9 大賀 睦朗 (明 大) 2:23.9

100m 背 泳

予選 A

- 1 田中 広征 (早 大) 1:05.1
- 2 中原 紀 (八幡製鉄) 1:06.2
- 3 林 祐士郎 (中 大) 1:06.4
- 4 杉山 悟 (明 大) 1:08.4
- 5 渡辺 徹夫 (諫 早 商) 1:08.7
- 6 細川 俊二 (国士館大) 1:12.6

B

- 1 田中毅司雄 (早 大) 1:07.0
- 2 沢田 義勝 (中 大) 1:07.8
- 3 艶島 康 (国士館大) 1:10.2
- 4 高久順二郎 (攻玉社高) 1:10.6

C

- 1 福島 滋雄 (日本鋼管) 1:05.6
- 2 田中 晴夫 (法 大) 1:08.2
- 3 岡田 和男 (中 大) 1:08.8
- 4 末次 学 (") 1:03.9
- 5 山田 富蔵 (国士館大) 1:09.3
- 6 松田 史剛 (立 大) 1:10.9
- 7 相沢 秀一 (東 田 中) 1:11.9
- 8 金山 隆 (名古屋高) 1:12.6

決勝

- 1 福島 滋雄 (日本鋼管) 1:03.2
- 2 林 祐士郎 (中 大) 1:03.8
- 3 田中 広征 (早 大) 1:04.8
- 4 中原 紀 (八幡製鉄) 1:06.3
- 5 田中毅司雄 (早 大) 1:06.4
- 6 田中 晴夫 (法 大) 1:07.5
- 7 渡辺 徹夫 (諫早商高) 1:07.9
- 8 沢田 義勝 (中 大) 1:07.9
- 9 杉山 悟 (明 大) 1:09.2

200m 背 泳

予選 A

- 1 田中 広征 (早 大) 2:25.2
- 2 末次 学 (中 大) 2:30.8
- 3 杉山 悟 (明 大) 2:31.8
- 4 岡田 和夫 (中 大) 2:32.9
- 5 艶島 康 (国士館大) 2:34.2
- 6 金山 隆 (名古屋高) 2:36.3

B

- 1 林 祐士郎 (中 大) 2:23.9
- 2 田中毅司雄 (早 大) 2:24.4
- 3 渡辺 徹夫 (諫早商高) 2:30.0
- 4 山田 富蔵 (国士館大) 2:33.7

C

- 1 福島 滋雄 (日本鋼管) 2:18.7
1:06.1
- 2 中原 紀 (八幡製鉄) 2:25.9
- 3 沢田 義勝 (中 大) 2:23.1
- 4 田中 晴夫 (法 大) 2:31.1
- 5 高久順二郎 (攻玉社高) 2:36.6
- 6 松田 史剛 (立 大) 2:37.0

決勝

- 1 福島 滋雄 (日本鋼管) 2:15.6
1:05.4
- 2 林 士祐郎 (中 大) 2:21.2
1:06.4
- 3 田中 広征 (早 大) 2:24.1
1:08.1
- 4 田中毅司雄 (早 大) 2:24.2

- 5 中原 紀 (八幡製鉄) 2:25.4
- 6 沢田 義勝 (中 大) 2:27.4
- 7 渡辺 徹夫 (諫 早 商) 2:29.3
- 8 田中 晴夫 (法 大) 2:30.5
- 9 末次 学 (中 大) 2:31.5

400m 個人メドレー

予選 A

- 1 靱山 稔 (日本鋼管) 5:25.6

1:11.0 2:40.0 4:13.3

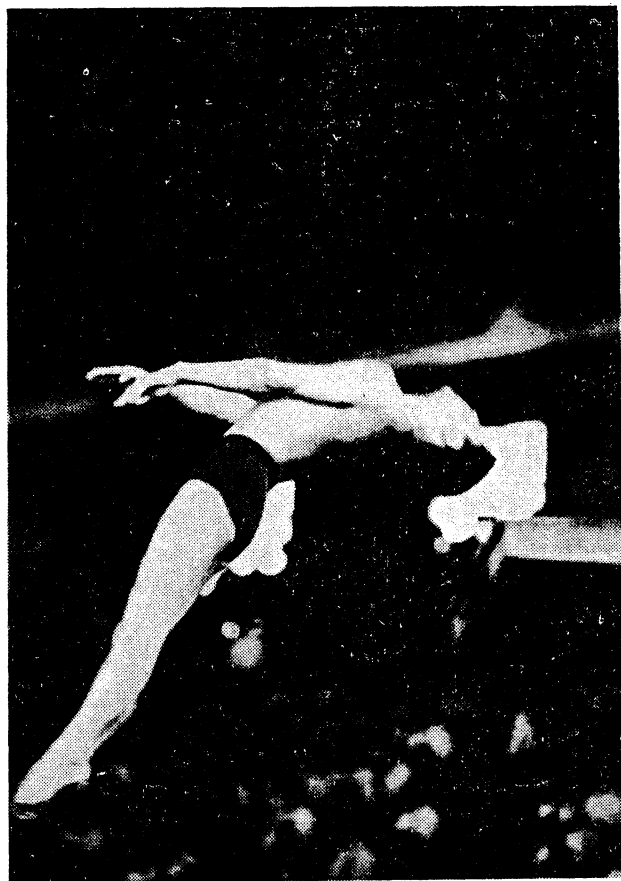
- 2 藤丸 靖久 (中 大) 5:36.2
1:11.4 2:38.7 4:19.6
- 3 小川 弘行 (国士館高) 5:41.9
- 4 林 罔仁 (国士館大) 5:42.8
- 5 加藤 仁彦 (中 大) 5:43.3
- 6 和泉 一男 (川口市高) 5:50.8

B

- 1 福島 滋雄 (日本鋼管) 5:18.2
1:07.4
- 2 丸山 関男 (Bタイヤ) 5:23.7
1:07.7
- 3 高橋 豊 (日本鋼管) 5:27.4
- 4 岩本 和行 (早 大) 5:27.8
- 5 仲矢 昌夫 (中 大) 5:39.3
- 6 中根 正雄 (川口市役) 5:41.6

決勝

- 1 福島 滋雄 (日本鋼管) 5:06.0
1:04.7 2:21.3 3:55.5
- 2 靱山 稔 (日本鋼管) 5:17.8
1:12.5 2:40.0 4:07.5
- 3 岩本 和行 (早 大) 5:19.9
1:12.5 2:36.9 4:12.5
- 4 丸山 関男 (Bタイヤ) 5:21.8



女子の部

100m 自由形

予選 A

- 1 東 美代子 (日本レ) 1:06.2
- 2 木村トヨ子 (八幡製鉄) 1:06.5
- 3 越前 芳子 (山田SC) 1:11.0
- 4 森山 孝子 (二階堂高) 1:11.4
- 5 木村 遊子 (東京立正高) 1:12.5

B

- 1 小緑 好子 (別府大) 1:07.1
- 2 二階堂寿美子 (二階堂高) 1:10.8
- 3 野崎 啓子 (椛山中) 1:11.0
- 4 常田 潮子 (三菱銀行) 1:12.4
- 5 土屋 文子 (東京立正高) 1:14.2

C

- 1 田中 聡子 (八幡製鉄) 1:08.4
- 2 増山 恵子 (二階堂高) 1:11.8
- 3 花島美代子 (成女高) 1:12.3
- 4 上村 悦子 (山田SC) 1:16.2

決勝

- 1 木村トヨ子 (八幡製鉄) 1:05.6
- 2 東 美代子 (日本レ) 1:06.1
- 3 小緑 好子 (別府大) 1:06.3
- 4 田中 聡子 (八幡製鉄) 1:07.1
- 5 二階堂寿美子 (二階堂高) 1:10.6
- 6 森山 孝子 (") 1:10.6
- 7 越前 芳子 (山田SC) 1:11.0
- 8 野崎 啓子 (椛山中) 1:11.2
- 9 増山 恵子 (二階堂高) 1:13.3

200m 自由形

予選 A



- 5 高橋 豊 (日本鋼管) 5:25.1
- 6 藤丸 靖久 (中大) 5:33.9
- 7 仲矢 昌夫 (") 5:35.5
- 8 中根 正雄 (川口市役) 5:37.0
- 9 小川 弘行 (国士館高) 5:44.0

1 m 飛板飛込

- 1 前川 剛三 (早大) 95.68
規53.32 選42.36
- 2 谷口 博 (西濃運輸) 90.35
47.45 42.70
- 3 坂手 昭治 (早大) 90.07
49.15 40.92
- 4 山脇 安夫 (日大) 83.80
- 5 小島 潔 (早大) 83.53
- 6 藤本 秀一 (慶大) 79.58

3 m 飛板飛込

- 1 山脇 安夫 (日大) 1:03.24
規56.34 選46.90
- 2 坂手 昭治 (早大) 1:03.01
- 3 有光 洋右 (日大) 98.33
- 4 前川 剛三 (早大) 97.22
- 5 谷口 博 (西濃運輸) 93.46
- 6 小島 潔 (早大) 91.74

水球

成城ク 3 $\begin{pmatrix} 0 & 1 \\ 1 & 0 \\ 1 & 1 \\ 1 & 0 \end{pmatrix}$ 2 法大

中央大 4 $\begin{pmatrix} 1 & 1 \\ 2 & 0 \\ 1 & 1 \\ 0 & 0 \end{pmatrix}$ 2 大垣南

早大 12 $\begin{pmatrix} 3 & 0 \\ 3 & 0 \\ 4 & 0 \\ 2 & 0 \end{pmatrix}$ 0 東大

桜泳会 6 $\begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 2 & 0 \\ 0 & 2 \\ 3 & 0 \end{pmatrix}$ 4 早大

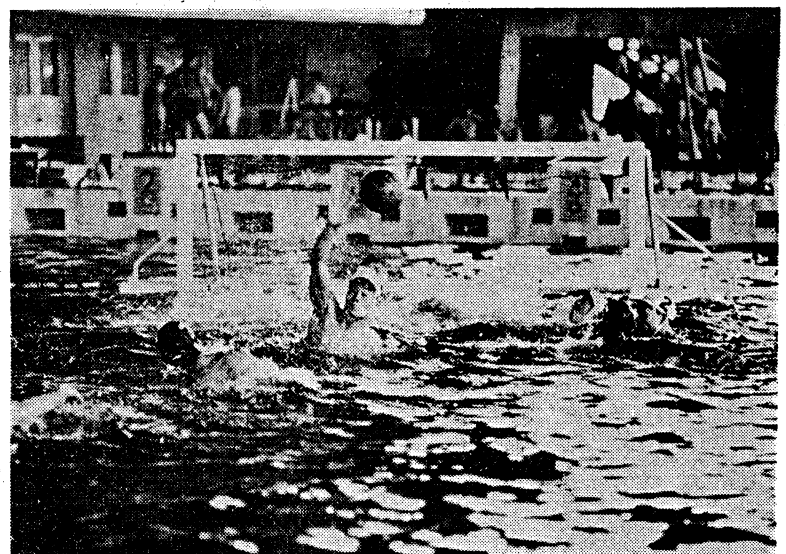
中央大学 4 $\begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 1 & 1 \\ 1 & 1 \\ 0 & 1 \end{pmatrix}$ 2 成城ク

3位決定

早大 6 $\begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 2 & 0 \\ 2 & 0 \\ 1 & 1 \end{pmatrix}$ 3 成城ク

優勝戦

桜泳会 8 $\begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 2 & 0 \\ 1 & 0 \\ 4 & 2 \end{pmatrix}$ 2 中大



- 1 木村 遊子 (東京立正高) 2:33.1
1:12.5
- 2 斎 尚子 (名古屋大) 2:33.7
- 3 越前 芳子 (山田SC) 2:34.0
- 4 野崎 啓子 (椛山中) 2:39.2
- 5 後藤 章子 (早大) 2:42.8
- 6 田中しげ子 (山田SC) 2:55.6

B

- 1 早川 一枝 (吉原市商) 2:25.4
- 2 小緑 好子 (別府大) 2:31.5
- 3 滝本 好美 (山田SC) 2:42.8
- 4 上村 悦子 (") 2:45.6
- 5 国島 洋子 (東京立正高) 2:53.9

C

- 1 木村トヨ子 (八幡製鉄) 2:28.1
1:10.0
- 2 斎藤 和子 (山田SC) 2:38.6
- 3 保田 恵子 (") 2:43.7
- 4 新田 春子 (宇部興産) 2:44.8
- 5 土屋 文子 (東京立正高) 2:48.7

決勝

- 1 早川 一枝 (吉原市商) 2:20.8
1:07.7
- 2 木村トヨ子 (八幡製鉄) 2:23.7
1:09.0
- 3 小緑 好子 (別府大) 2:30.4
1:12.5
- 4 斎 尚子 (名古屋大) 2:32.5
1:12.7
- 5 木村 遊子 (東京立正高) 2:34.7
1:13.3
- 6 越前 芳子 (山田SC) 2:35.8
1:13.5
- 7 斎藤 和子 (") 2:36.6
- 8 野崎 啓子 (椛山中) 2:39.8
- 9 後藤 章子 (早大) 2:41.4

400m 自由形

予選 A

- 1 木村 遊子 (東京立正高) 5:36.6
1:16.9 2:42.7 4:09.6
- 2 滝本 好美 (山田SC) 5:45.6
1:09.7 2:48.1 4:16.8
- 3 保田 恵子 (山田SC) 5:47.2
1:19.1 2:28.5 4:19.4
- 4 新田 春子 (宇部興産) 5:47.7
- 5 上村 悦子 (山田SC) 6:01.5

B

- 1 早川 一枝 (吉原市商) 5:10.5
1:12.6 2:31.9 3:51.2
- 2 斎 尚子 (名古屋大) 5:36.7
1:15.9 2:41.3 4:09.0
- 3 斎藤 和子 (山田CS) 5:38.0
1:18.7 2:45.8 4:13.4
- 4 後藤 幸子 (早大) 5:41.3
- 5 阪本 訓子 (東京立正高) 5:44.8

決勝

- 1 早川 一枝 (吉原市商) 5:04.0
1:11.7 2:28.9 3:46.7
- 2 斎 尚子 (名古屋大) 5:28.3
1:15.5 2:38.0 4:03.7
- 3 木村 遊子 (東京立正高) 5:29.5
1:14.9 2:38.9 4:04.5
- 4 斎藤 和子 (山田SC) 5:30.1
1:15.4 2:40.6 4:06.4
- 5 新田 春子 (宇部興産) 5:40.1
1:18.8 2:44.8 4:12.3
- 6 後藤 幸子 (早大) 5:41.5
1:19.8 2:48.1 4:16.3
- 7 阪本 訓子 (東京立正) 5:44.2
1:18.6 2:45.7 4:15.4
- 8 保田 恵子 (山田SC) 5:48.0
- 9 滝本 好美 (") 5:48.1

100m 平 泳

決勝

- 1 山本 憲子 (八幡製鉄) 1:20.7
- 2 松本 信子 (別府大) 1:24.2
- 3 田上 和子 (山田SC) 1:24.3
- 4 本久 正子 (") 1:25.9
- 5 国島由美子 (成女高) 1:26.5
- 6 島津登志子 (宇部興産) 1:30.1
- 7 河崎みや子 (松山女高) 1:31.2
- 8 霜村美沙子 (成徳高) 1:31.3
- 9 石井三千代 (東京立正) 1:35.2

200m 平 泳

決勝

- 1 山本 憲子 (八幡製鉄) 2:56.6
1:24.3
- 2 松本 信子 (別府大) 3:00.7
1:26.4
- 3 田上 和子 (山田SC) 3:00.8
1:26.3
- 4 本久 正子 (") 3:08.0

1:29.8

- 5 河崎みや子 (椛山高) 3:09.4
1:31.4
- 6 島津登志子 (宇部興産) 3:16.8
1:33.2
- 7 本橋富美子 (藤村女高) 3:18.3
- 8 石井三千代 (東京立正) 3:22.0

100m バタフライ

予選 A

- 1 岡田 晴美 (山田SC) 1:12.7
- 2 大村三八子 (") 1:14.9
- 3 高野美代子 (東京立正) 1:19.9
- 4 釜堀タミエ (日本V) 1:20.4
- 5 洞 徳子 (別府大) 1:22.2

B

- 1 石井 雅子 (山田SC) 1:12.8
- 2 藤原 由美 (") 1:15.6
- 3 横井 好美 (椛山高) 1:15.8
- 4 中西美智代 (日本V) 1:16.9
- 5 中本 房枝 (成女高) 1:36.4

決勝

- 1 石井 雅子 (山田SC) 1:12.3
- 2 岡田 晴美 (") 1:12.5
- 3 大村三八子 (") 1:13.5
- 4 藤原 由美 (") 1:15.1
- 5 横井 好美 (椛山女高) 1:15.6
- 6 中西美智代 (日本V) 1:15.9
- 7 釜堀タミエ (") 1:20.9
- 8 高野美代子 (東京立正高) 1:20.3
- 9 洞 徳子 (別府大) 1:23.8

200m バタフライ

予選 A

- 1 大村三八子 (山田SC) 2:50.3
1:17.8
- 2 中西智美代 (日本V) 2:55.2
1:24.0
- 3 岡田 晴美 (山田SC) 2:55.9
1:21.3

- 4 高橋 淑子 (成女高) 3:01.0
- 5 高野美代子 (東京立正) 3:11.8

B

- 1 横井 好美 (椛山女高) 2:48.8
1:21.9
- 2 石井 雅子 (山田SC) 2:50.8
1:20.5
- 3 釜堀タミエ (日本V) 2:58.2



- 1:21.3
- 4 藤原 由美 (山田 S C) 3:00.7
- 5 洞 徳子 (別府大) 3:17.9
- 決勝**
- 1 石井 雅子 (山田 S C) 2:45.9
1:18.6
- 2 横井 好美 (椛山女高) 2:49.1
1:20.6
- 3 大村三八子 (山田 S C) 2:50.2
1:18.0
- 4 岡田 晴美 (") 2:50.3
1:17.3
- 5 中西美智代 (日本 V) 2:50.7
1:18.7
- 6 藤原 由美 (山田 S C) 2:56.9
1:22.5
- 7 釜堀タミエ (日本 V) 2:59.2
- 8 高橋 淑子 (成女高) 3:03.6
- 9 高野美代子 (東京立正) 3:16.3

100m 背 泳

- 予選 A
- 1 木原美智子 (山田 S C) 1:10.6
- 2 斎藤 洋子 (") 1:16.7
- 3 我部貴美子 (") 1:18.3

- 4 真藤島理子 (山田 S C) 1:19.5
- 5 水野美千代 (椛山女高) 1:21.8
- 6 森田 公子 (日本 V) 1:22.1
- B**
- 1 田中 聡子 (八幡製鉄) 1:15.6
- 2 鎌田美樹子 (東田中) 1:23.9
- 3 福富 喜子 (二階堂高) 1:24.8
- 4 横山由紀子 (成女中) 1:24.8
- 5 明石きつき (山田 S C) 1:27.4
- 6 小林 義子 (") 1:27.5

- 7 藤本 幸子 (") 1:28.1
- 決勝**
- 1 木原美智子 (山田 S C) 1:10.2
- 2 田中 聡子 (八幡製鉄) 1:12.4
- 3 斎藤 洋子 (山田 S C) 1:17.2
- 4 我部貴美子 (") 1:18.0
- 5 藤島真理子 (") 1:20.1
- 6 森田 公子 (日本 V) 1:21.6
- 7 水野美千代 (椛山女高) 1:21.8
- 8 福富 喜子 (二階堂高) 1:24.1
- 9 鎌田美樹子 (東田中) 1:24.3

200m 背 泳

予選 A

- 1 木原美智子 (山田 S C) 2:33.8
1:13.6
- 2 我部貴美子 (") 2:50.4
1:21.3
- 3 藤島真理子 (") 2:51.7
1:21.4
- 4 斎藤 洋子 (") 2:52.1
- 5 鎌田美樹子 (東田中) 2:58.7
- 6 福富 喜子 (二階堂高) 2:59.3
- 7 阪本 訓子 (東京立正高) 3:00.4

B

- 1 水野美千代 (椛山女高) 2:53.2
1:23.9
- 2 森田 公子 (日本 V) 2:53.7
- 3 横山由紀子 (成女中) 2:54.9
- 4 小林 義子 (山田 S C) 3:06.4
- 5 藤本 幸子 (") 3:11.1
- 6 牧野 浩子 (") 3:17.6

決勝



- 1 木原美知子 (山田SC) 2:31.2
1:12.6
- 2 我部貴美子 (") 2:48.1
1:20.6
- 3 斎藤 洋子 (") 2:50.0
1:20.2
- 4 森田 公子 (日本レ) 2:52.1
1:23.2
- 5 水野美千代 (榎山女高) 2:52.9
1:23.8
- 6 藤島真理子 (山田SC) 2:54.0
1:22.8
- 7 横山由紀子 (成女中) 2:54.5
- 8 福富 喜子 (二階堂高) 2:57.8
- 9 鎌田美樹子 (東田中) 2:59.1

400m 個人メドレー

決勝

- 1 丸尾ミネ子 (日本レ) 6:15.0
1:26.2 3:07.2 4:52.5
- 2 木村 遊子 (東京立正) 6:18.1
1:30.9 3:07.3 4:55.0
- 3 高橋 淑子 (成女高) 6:21.4
1:22.7 3:02.3 4:52.7
- 4 高野美代子 (東京立正) 6:23.0
1:30.3 3:14.5 4:58.5
- 1m 飛板飛込
- 1 大崎 恵子 (ヤクルト) 85:59
規 50.42 選 35.17
- 2 関根 正恵 (東京女体大) 74.76
- 3 前田 葉子 (日大) 74.48

- 4 久保たえ子 (松蔭女学) 64.07
- 5 荒井 貞子 (武庫川高) 62.25
- 6 北村 京子 (日体大) 57.27
- 3m 飛板飛込
- 1 大崎 恵子 (ヤクルト) 1:01.67
規59.20 選42.47
- 2 前田 葉子 (日大) 90.00
51.57 38.43
- 3 関根 正恵 (東女体大) 80:16
47.71 32.45
- 4 久保たえ子 (松蔭女高) 77.51
- 5 辰見 敏子 (成蹊大) 74.32
- 6 土田 静子 (日大桜丘高) 73.53

末弘牌高校選手権大会

昭和40年5月29日・30日

大谷プール 気温20° 19°8 水温18°5 18°5

男子の部

100m 自由形

予選 A

- 1 内布 孝司 (八代東) 58.6
- 2 仲松 賢二 (臼杵) 1:01.1
- 3 古賀 学 (朝倉農) 1:06.9

B

- 1 西本 信也 (鹿本) 1:00.4
- 2 二見 信男 (八代東) 1:01.1
- 3 高田 重幸 (臼杵) 1:02.1

C

- 1 小野 章一 (鶴城) 1:02.6
- 2 古賀 邦彦 (朝倉) 1:03.1
- 3 亀谷 孝一 (鎮西) 1:06.5

D

- 1 小松 充善 (諫早商) 1:02.6
- 2 徳永 守 (三瀬) 1:02.6
- 3 村上 賢次 (朝倉) 1:03.8

E

- 1 堀口 敏一 (鶴城) 1:00.8
- 2 田代 宏次 (鹿児島実) 1:01.6
- 3 村本 敏春 (鎮西) 1:04.8

F

- 1 梅野 哲 (鶴城) 58.6

- 2 森本 京介 (山鹿) 1:02.1
- 3 小田 幸造 (宮之城) 1:03.7

G

- 1 上野 幸一 (諫早商) 1:00.9
- 2 本重 澄広 (宮之城農) 1:05.2
- 3 安部 徹 (朝倉) 1:08.1

決勝

- 1 内布 孝司 (八代東) 59.1
- 2 梅野 哲 (鶴城) 59.2
- 3 西本 信也 (鹿本) 59.6
- 4 上野 幸一 (諫早商) 1:00.3
- 5 堀田 敏一 (鶴城) 1:00.3
- 6 二見 信男 (八代東) 1:01.6

200m 自由形

予選 A

- 1 西本 信也 (鹿本) 2:16.3
- 2 二見 信男 (八代東) 2:16.9
- 3 仲松 賢二 (臼杵) 2:19.1

B

- 1 荒木 克博 (鎮西) 2:18.5
- 2 小野 章一 (鶴城) 2:19.8
- 3 森本 京介 (山鹿) 2:21.6

C

- 1 梅野 哲 (鶴城) 2:16.3
- 2 内布 孝司 (八代東) 2:22.2

- 3 本重 澄広 (宮之城農) 2:26.2

D

- 1 別府 正治 (三瀬) 2:15.2
- 2 高田 重幸 (臼杵) 2:19.4
- 3 島添 進 (明善) 2:22.5

E

- 1 藤田 勝治 (鶴城) 2:18.0
- 2 伝住 信夫 (宮之城農) 2:30.9
- 3 大橋 厚 (明善) 2:40.0

F

- 1 赤星 照雄 (諫早商) 2:17.2
- 2 徳永 守 (三瀬) 2:26.9
- 3 上田 勉 (飯塚高) 2:33.2

G

- 1 上野 幸一 (諫早商) 2:16.7
- 2 田代 宏次 (鹿児島実) 2:21.0
- 3 小田 達治 (宮之城) 2:30.7

決勝

- 1 上野 幸一 (諫早商) 2:13.6
- 2 荒木 克博 (鎮西) 2:14.3
- 3 西本 信也 (鹿本) 2:14.3
- 4 梅野 哲 (鶴城) 2:15.1
- 5 別府 正治 (三瀬) 2:15.4
- 6 藤田 勝治 (鶴城) 2:16.6

400m 自由形

予選 A
 1 高瀬悦二郎 (八代東) 4:48.5
 2 荒木 克博 (鎮西) 4:55.2
 3 島添 誠一 (三瀨) 4:56.4

B
 1 葉山 昭正 (八代東) 5:00.0
 2 武田 一良 (三瀨) 5:10.9
 3 島 広美 (糸島) 5:22.4

C
 1 植田 貞雄 (諫早商) 4:51.0
 2 藤田 勝治 (鶴城) 4:57.3
 3 古川 恵利 (大崎) 5:37.8

D
 1 別府 正治 (三瀨) 4:51.4
 2 清家 隆則 (鶴城) 4:57.2
 3 中村 守 (鎮西) 5:05.2

E
 1 井上憲次郎 (") 4:54.3
 2 赤星 照雄 (諫早商) 4:58.6
 3 宮本 久義 (臼杵) 4:59.0

決勝
 1 植田 貞雄 (諫早商) 4:45.3
 2 高瀬悦二郎 (八代東) 4:45.5
 3 荒木 克博 (鎮西) 4:51.3
 4 別府 正治 (三瀨) 4:53.0
 5 島添 誠一 (") 4:54.0
 6 藤田 勝治 (鶴城) 4:57.0

1500m 自由形

予選 A
 1 井上憲次郎 (鎮西) 20:09.1
 2 葉山 昭正 (八代東) 20:18.0
 3 武田 一良 (三瀨) 20:53.0

B
 1 杉山 明博 (八代東) 20:07.4
 2 植田 貞雄 (諫早商) 20:18.7
 3 宮本 久義 (臼杵) 20:19.1

C
 1 高瀬悦二郎 (八代東) 19:35.1
 2 島添 誠一 (三瀨) 19:39.6
 3 清家 隆則 (鶴城) 20:44.4

決勝
 1 高瀬悦二郎 (八代東) 18:53.7
 2 植田 貞雄 (諫早商) 19:04.4
 3 井上憲次郎 (鎮西) 19:28.5
 4 島添 誠一 (三瀨) 19:32.5
 5 葉山 昭正 (八代東) 19:56.7

6 杉山 明博 (八代東) 20:03.9
 100m 平 泳

予選 A
 1 内田 信成 (臼杵) 1:22.4
 2 仲田 隆男 (八代第一) 1:23.1
 3 妹川 英俊 (朝倉農) 1:24.9

B
 1 日隈 修 (山鹿) 1:17.3
 2 丁畑 光陽 (八代東) 1:19.9
 3 津上 文利 (八幡中央) 1:25.6

C
 1 岡田 信夫 (鶴城) 1:16.8
 2 高田 信義 (飯塚商) 1:18.8
 3 徳田 和孝 (三瀨) 1:20.0

D
 1 村川 満 (八代東) 1:19.4
 2 仲町 英夫 (臼杵) 1:20.4
 3 米沢 美幸 (鎮西) 1:22.6

E
 1 細川 広海 (飯塚商) 1:21.2
 2 平倉 康信 (鶴城) 1:21.3
 3 宮藤 裕二 (福岡電波) 1:22.7

F
 1 林 憲治 (延岡工) 1:17.5
 2 石部 重信 (明善) 1:18.2
 3 江藤 義明 (糸島) 1:20.5

G
 1 辻 孝男 (鶴城) 1:16.6
 2 山下 俊二 (鎮西) 1:17.6
 3 重松 隆 (三瀨) 1:20.3

決勝
 1 林 憲治 (延岡工) 1:17.0
 2 山下 俊二 (鎮西) 1:17.1
 3 辻 孝男 (鶴城) 1:17.2
 4 岡田 信夫 (") 1:17.3
 5 日隈 修 (山鹿) 1:18.8
 6 高田 信義 (飯塚商) 1:19.3

200m 平 泳

予選 A
 1 高田 信義 (飯塚商) 2:51.3
 2 久保田勝宏 (臼杵) 2:54.8
 3 吉村 保之 (八代東) 2:59.4

B
 1 村川 満 (") 2:50.8
 2 児玉 広信 (鶴城) 2:53.4
 3 天野 幸正 (鎮西) 2:57.6

C
 1 岡田 信夫 (鶴城) 2:45.0
 2 日隈 修 (山鹿) 2:53.5
 3 仲町 英夫 (臼杵) 2:55.5

D
 1 辻 孝男 (鶴城) 2:47.1
 2 重松 隆 (三瀨) 2:55.6
 3 細川 広海 (飯塚商) 2:58.3

E
 1 林 英一 (三瀨) 2:48.2
 2 山下 俊二 (鎮西) 2:50.8
 3 石部 重信 (明善) 2:55.8

F
 1 徳田 和孝 (三瀨) 2:53.2
 2 林 憲治 (延岡工) 2:54.3
 3 内田 信成 (臼杵) 2:57.6

決勝
 1 岡田 信夫 (鶴城) 2:46.5
 2 林 英一 (三瀨) 2:47.2
 3 辻 孝男 (鶴城) 2:48.9
 4 児玉 広信 (") 2:52.3
 5 山下 俊二 (鎮西) 2:53.7
 6 村川 満 (八代東) 2:54.3

100m バタフライ
 予選 A
 1 高田 康雄 (臼杵) 1:02.2
 2 須藤 松夫 (朝倉農) 1:07.5
 3 佐藤 定 (八代東) 1:10.0

B
 1 東島 新次 (三瀨) 1:04.6
 2 江藤 穰治 (朝倉) 1:08.8
 3 巽 美道 (鶴城) 1:10.6

C
 1 山野内伸二 (") 1:03.9
 2 生駒 孝行 (宮之城) 1:04.6
 3 杉 孝夫 (三瀨) 1:04.9

D
 1 沼田 信寛 (鎮西) 1:05.7
 2 松尾 幸成 (諫早商) 1:11.2
 3 溝口 幸男 (三瀨) 1:11.3

決勝
 1 高田 康雄 (臼杵) 1:02.9
 2 山野内伸二 (鶴城) 1:03.5
 3 東島 新次 (三瀨) 1:03.7
 4 杉 孝夫 (") 1:03.9
 5 生駒 孝行 (宮之城) 1:04.3

6 沼田 信寛 (鎮 西) 1:05.0
7 須藤 松夫 (朝 倉 農) 1:06.6

200m バタフライ

予選 A

1 坂本 邦雄 (明 善) 2:34.4
2 藤木 憲次 (飯 塚 商) 2:35.2
3 杉 孝夫 (三 漕) 2:35.4

B

1 生駒 孝行 (宮 之 城) 2:32.0
2 沼田 信寛 (鎮 西) 2:33.2
3 溝口 幸男 (三 漕) 2:36.7

C

1 高田 康雄 (白 杵) 2:18.8
2 山野内伸二 (鶴 城) 2:28.0
3 藤木 益美 (三 漕) 2:28.7

決勝

1 高田 康雄 (白 杵) 2:19.6
2 山野内伸二 (鶴 城) 2:20.6
3 藤木 益美 (三 漕) 2:25.6
4 生駒 孝行 (宮 之 城) 2:32.3
5 杉 孝夫 (三 漕) 2:35.8
6 藤木 憲治 (飯 塚 商) 2:35.8

100m 背 泳

予選 A

1 三木正二郎 (八 代 東) 1:06.8
2 池永 信一 (白 杵) 1:08.9
3 矢野 俊克 (飯 塚 商) 1:17.2

B

1 天本 喜勝 (三 漕) 1:09.4
2 三島 一光 (鶴 城) 1:14.6
3 岩崎 昭博 (宮 之 城 農) 1:16.4

C

1 渡辺 徹夫 (諫 早 商) 1:08.8
2 河野 正紀 (白 杵) 1:12.4
3 竹内 牧生 (鶴 城) 1:13.6

D

1 別宮光一郎 (") 1:09.2
2 天野 悟 (鎮 西) 1:12.4
3 内田 政朝 (八 代 東) 1:13.1

E

1 谷口 徳次 (鎮 西) 1:10.7
2 竹中 政善 (三 漕) 1:12.7
3 坂田 敏明 (八代第一) 1:17.9

F

1 熊谷 和久 (朝 倉) 1:14.5
2 長丸 雄三 (宮 之 城 農) 1:18.5

3 近藤 淳一 (八 女) 1:23.1

決勝

1 三木正二郎 (八 代 東) 1:07.5
2 渡辺 徹夫 (諫 早 商) 1:07.7
3 池永 信一 (白 杵) 1:09.7
4 別宮光一郎 (鶴 城) 1:09.9
5 天本 喜勝 (三 漕) 1:10.5
6 谷口 徳次 (鎮 西) 1:10.6

200m 背 泳

予選 A

1 池永 信一 (白 杵) 2:31.7
2 川口 保夫 (鹿 町 工) 2:40.8
3 内田 政朝 (八 代 東) 2:41.4

B

1 三木正二郎 (") 2:29.8
2 竹中 政善 (三 漕) 2:39.6
3 田森 博志 (鶴 城) 2:46.9

C

1 谷口 徳次 (鎮 西) 2:32.6
2 天本 喜勝 (三 漕) 2:35.4
3 熊谷 和久 (朝 倉) 2:42.6

D

1 別宮光一郎 (鶴 城) 2:31.9
2 渡辺 徹夫 (諫 早 商) 2:32.4
3 松田 章裕 (鎮 西) 2:48.5

E

1 竹内 牧生 (鶴 城) 2:39.4
2 天野 悟 (鎮 西) 2:40.1
3 河野 正紀 (白 杵) 2:41.6

決勝

1 三木正二郎 (八 代 東) 2:28.7
2 渡辺 徹夫 (諫 早 商) 2:30.3
3 別宮光一郎 (鶴 城) 2:31.5
4 谷口 徳次 (鎮 西) 2:31.9
5 池永 信一 (白 杵) 2:34.6
6 天本 喜勝 (三 漕) 2:36.0

200m 個人メドレー

予選 A

1 永野 博之 (鹿 本) 2:46.2
2 坂井 幹夫 (久留米商) 2:48.7
3 沼田 寛仁 (八 代 東) 2:49.4

B

1 尾花 徹 (三 漕) 2:30.0
2 吉村 慎吾 (諫 早 商) 2:39.4
3 柴田 憲二 (八代第一) 2:40.5

C

1 杉山 明博 (八 代 東) 2:34.1
2 堤 潤八郎 (三 漕) 2:42.4
3 泉 正昭 (諫 早 商) 2:44.8

D

1 林 英一 (三 漕) 2:33.4
2 川口 保夫 (鹿 町 工) 2:38.6
3 堀江 敏一 (鶴 城) 2:42.8

E

1 与儀 達明 (") 2:40.5
2 大塚 勝 (鎮 西) 2:41.5
3 浦田 勝幸 (諫 早 商) 2:43.4

決勝

1 林 英一 (三 漕) 2:32.2
2 杉山 明博 (八 代 東) 2:36.2
3 尾花 徹 (三 漕) 2:37.8
4 川口 保夫 (鹿 町 工) 2:39.8
5 与儀 達明 (鶴 城) 2:40.7
6 柴田 憲二 (八代第一) 2:41.2

400m 個人メドレー

予選 A

1 東島 新次 (三 漕) 5:31.8
2 吉村 慎吾 (諫 早 商) 5:53.3
3 吉村 保之 (八 代 東) 6:15.4

B

1 藤木 益美 (三 漕) 5:46.1
2 永野 博之 (鹿 本) 6:00.7
3 浦田 勝幸 (諫 早 商) 6:03.6

C

1 与儀 達明 (鶴 城) 5:52.2
2 堤 潤八郎 (三 漕) 5:55.6
3 大塚 勝 (鎮 西) 6:00.1

決勝

1 東島 新次 (三 漕) 5:35.5
2 与儀 達明 (鶴 城) 5:40.9
3 吉村 慎吾 (諫 早 商) 5:47.2
4 藤木 益美 (三 漕) 5:51.4
5 堤 潤八郎 (") 5:53.3
6 浦田 勝幸 (諫 早 商) 5:53.5

400m リレー

予選 A

1 小野・清家・渡辺・堀江
(鶴 城) 4:09.7
2 植田・小松・赤星・上野
(諫 早 商) 4:10.5
3 村上・古賀・熊谷・江藤
(朝 倉) 4:20.~

- B**
- 1 葉山・二見・内布・高瀬
(八代東) 4:07.6
 - 2 高田・仲松・宮本・河野
(臼杵) 4:13.9
 - 3 西本・金原・永野・米川
(鹿本) 4:20.4

- C**
- 1 別府・徳永・東島・天本
(三瀬) 4:09.0
 - 2 天野・中村・村本・井上
(鎮西) 4:14.6
 - 3 島添・内田・大石・日比野
(明善) 4:29.7

決勝

- 1 堀江・藤田・小野・梅野
(鶴城) 4:03.0
- 2 内布・高瀬・杉山・二見
(八代東) 4:05.3
- 3 植田・小林・赤星・上野
(諫早商) 4:07.7
- 4 別府・東島・徳永・林
(三瀬) 4:08.6
- 5 高田・宮本・池永・仲松
(臼杵) 4:10.9
- 6 荒木・天野・村本・中村
(鎮西) 4:12.5

800m リレー

予選 A

- 1 葉山・杉山・二見・高瀬
(八代東) 9:23.8
- 2 大塚・井上・中村・荒木
(鎮西) 9:28.7
- 3 高田・仲松・陰山・宮本
(臼杵) 9:29.9

B

- 1 藤田・清家・山野内・梅野
(鶴城) 9:17.0
- 2 別府・東島・島秀・林
(三瀬) 9:22.8
- 3 植田・小松・赤星・上野
(諫早商) 9:25.1

決勝

- 1 堀江・藤田・山野内・梅野
(鶴城) 9:05.5
- 2 植田・小松・赤星・上野

- 3 高瀬・内布・杉山・二見
(八代東) 9:06.4
- 4 林・東島・島添・別府
(三瀬) 9:11.6
- 5 村本・荒木・中村・井上
(鎮西) 9:30.4
- 6 宮本・仲松・高田・陰山
(臼杵) 9:36.7

400m メドレーリレー

予選 A

- 1 池永・久保田・高田・仲松
(臼杵) 4:32.7
- 2 三木・丁畑・佐藤・二見
(八代東) 4:37.6
- 3 東島・徳田・杉・徳永
(三瀬) 4:38.7

B

- 1 渡辺・田中・松尾・赤星
(諫早商) 4:39.5
- 2 内田・石部・坂本・島添
(明善) 4:55.6
- 3 藤田・日隈・一ノ瀬・森本
(山鹿) 4:55.7

C

- 1 別宮・曾宮・山野内・梅野
(鶴城) 4:31.1
- 2 谷口・山下・沼田・荒木
(鎮西) 4:33.3
- 3 久木野・谷川・生駒・小田
(宮之城) 4:52.6

決勝

- 1 別宮・辻・山野内・梅野
(鶴城) 4:27.4
- 2 天本・林・東島・別府
(三瀬) 4:33.0
- 3 谷口・山下・沼田・荒木
(鎮西) 4:33.0
- 4 池永・仲町・高田・高田
(臼杵) 4:35.0
- 5 三木・村川・佐藤・内布
(八代東) 4:35.1
- 6 熊谷・釜堀・江藤・古賀
(朝倉) 4:48.0

女子の部

100m 自由形

予選 A

- 1 浦上 涼子 (筑紫女) 1:05.5
- 2 池上久美子 (熊本市立) 1:11.2
- 3 寺崎 一代 (朝羽) 1:13.3

B

- 1 中川 静子 (筑紫女) 1:07.3
- 2 黒瀬まり子 (佐伯) 1:12.3
- 3 堀尾 久枝 (朝羽) 1:16.1

C

- 1 田中むつみ (熊本市立) 1:10.6
- 2 林 美津子 (朝羽) 1:15.0
- 3 松本なをみ (筑紫女) 1:33.0

決勝

- 1 浦上 涼子 (") 1:05.7
- 2 中川 静子 (") 1:03.8
- 3 田中むつみ (熊本市立) 1:09.4
- 4 池上久美子 (") 1:10.4
- 5 黒瀬まり子 (佐伯) 1:11.9
- 6 寺崎 一代 (朝羽) 1:13.2
- 7 林 美津子 (") 1:13.9

200m 自由形

予選 A

- 1 内田 久江 (筑紫女) 2:35.7
- 2 池上久美子 (熊本市立) 2:38.5
- 3 黒瀬まり子 (佐伯) 2:40.2

B

- 1 田中むつみ (熊本市立) 2:35.6
- 2 中川 静子 (筑紫女) 2:39.5
- 3 寺崎 一代 (朝羽) 2:42.8

決勝

- 1 内田 久江 (筑紫女) 2:33.8
- 2 池上久美子 (熊本市立) 2:33.8
- 3 田中むつみ (") 2:34.2
- 4 黒瀬まり子 (佐伯) 2:35.7
- 5 寺崎 一代 (朝羽) 2:37.0
- 6 中川 静子 (筑紫女) 2:41.9
- 7 林 美津子 (朝羽) 2:47.4

400m 自由形

予選A

- 1 大隈ゆみ子 (朝羽) 5:26.2
- 2 竹本 清子 (筑紫女) 5:29.5
- 3 岩永 弘子 (熊本市立) 5:38.3

B

- 1 上村恵美子 (朝羽) 5:36.5
- 2 内田 久江 (筑紫女) 5:36.7

3 西本 順子 (熊本市立) 5:45.3

決勝

- 1 大隈ゆみ子 (朝 羽) 5:25.2
- 2 竹本 清子 (筑紫女) 5:29.3
- 3 内田 久江 (") 5:31.2
- 4 上村恵美子 (朝 羽) 5:32.6
- 5 岩永 弘子 (熊本市立) 5:39.2
- 6 西本 順子 (") 5:47.4

800m 自由形

決勝

- 1 大隈ゆみ子 (朝 羽) 11:14.5
- 2 上村恵美子 (") 11:18.4
- 3 簀 千枝子 (筑紫女) 11:26.9
- 4 竹本 清子 (") 11:35.5
- 5 岩永 弘子 (熊本市立) 11:44.6
- 6 林 敬子 (朝 羽) 11:58.8

100m 平 泳

予選A

- 1 古川 富子 (朝 羽) 1:26.6
- 2 松本 直桃 (筑紫女) 1:30.2
- 3 仙田 治美 (朝 羽) 1:34.4

B

- 1 森実 芳子 (筑紫女) 1:26.0
- 2 葉室 加奈 (") 1:26.0
- 3 奥山美津子 (宮之城) 1:33.0

決勝

- 1 古川 富子 (朝 羽) 1:23.5
- 2 葉室 加奈 (筑紫女) 1:25.5
- 3 森実 芳子 (") 1:26.2
- 4 松本 直桃 (") 1:31.2
- 5 奥山美津子 (宮之城) 1:33.4
- 6 宮原 有子 (朝 羽) 1:34.7

200m 平 泳

予選A

- 1 古川 富子 (朝 羽) 2:58.8
- 2 松本 直桃 (筑紫女) 3:08.8
- 3 仙田 治美 (朝 羽) 3:22.4

B

- 1 葉室 加奈 (筑紫女) 3:03.7
- 2 奥山美津子 (宮之城) 3:21.5
- 3 宮原 有子 (朝 羽) 3:25.8

決勝

- 1 古川 富子 (朝 羽) 3:01.1
- 2 葉室 加奈 (筑紫女) 3:06.0
- 3 松本 直桃 (") 3:11.2
- 4 仙田 治美 (朝 羽) 3:19.1

5 奥山美津子 (宮之城) 3:21.0

6 林 万喜 (佐 伯) 3:28.1

100m バタフライ

予選A

- 1 橋田千恵子 (朝 羽) 1:18.8
- 2 矢田美智子 (佐 伯) 1:22.9
- 3 八島 豊子 (熊本女) 1:23.5

B

- 1 松岡八重子 (筑紫女) 1:30.6
- 2 川越としよ (佐 伯) 1:34.8
- 3 釜堀ふみえ (朝 羽) 1:45.2

決勝

- 1 橋田千恵子 (朝 羽) 1:17.9
- 2 矢田美智子 (佐 伯) 1:21.4
- 3 八島 豊子 (熊本女) 1:22.9
- 4 山口 節子 (宮之城農) 1:23.8
- 5 松岡八重子 (筑紫女) 1:30.5
- 6 川越としよ (佐 伯) 1:31.7

200m バタフライ

決勝

- 1 橋田千恵子 (朝 羽) 2:55.3
- 2 矢田美智子 (佐 伯) 3:08.1
- 3 山口 節子 (宮之城農) 3:08.6
- 4 井手 悦子 (朝 羽) 3:10.9
- 5 八島 豊子 (熊本女) 3:16.2
- 6 松岡八重子 (筑紫女) 3:25.0

100m 背 泳

予選A

- 1 日高美智子 (筑紫女) 1:20.8
- 2 別府 紀美 (朝 羽) 1:21.4
- 3 平岡 和子 (佐 伯) 1:26.3

B

- 1 田端 恵子 (筑紫女) 1:20.0
- 2 福島 妙子 (熊本女) 1:22.2
- 3 長峰 房子 (佐 伯) 1:25.4

決勝

- 1 田端 恵子 (筑紫女) 1:18.7
- 2 福島 妙子 (熊本女) 1:19.7
- 3 別府 紀美 (朝 羽) 1:20.2
- 4 日高美智子 (筑紫女) 1:20.9
- 5 平岡 和子 (佐 伯) 1:26.4
- 6 森山 淳子 (朝 羽) 1:26.5

200m 背 泳

予選A

- 1 日高美智子 (筑紫女) 2:55.5
- 2 別府 紀美 (朝 羽) 2:55.5

3 平岡 和子 (佐 伯) 3:06.8

B

- 1 田端 恵子 (筑紫女) 2:51.0
- 2 福島 妙子 (熊本女) 2:57.8
- 3 長峰 房子 (佐 伯) 3:08.4

決勝

- 1 田端 恵子 (筑紫女) 2:52.2
- 2 日高美智子 (") 2:54.0
- 3 別府 紀美 (朝 羽) 2:55.9
- 4 福島 妙子 (熊本女) 2:56.4
- 5 平岡 和子 (佐 伯) 3:06.5
- 6 森山 淳子 (朝 羽) 3:09.7

200m 個人メドレー

予選A

- 1 浦上 涼子 (筑紫女) 3:00.4
- 2 鐘崎 恵子 (朝 羽) 3:16.4
- 3 本田 和子 (八代第一) 3:23.7

B

- 1 森実 芳子 (筑紫女) 2:52.0
- 2 長尾 且恵 (朝 羽) 3:02.7
- 3 奥山 城子 (宮之城) 3:25.8

決勝

- 1 森実 芳子 (筑紫女) 2:51.6
- 2 浦上 涼子 (") 3:00.0
- 3 長尾 且恵 (朝 羽) 3:02.4
- 4 鐘崎 恵子 (") 3:15.3
- 5 大塚美智子 (佐 伯) 3:20.3
- 6 奥山 城子 (宮之城) 3:22.3

400m 個人メドレー

決勝

- 1 簀 千枝子 (筑紫女) 6:19.5
- 2 井手 悦子 (朝 羽) 6:29.5
- 3 長尾 且恵 (") 6:30.5
- 4 城間智恵子 (筑紫女) 6:46.1
- 5 鐘崎 恵子 (朝 羽) 7:04.0
- 6 大塚美智子 (佐 伯) 7:09.2

400m リレー

決勝

- 1 浦上・中川・内田・簀 (筑紫女) 4:33.2
- 2 西本・岩永・田中・池上 (熊本市立) 4:44.2
- 3 大隈・上村・寺林・林 (朝 羽) 4:53.4
- 4 矢田・大塚・高橋・黒塚 (佐 伯) 5:16.3

5 吉村・本田・小田・鬼塚
(八代第一) 5:28.9

400m メドレーリレー

決 勝

1 田端・森実・簾・浦上
(筑紫女) 5:10.4

2 別府・古川・橘田・大隈
(朝 羽) 5:15.5

3 平岡・林・矢田・黒瀬
(佐 伯) 5:37.8

4 小田・本田・堀口・吉村
(八代第一) 6:29.0

第37回早慶対抗水泳競技大会

昭和40年6月6日 神宮プール

気温 27.5° 水温 23.5°

100m 自由形

1 岩崎 邦宇 (早 大) 56.7
 2 田代 信一 (") 58.2
 3 三杉 庄治 (") 58.9
 4 松尾 清彦 (慶 大) 1:01.5
 5 菅野 直之 (") 1:04.9
 6 間瀬 金博 (") 1:06.0

200m 自由形

1 岩崎 邦宏 (早 大) 2:06.5
 1:02.0
 2 大池 巖 (") 2:07.1
 1:02.2
 3 三杉 庄治 (") 2:13.4
 4 中沢 正博 (慶 大) 2:14.2
 5 松尾 清彦 (") 2:17.5
 6 間瀬 金博 (") 2:31.1

400m 自由形

1 大池 巖 (早 大) 4:31.5
 1:03.6 2:12.8 3:22.6
 2 藤島 祥三 (") 4:34.5
 1:03.6 2:11.3 3:21.8
 3 岩本 和行 (") 4:36.4
 4 中沢 正博 (慶 大) 4:53.0
 5 境井 弘昌 (" 高) 5:04.2

1500m 自由形

1 藤島 祥三 (早 大) 18:03.3
 2 岩本 和行 (") 18:07.6
 3 山田 忠信 (") 18:12.8
 2 境井 弘昌 (慶 大) 20:14.2

藤島 岩本 山田

100m 1:06.1 1:06.2 1:05.9
 200 2:15.7 2:16.5 2:16.1
 300 3:26.3 3:27.9 3:28.3
 400 4:37.6 4:39.1 4:40.4
 500 5:50.1 5:51.6 5:54.2
 600 7:02.9 7:04.3 7:06.7
 700 8:15.6 8:17.0 8:19.9

800 9:28.5 9:30.4 9:33.6
 900 10:42.2 10:44.0 10:47.2
 1000 11:56.0 11:57.9 12:01.3
 1100 13:09.2 13:11.9 13:15.6
 1200 14:22.4 14:25.1 14:29.1
 1300 15:36.5 15:39.3 15:43.6
 1400 16:51.3 16:53.3 16:58.5
 1500 18:03.3 18:07.4 18:12.8

200m 平 泳

1 松本健次郎 (早 大) 2:36.7
 1:14.2
 2 山南 宏一 (") 2:39.4
 3 青木 剛 (") 2:43.0
 1:17.9
 4 外山 信明 (慶 大) 2:53.1
 5 広瀬 明 (") 2:53.5
 6 田中 稜一 (") 3:01.6

200m バタフライ

1 門永 吉典 (早 大) 2:17.0
 2 杉本 紘一 (") 2:19.4
 1:05.0
 3 河野 直人 (慶 大) 2:49.5

200m 背 泳

1 田中毅司雄 (早 大) 2:23.9
 1:08.7
 2 田中 広征 (") 2:27.6
 3 瑠東 東治 (慶 大) 2:41.2

400m 個人メドレー

1 岩本 和行 (早 大) 5:34.5
 1:15.2 2:44.2 4:20.8
 2 三杉 庄治 (") 5:35.6
 1:09.2 2:39.4 4:23.4
 3 辻野 公二 (慶 大) 5:43.6
 4 前田 正明 (早 大) 5:52.4

OB 200m リレー

1 高尾・中村・福山・荒川・高瀬・古川 (慶 大) 2:50.9

2 島本・秋永・田造・長谷・坂井・梅本 (早 大) 2:52.7
 3 関根・木村・後藤・山下・石井・大隅 (記者ク) 3:07.2

800m リレー

1 岩崎・大池・藤島・岩本 (早 大) 8:36.1
 1:01.7 2:07.2 3:09.3 4:15.6
 5:17.9 6:24.8 7:27.4 8:36.1
 正式 岩崎 2:07.2
 2 中沢・松尾・富永・辻野 (慶 大) 9:14.2

400m メドレーリレー

1 田中・松本・門永・岩崎 (早 大) 4:16.4
 1:06.3 2:17.4 3:19.9
 2 瑠東・外山・辻野・松尾 (慶 大) 4:39.8

飛込飛板

1 坂手 昭治 (早 大) 84.68
 2 小島 潔 (") 77.65
 3 藤本 秀一 (慶 大) 73.79
 4 吉村 正男 (慶 高) 69.04
 5 末広 昭人 (") 36.76

高 飛 込

1 藤本 秀一 (慶 大) 75.34
 2 坂手 昭治 (早 大) 74.05
 3 小島 潔 (") 71.50
 4 吉村 正男 (慶 高) 61.65

競泳得点 早大 51点 慶大 3点
 飛込得点 早大 8 " 慶大 4 "

水 球

早大 6 $\begin{pmatrix} 1 & 1 \\ 2 & 0 \\ 2 & 1 \\ 1 & 1 \end{pmatrix}$ 3 慶大

水 球 OB

慶大 3 $\begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 2 & 1 \end{pmatrix}$ 1 早大

第 30 回 明・立・日 三 大 学 対 抗

昭和40年 6月13日 明治神宮プール

気温22.5° 水温21.0°

100m 自由形			1 伊藤 勝二 (日 大) 18:36.2	3 猪野 正久 (日 大) 2:28.7
1 久保田宇利 (日 大) 57.8	2 長野 優 (") 18:43.2		1:10.0	
2 吉見 行雄 (") 57.9	3 渡辺 恒夫 (明 大) 18:46.6		4 杉山 悟 (明 大) 2:33.5	
3 青木 良夫 (") 58.4	4 丸井 久人 (日 大) 19:02.5		5 松田 史剛 (立 大) 2:34.6	
4 岡村 健祐 (立 大) 59.3	1:05.3 2:17.4		400m 個人メドレー	
5 金本 博幸 (明 大) 1:00.6	5 田原 雅尚 (明 大) 19:27.7		1 青木 守喬 (日 大) 5:20.8	
6 岡本 顕 (立 大) 1:01.3	6 渡辺 吉松 (") 20:03.2		1:05.8 2:26.9 4:06.8	
7 中村 昌敬 (明 大) 1:02.4	7 石川 岸郎 (立 大) 20:53.6		2 宮良 高志 (") 5:28.0	
8 佐藤 康彦 (立 大) 1:02.7	ラツプ 伊藤		3 渡辺 吉松 (明 大) 5:37.7	
9 浜口 鶴蔵 (明 大) 1:03.2	3:31.4 4:45.9 6:00.0 7:15.7		4 久保田宇利 (日 大) 5:38.9	
200m 自由形			8:30.6 9:46.0 11:01.0 12:16.7	
1 森田 武男 (日 大) 2:05.2	13:32.3 14:48.7 16:04.6 17:20.8		5 岩本 修二 (明 大) 5:49.6	
1:01.3	200m 平 泳			800m リレー
2 山影 武士 (明 大) 2:05.6	1 鶴峯 治 (日 大) 2:36.8		1 (日 大) 8:38.4	
3 権藤 哲郎 (日 大) 2:09.6	1:14.4		青 木 1:00.9 2:11.4	
4 吉見 行雄 (") 2:12.2	2 鈴木 欽次 (明 大) 2:41.2		権 堂 3:13.2 4:22.0	
5 金本 博幸 (明 大) 2:12.6	3 高島 光生 (日 大) 2:43.1		長 野 5:24.4 6:32.1	
6 岡本 顕 (立 大) 2:17.4	4 小寺 隆昭 (明 大) 2:45.1		森 田 7:32.9 8:38.4	
7 芳川 公治 (") 2:17.8	5 那知 岩成 (立 大) 2:46.2		2 渡辺・金本・田原・山影	
8 中村 昌敬 (明 大) 2:18.0	6 藤原 弘三 (明 大) 2:47.4		(明 大) 8:51.3	
9 川浪 静男 (立 大) 2:24.4	7 佐藤 章 (日 大) 2:49.5		3 石川・岡村・芳川・岡本	
400m 自由形			(立 大) 9:27.8	
1 森田 武男 (日 大) 4:28.6	200m バタフライ			400m メドレーリレー
1:04.3 2:12.0 3:21.1	1 菅 隆則 (日 大) 2:18.6		1 五十嵐1:05.6 (日 大) 4:17.2	
2 山影 武士 (明 大) 4:36.3	1:04.7		鶴峯 2:16.7	
3 長野 優 (日 大) 4:40.5	2 中村 康博 (立 大) 2:20.6		北村 3:19.3	
1:04.3	3 江本 正 (明 大) 2:24.2		吉見 4:17.2	
4 伊藤 勝二 (") 4:43.6	4 小鷹狩軍雄 (日 大) 2:26.9		2 杉山・鈴木・江本・山影	
5 渡辺 恒夫 (明 大) 4:43.6	5 辻尾 崇夫 (") 2:27.2		(明 大) 4:24.9	
6 田原 雅尚 (") 4:49.2	6 皆川 嘉男 (明 大) 2:39.5		3 松田・那知・中村・岡村	
7 芳川 公治 (立 大) 5:01.2	200m 背 泳			
8 石川 岸郎 (") 5:01.5	1 五十嵐武清 (日 大) 2:26.6		得 点 日 大 123点	
1500m 自由形			明 大 53"	
	2 青木 守喬 (") 2:27.8		立 大 16"	

第 11 回 早大対九州水泳競技大会

昭和40年 6月13日 福岡県総合プール

気温 22° 水温 24°

100m 自由形			2 大沢 正行 (九 州) 56.6	5 内布 孝司 (九 州) 57.8
決 勝	3 竹内 和也 (") 57.4		6 三杉 庄司 (早 大) 失格	
1 岩崎 邦宏 (早 大) 56.0	4 田代 信一 (早 大) 57.6		200m 自由形	

決勝

- 1 岩崎 邦宏 (早 大) 2:03.7
- 2 福井 誠 (九 州) 2:04.9
- 3 大池 巖 (早 大) 2:05.3
- 4 大沢 正行 (九 州) 2:08.7
- 5 田代 信一 (早 大) 2:10.7
- 6 上野 孝一 (九 州) 2:14.4

400m 自由形

決勝

- 1 大池 巖 (早 大) 4:28.3
- 2 藤島 祥三 (") 4:30.8
- 3 山田 忠信 (") 4:34.7
- 4 吉無田春男 (九 州) 4:36.1
- 5 高瀬悦二郎 (") 4:40.5
- 6 佐々木末昭 (") 4:53.2

オープン

- 植田 貞雄 (") 4:41.8

1500m 自由形

決勝

- 1 藤島 祥三 (早 大) 17:57.9
- 2 岩本 和行 (") 18:11.0
- 3 山田 忠信 (") 18:23.6
- 4 高瀬悦二郎 (九 州) 18:49.2
- 5 植田 貞雄 (") 18:53.0
- 6 佐々木末昭 (") 19:08.4

100m 平 泳

決勝

- 1 松本健次郎 (早 大) 1:10.6
- 2 山南 宏一 (") 1:12.1
- 3 伊藤 靖博 (九 州) 1:14.1
- 4 重松 盛人 (") 1:14.2
- 4 林 憲治 (") 1:14.5
- 6 青木 剛 (早 大) 1:15.8

オープン

- 前田 鎮禰 (") 1:15.3

- 高木 憲一 (九 州) 1:15.9

200m 平 泳

決勝

- 1 松本健次郎 (早 大) 2:33.9
- 2 山南 宏一 (") 2:37.8
- 3 青木 剛 (") 2:43.6
- 4 高木 憲一 (九 州) 2:45.0
- 5 重松 盛人 (") 2:46.3
- 6 伊藤 靖博 (") 2:48.0

オープン

- 前田 鎮禰 (早 大) 2:45.9

- 林 憲治 (九 州) 2:49.1

100m バタフライ

決勝

- 1 中島 功 (九 州) 1:00.0
- 2 佐藤 好助 (") 1:00.6
- 3 門永 吉典 (早 大) 1:01.6
- 4 東島 新次 (九 州) 1:03.4
- 5 杉本 紘一 (早 大) 1:04.2

オープン

- 甲斐田幾男 (九 州) 1:00.6

200m バタフライ

決勝

- 1 門永 吉典 (早 大) 2:15.3
- 2 佐藤 好助 (九 州) 2:15.7
- 3 杉本 紘一 (早 大) 2:18.5
- 4 中島 功 (九 州) 2:20.9
- 5 藤木 益美 (") 2:26.3

オープン

- 甲斐田幾男 (") 2:24.3

100m 背 泳

決勝

- 1 伊藤 圭祐 (早 大) 1:04.3
- 2 三木正二郎 (九 州) 1:05.5
- 3 田中毅司雄 (早 大) 1:05.5

- 4 田中 広征 (早 大) 1:06.2

- 5 中原 紀 (九 州) 1:06.6

- 6 渡辺 徹夫 (") 1:07.6

200m 背 泳

決勝

- 1 田中毅司雄 (早 大) 2:21.7
- 2 伊藤 圭祐 (") 2:24.4
- 3 三木正二郎 (九 州) 2:25.2
- 4 田中 広征 (早 大) 2:26.1
- 5 中原 紀 (九 州) 2:26.3
- 6 渡辺 徹夫 (九 州) 2:29.8

400m 個人メドレー

決勝

- 1 岩本 和行 (早 大) 5:23.2
- 2 東島 新次 (九 州) 5:24.3
- 3 三杉 庄治 (早 大) 5:28.6
- 4 田中毅司雄 (") 5:35.7
- 5 丸山 関男 (九 州) 5:38.2
- 6 藤木 益美 (") 5:43.8

800m リレー

決勝

- 1 岩崎・藤島・山田・大池 (早 大) 8:24.5
- 2 大沢・吉無田・竹内・藤井 (九 州) 8:30.2

オープン

- 植田・内布・上野・高瀬 (高 校 生) 8:55.7

400m メドレーリレー

決勝

- 1 田中(広)・松本・門永・岩崎 (早 大) 4:13.3
- 2 中原・重松・佐藤・庄司 (九 州) 4:17.2

第10回中央大学対日本大学

昭和40年6月20日 神宮プール

気温 23° 水温 22.5°

100m 自由形

- 1 久保田宇利 (日 大) 57.9
- 2 吉見 行雄 (") 57.9
- 3 青木 良夫 (") 58.4
- 4 藤本 功光 (中 大) 58.8

- 5 権藤 哲郎 (日 大) 58.9

- 6 高橋 宏一 (中 大) 1:00.3

- 7 堀川 俊一 (") 1:00.9

- 8 吉村 豊 (") 1:01.5

200m 自由形

- 1 森田 武男 (日 大) 2:06.6

- 2 青木 良夫 (") 2:08.9

1:01.0

- 3 権藤 哲郎 (") 2:09.6

- 4 吉見 行雄 (") 2:10.5

5 岩村 尚男 (中 大) 2:10.8	8:51.0 10:09.1 11:28.5	5 弘瀬 高尚 (中 大) 2:27.7
6 荒木 憲一 (") 2:11.7	12:48.0 14:07.3 14:26.6	6 金沢 宏久 (") 2:30.7
7 堀川 俊一 (") 2:13.0	16:45.6 18:05.8 19:25.5	7 加藤 仁彦 (") 2:36.2
8 藤本 功光 (") 2:13.6	仲矢 1:08.5 2:23.6 3:40.8	8 北村 慶二 (") 2:44.8
400m 自由形	4:58.7 6:17.6 7:37.1	100m 背 泳
1 森田 武男 (日 大) 4:32.9	8:57.2 10:18.3 11:38.6	1 林 祐士郎 (中 大) 1:05.0
1:04.5 2:13.2 3:23.2	12:59.7 14:20.6 15:41.6	2 五十嵐武清 (日 大) 1:05.6
2 長野 優 (") 4:37.4	17:02.8 18:24.0 19:45.8	3 青木 守喬 (") 1:07.5
1:04.5 2:13.0 3:23.5	100m 平 泳	4 沢田 義勝 (中 大) 1:07.6
3 丸井 久人 (") 4:41.5	1 鶴峯 治 (日 大) 1:11.0	5 猪野 正久 (日 大) 1:08.3
1:06.7 2:18.0 3:30.9	2 大渡 幹士 (中 大) 1:11.5	6 末次 学 (中 大) 1:09.0
4 伊藤 勝二 (") 4:41.9	3 高島 光生 (日 大) 1:13.7	7 宮良 高志 (日 大) 1:09.0
1:06.4 2:18.5 3:31.9	4 吉田 正明 (中 大) 1:14.0	8 岡田 和夫 (中 大) 1:09.2
5 荒木 憲一 (中 大) 4:44.0	5 古川 剛 (") 1:14.2	オープン
6 岩村 尚男 (") 4:44.2	6 向 昭三 (日 大) 1:14.5	小林 (日大豊山高) 1:08.8
7 仲矢 昌夫 (") 4:52.0	7 佐藤 章 (") 1:14.5	200m 背 泳
8 藤丸 靖久 (") 4:53.6	8 兵藤 正時 (中 大) 1:14.6	1 林 祐士郎 (中 大) 2:21.4
1500m 自由形	オープン	1:06.6
1 伊藤 勝二 (日 大) 18:35.3	板橋 稔 (日大豊山) 1:15.3	2 五十嵐武清 (日 大) 2:25.3
2 長野 優 (") 18:55.4	200m 平 泳	3 沢田 義勝 (中 大) 2:27.3
3 丸井 久人 (") 19:17.7	1 鶴峯 治 (日 大) 2:35.4	4 猪野 正久 (日 大) 2:27.7
4 藤丸 靖久 (中 大) 19:25.5	1:15.5	5 青木 守喬 (") 2:27.7
5 仲矢 昌夫 (") 19:45.8	2 吉田 正明 (中 大) 2:38.3	6 岡田 和夫 (中 大) 2:30.5
6 山湯藍一郎 (日 大) 19:54.1	3 大渡 幹士 (") 2:38.7	7 末次 学 (") 2:30.5
7 高橋 和雄 (") 19:54.2	4 兵藤 正時 (") 2:40.8	8 宮良 高志 (日 大) 2:30.6
8 桑田 晴彦 (中 大) 20:30.1	5 高島 光生 (日 大) 2:42.2	400m メドレーリレー
800m 正式	6 佐藤 章 (") 2:43.6	1 藤丸 靖久 (中 大) 5:20.3
伊藤 勝二 (日 大) 9:47.7	7 向 昭三 (") 2:44.7	1:07.3 2:37.4 4:10.8
ラップ	8 古川 剛 (中 大) 2:45.8	2 青木 守喬 (日 大) 5:22.1
伊藤 1:06.3 2:17.5 3:31.9	オープン	1:04.9 2:24.3 4:06.2
4:46.8 6:01.8 7:17.6	板橋 稔 (日大豊山) 2:42.9	3 沢田 義勝 (") 5:29.2
8:32.7 9:47.7 11:02.7	100m バタフライ	1:09.1 2:32.4 4:14.1
12:18.4 13:33.6 14:49.5	1 北村 修一 (日 大) 1:02.2	4 宮良 高志 (") 5:29.6
16:05.3 17:21.0 18:35.3	2 菅 隆則 (") 1:03.0	5 加藤 仁彦 (中 大) 5:34.8
長野 1:05.0 2:17.1 3:31.8	3 遠藤 英康 (") 1:03.0	6 仲矢 昌夫 (") 5:39.2
4:47.4 6:03.2 7:20.3	4 小鷹狩軍雄 (") 1:03.1	7 久保田宇利 (日 大) 5:53.3
8:37.7 9:55.0 11:13.0	5 金沢 宏久 (中 大) 1:06.4	800m リレー
12:30.0 13:47.7 15:05.9	6 弘瀬 高尚 (") 1:07.6	1 (日 大) 8:32.6
16:23.8 17:41.3 18:55.4	7 真崎 強 (") 1:09.5	青 木 1:00.8 2:09.7
丸井 1:05.1 2:18.2 3:34.5	8 加藤 仁康 (") 1:10.5	権 藤 3:10.2 4:17.3
4:51.0 6:09.1 7:58.0	200m バタフライ	大 坪 5:19.2 6:29.4
9:17.4 10:06.5 11:24.9	1 菅 隆則 (日 大) 2:20.0	森 田 8:32.8
12:44.8 14:04.9 15:25.0	1:05.4	2 藤本・荒木・堀川・岩村
17:44.1 18:01.6 19:17.7	2 小鷹狩軍雄 (") 2:22.3	(中 大) 8:56.4
藤丸 1:06.8 2:21.6 3:38.1	3 北村 修一 (") 2:24.2	200m 正式
4:55.1 6:13.4 7:32.0	4 遠藤 英康 (") 2:27.7	青木 良夫 (日 大) 2:09.7

藤本 功光 (中 大) 2:12.3	2 林・伊東・野口・藤本	高 飛 込
400m メドレーリレー	(") 9:39.0	1 有光 洋右 (日 大) 83.59
1 (日 大) 五十嵐 4:15.8	林 2:16.9	2 山脇 安夫 (") 63.41
鶴 峯	3 越後谷・高橋・増田・林	3 岡田 米三 (") 57.44
小鷹狩 3:18.8	(") 10:11.7	4 安藤 孝 (中 大) 51.69
久保田	競 泳 得 点	5 田中 勇 (") 51.35
2 (中 大) 4:19.5	日大 168点 中大 80点	6 毛塚 正順 (") 46.36
林 (正式)1:05.1	飛 板 飛 込	飛 込 得 点
大 渡 2:15.6	1 有光 洋右 (日 大) 70.64	日大 35点 中大 9点
弘 瀬 3:20:5	2 尾仲 健司 (") 68.56	水 球
岩 村 4:19.5	3 山脇 安夫 (") 62.53	日 大 4 { 1—0 } 0 中 大
800m リレー (附属板)	4 岡田 米三 (") 54.55	{ 1—0 }
1 田淵・平松・桶谷・松田	5 田中 勇 (中 大) 46.29	{ 1—0 }
(日大附高) 9:31.5	6 飯島 玄 (") 45.29	{ 2—0 }
		{ 0—0 }

記 録 訂 正

前号 (158, 159号) 20頁, 日本競泳記録順位表, 200m 自由形の下記を削除します。

34 和田万次郎 海上自 2:09.9 野毛山 8-16 42 東向 敏明 富士信通 2:11.2 野毛山 8-16
 従って35位以下繰上げ, 49 大石幸雄, 50 西本信也となりますので以上訂正いたします。

◀ 編 集 後 記 ▶

オリンピック記念号を発行する予定でありましたが, 原稿が思うように集まらないことと, 編集担当者の都合もあって急ぎに本号編集のピンチヒッターをおおせつかりました。いろいろ玉稿は頂いても編集者が何分素人で泥縄式, うまくゆく筈はありませんが何とか纏めてお茶をにごした次第, 誠に申し訳ないと思います。

水連の定期改選による新会長と新理事長の挨拶, 日本水泳界の恩人松沢さん御逝去の追悼文を田畑名誉会長外大先輩の方々から頂き, 川田さん, 佐藤さん, 坂本さんから玉稿を頂いたので内容は立派なもの。

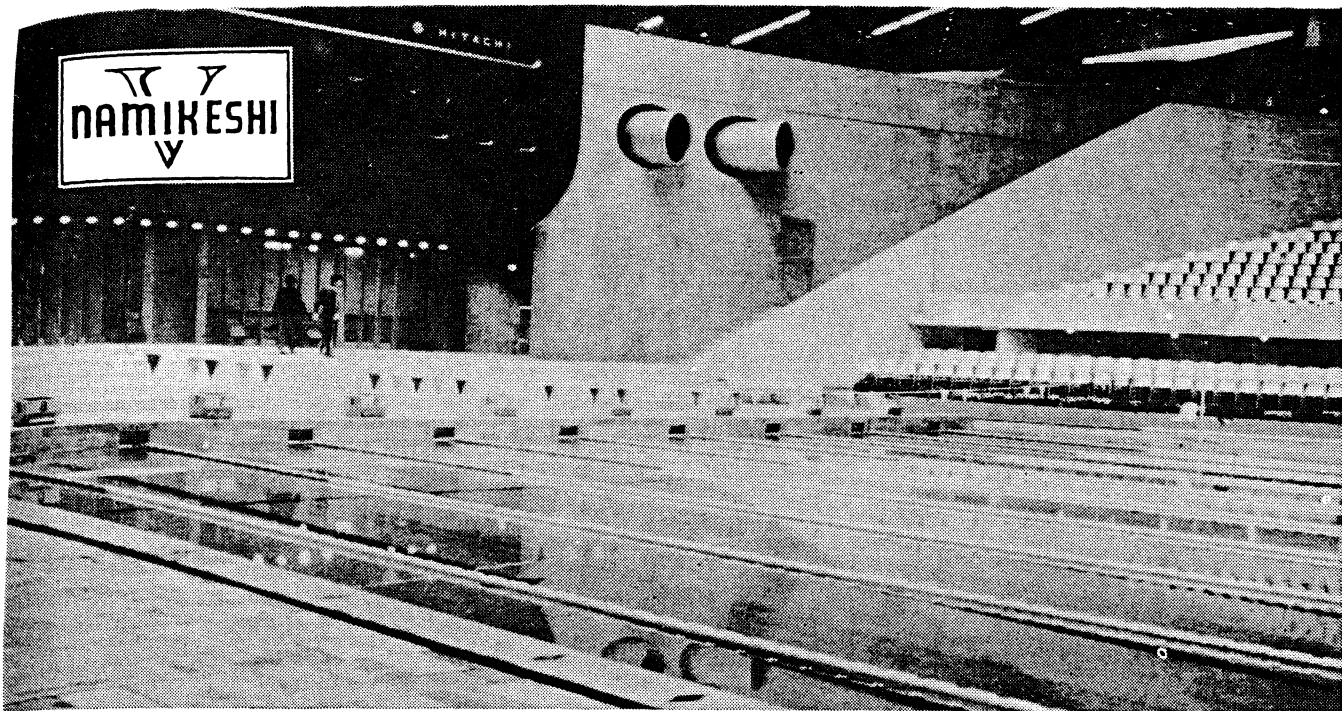
なお今年から競泳規則の改正に伴い全国中学, 日本高校大会の100m 自由形と100m 背泳は男女とも, クイックターンで泳がなければ失格させることに決まりましたので, 現在最も早いと思われるフリップターンの説明を載せましたが「本稿」と「水泳プール公認のあらまし」は別刷にしておりますので, 若し必要な方にはどなたでも差上げますから送料同封の上, お申出下さい。

次のオリンピック記念号は担当者の都合もありますが8月末頃までには発行できると思いますので, もう少しお待ち頂きたいと思います。 (島 田)

記 録 編 集 委 員 (順不同) ◎印委員長

◎岩佐 道雄, 宍道 洋一, 坂本亮四郎, 鈴木 祐一, 島田桃一郎, 島田 博, 津村 弘光, 益田 宗
 米本 隆吉, 佐藤 幸男, 串田 正夫, 林 務, 高木 裕己, 田口 宗行, 堀 正美, 山岸 清
 水野 雄之, 坂本 信夫, 小林 文枝

日 本 水 泳 連 盟 機 関 誌	昭和 40 年 7 月 15 日 印 刷	東京都渋谷区神南町25 岸記念体育会館内
	昭和 40 年 7 月 20 日 発 行	
水 泳	日 本 水 泳 連 盟	発行並 申込所 日本水泳連盟
	編 集 兼 発 行 人 伊 藤 謹 平	
第 160 号	印 刷 所 株式会社 成島印刷所	電話東京 (467) 3111 (代表)
	東京都中央区日本橋本石町3の4 電話 日本橋(241)1701.6509.7082	東京 (466) 6433 (直通)
		振替口座東京5178番



国立屋内総合競技場(オリンピックプール)

オリンピック東京大会で使用、好評のコースロープ!

理研の波消しブイ

■特許出願中

■意匠登録済

■特長

- 1 波を消す 本品は特殊構造のため、プール水面の表面波を消します。
- 2 取扱が容易 従来の製品と比べて、重量が軽く、取扱及び操作は容易です。
- 3 こわれない 耐衝撃力と耐摩耗性が強く、破損することがありません。
- 4 変色しない 材質が着色プラスチックのため塗り替えの必要はありません。
- 5 値段が安い 量産方式で生産されるので従来の品に比べて格安です。

■ターンバックルカバー

新製品ターンバックルカバー(合成樹脂製)を発売致しました。危険防止のためぜひご利用下さい。

■主な納品先

国立屋内総合競技場
(オリンピックプール)
東京体育館屋内水泳場
神宮プール
東京大学室内プール
大阪市営扇町プール
埼玉県川口市営プール
愛知県立体育館プール
名古屋スポーツガーデンプール
群馬県前橋市営プール

競技会用 80^mφ×250^m



普及用 60^mφ×200^m



日本大学碑文谷プール
日大豊山高校室内プール
中央大学
早稲田大学東伏見プール
早稲田大学高石記念プール
フランス I.N.S.
諫早商業高等学校
高知県立土佐高等学校
愛知県立愛知工業高校
名古屋学院
愛媛県立新田学園
岩手県盛岡市教育委員会
東京都杉並区立東田中学校
日本鋼管玉川倶楽部
ロート製薬株式会社

総発売元

東京産商株式会社

東京都千代田区外神田6丁目4番地7号 電話(831)0929

製造元

理研ビニル工業株式会社

※カタログご希望の方、又はご注文は直接総発売元へお申込み下さい。



はげしい動きも思いのまま!


- 立体的なカット
- すぐれた伸縮性
- 軽く、しかも乾きが早い
- いつまでも色あせしない
美しい色調
- 丈夫さも抜群
- 泳ぎやすく、記録が伸びる
- サイズも豊富

総発売元

株式会社 **エールド ウィン**



トホウ
アイロン®
テイジン
ナイロン

 日本水泳連盟公認
東邦レーヨン・テイジン

A.G.
エイジグループ
水着



学校教材用 <パイレン100%>



美津濃

メルマン

水着 日本水泳連盟公認
各水泳団体ご推せん

東レナイロン 100% (男) アイゲンニット
東レパイレン 100% (男女) ジャージ
全国有名スポーツ品店 ・ 各デパートで販売